

Title	東京歯科大学研究年報 : 平成14年度
Journal	東京歯科大学研究年報, (): -
URL	http://hdl.handle.net/10130/387
Right	

1. 歯科保存学第一講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	中川 寛一	根管形態に関する歯内療法的検討 NiTi 根管拡大機器の特性と臨床応用に関する研究 歯内療法におけるレーザーの応用
嘱託教員 (名誉教授)	浅井 康宏	歯内療法処置に応用される剤(材)品に関する研究 外科的歯内療法処置に関する基礎・臨床的研究 歯科インプラントに関する研究
助教授	伊藤 彰人	根管の器械的拡大・形成に関する研究
講師	近藤 祥弘	歯内療法処置に応用される剤(材)品に関する研究
	森永 一喜	歯内療法処置時の偶発症の処置に関する研究
	加藤 広之	根管の器械的拡大・形成に関する研究 歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究 歯髄腔形態の三次元的解析
助手	古澤 成博	歯髄 - 材(剤)品の接触界面に関する検討
	市之川 浩	外科的歯内療法処置に関する研究 自家歯牙移植について
	渡部 光弘	歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究
	土倉 康	根管処置に伴う歯根膜組織の傷害と、その保護に関する研究
	八ッ橋孝彰	歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究
	萩原 領一	根管の器械的拡大・形成に関する研究
	藤井玄一郎	根管の器械的拡大・形成に関する研究

2. 成果の概要

1) Tissue Reactions after Intraosseous Implantation of Three Retrofilling Materials

EBA, IRM, ベースライナーの骨組織反応をラットの上顎骨に対して骨内埋入試験を行い研究した。60匹の Wistar rat の上顎骨に、直径1.4mm の骨窩洞を外科的に形成し、被験材を埋入した。これらの標本は4週ないし8週後に組織学的に評価した。4週例では、被験材に直接添加された繊維性結合組織がEBAとIRMのグループで観察された。EBAグループではマクロファージの浸潤がわずかに認められていた。8週後IRMとEBAは骨との間に線維性結合組織の存在が認められた。一方、ベースライナーはいくつかの部分で骨組織との直接接触が観察されていた。

これらの結果からベースライナーがEBAやIRMと比較して骨組織とよく反応し、より生物学的な逆根管充填材料であると判定された。

Bull Tokyo Dent Coll 44, 1 ~ 7, 2003.

2) NiTi ローターインストルメントの根管切削特性

歯内療法領域において処置対象となる根管系は複雑で狭窄しており、特に湾曲根管に対する根管形成は多くの時間と困難を伴う。これを効率的にしかも容易に行うために従来より様々な機器や術式が開発されてきた。また非磁性、耐酸性で、形状記憶と超弾性を併せ持つNiTiが広く根管治療用器具に用いられるようになってきた。本ファイルは根管の移動が少ない反面、切削効率の点で従来のステンレススチールに劣るとの報告もある。

そこで今回我々は4種のNiTi製ロータリーファイルとステンレススチールファイル(Hand)を取り上

げ，特に湾曲根管における切削特性について比較検討した．

用いた NiTi ファイルは GT Rotary File (Dentsply - Maillefer 社製)， Quantec (Tycom 社製)， Pro Taper (Dentsply - Maillefer 社製)， K3 (Sybron Endo 社製) で，それぞれ根尖部湾曲38度，根管テーパー02，根管長18mmのエンドトレーニングブロックの根管形成を行った．

その結果 Hand 群では，各根管での形成状態に大きな差が認められ，根管形成の再現性の低さが認められた．一方 NiTi 製ロータリーファイルでの根管形成は，各計測部位で微少な内湾側への移動が認められたものの，本来の根管に追従した根管形成が行われていた．

日歯保存誌 46，86～92，2003．

3．学外共同研究

担当者	研究課題	学 外 研 究 施 設		
		研究施設	所在地	責任者
中川 寛一	Microscopic Endodontics	Pacific Endodontics Research Foundation	SanDiego, USA	G. B. Carr

4．科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究 課 題	研 究 費
中川 寛一	歯内療法関連疾患の精細画像データベースの構築と教育素材としての活用	平成14年度高等教育改革維持経費

5．教育講演等教育に関する業績，活動

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地	備 考
市之川 浩	2002.11.2 ～ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市	

論 文

1. 吉田 隆, 渡邊宇一, 古澤成博, 浅井康宏, 中川寛一: 歯科衛生士教育における診療補助実習(第1報)反封について, 日歯保存誌 **45**(5), 872~878, 2002. 原著
2. 渡辺英弥, 中川寛一, 有泉祐吾: 粒状バイオガラスおよび線維状ハイドロキシアパタイトが創傷歯髄に及ぼす影響に関する実験病理学的研究, 日歯保存誌 **45**(5), 943~958, 2002. 原著 実動施設
3. 柳澤孝彰⁽¹⁾, 見明康雄⁽¹⁾, 中川寛一, 平井義人⁽²⁾: フノリ抽出物と第2リン酸カルシウム配合キシリトールガムおよびカゼインホスホペプチド 非結晶リン酸カルシウム複合体配合キシリトールガムの実験的初期齲蝕エナメル質に及ぼす再石灰化促進効果, 日歯保存誌 **45**(6), 984~991, 2002. 原著 実動施設 (1)超微構造, (2)保存
4. Morinaga, K., Nakagawa, K., Carr, G.⁽¹⁾: Tissue reactions after intraosseous implantation of three retrofilling materials, Bull Tokyo Dent Coll **44**(1), 1~7, 2003. 原著 脳科学研 (1)Pacific Endodontic Research Foundation
5. ハッ橋孝彰, 萩原領一, 難波 徹, 弓削田友子, 市川博彰, 中川寛一: NiTi ロータリーインストルメントの根管壁切削特性, 日歯保存誌 **46**(1), 86~92, 2003. 原著

解 説

1. 古澤成博, 中川寛一: エンジンに装着して用いる全回転型根管切削器具の特徴と使用上の注意点, 日歯評論 **62**(10), 123~130, 2002.
2. 加藤広之, 中川寛一: 根管拡大形成法 根管形態の捉え方と基本術式, 日歯評論 **62**(12), 79~88, 2002.

そ の 他

1. 森永一喜: ネオパラホルムペーストに替わる薬剤, デンタルダイヤモンド **26**(14), 129~130, 2001. 平成13年度分
2. 中川寛一, 山田 考, ハッ橋孝彰: 手術用顕微鏡を用いた歯内療法 1. 手術用双眼実体顕微鏡とマイクロエンドドンティックス, 歯科学報 **102**(6), 459~461, 2002.
3. 藤井玄一郎, 萩原領一, 中川寛一: 手術用顕微鏡を用いた歯内療法 2. エンドドンティックマイクロサージェリー(1), 歯科学報 **102**(7), 577~579, 2002.
4. 萩原領一, 藤井玄一郎, 中川寛一: 手術用顕微鏡を用いた歯内療法 3. エンドドンティックマイクロサージェリー(2), 歯科学報 **102**(8), 659~661, 2002.
5. 森永一喜, 中川寛一, G. B. Carr⁽¹⁾: 手術用顕微鏡を用いた歯内療法 4. 偶発症への対応 歯科学報 **102**(9), 713~715, 2002. 脳科学研 (1)Pacific Endodontic Research Foundation
6. 古澤成博, 中川寛一, G. B. Carr⁽¹⁾: 手術用顕微鏡を用いた歯内療法 5. 通常の歯内療法処置への応用, 歯科学報 **102**(10), 773~775, 2002. 脳科学研 (1)Pacific Endodontic Research Foundation
7. 末原正崇: MTA, クインテッセンスイヤーブック, 210~211, 2002.

8. 加藤広之：フレックスポイント，クインテッセンスイヤーブック，211，2002．
9. 森永一喜：MB 2，クインテッセンスイヤーブック，212，2002．
10. ハッ橋孝彰：マルチプル・テーパード・ファイル，クインテッセンスイヤーブック，212～213，2002．
11. 中川寛一：手術用顕微鏡を用いた歯内療法 6．画像の記録と患者への説明，歯科学報 102(11)，879～881，2002．
12. 中川寛一：エンジン用ファイルのデザイン上の特徴，臨床上の性能にどのように影響を与えるか，Dental Products News 136，2～3，2002．
13. 丹羽よう子，三宅梨恵，村上美帆，中川寛一：ファイナペック・APCの特徴と応用時の注意事項，KIT News 13，1，2003．

学会抄録

1. 加藤広之，市之川 浩，土倉 康，山田 考，藤井玄一郎，伊藤彰人，浅井康宏，平井義人，中川寛一：ポリプロピレン製根管充填用ポイントをコア・キャリアーに用いた加温軟化ガッタパーチャ充填法 臨床応用例，日歯保存誌 45(春季特別号)，154，2002．(第116回日本歯科保存学会春季学会，東京)
2. 吉田 隆，渡邊宇一，古澤成博，浅井康宏，平井義人：歯科衛生士教育機関における診療補助実習(第1報) 仮封処置について，日歯保存誌 45(春季特別号)，166，2002．(第116回日本歯科保存学会春季学会，東京)
3. 黒田政俊，市之川 浩，山田 考，藤井玄一郎，ハッ橋孝彰，土倉 康，古澤成博，中川寛一：歯根端切除手術後の骨創腔に対する吸収性膜の応用とその病理組織所見，歯科学報 102(6)，527，2002．(第273回東京歯科大学学会例会，千葉市)
4. 森山貴史⁽¹⁾，渡部光弘，奥川裕司⁽²⁾，廣瀬理子⁽¹⁾，槇石武美⁽¹⁾：東京歯科大学水道橋病院口臭外来について 2001年3月開設時から1年間の動向，歯科学報 102(6)，540，2002．(第273回東京歯科大学学会例会，千葉市)
(1)水病・保存科，(2)水病・総合歯科
5. 森永一喜，ハッ橋孝彰，市川博彰，中川寛一，五味渕京子⁽¹⁾，角田正健⁽¹⁾，関口一実⁽¹⁾，高橋潤一⁽¹⁾，伊藤太一⁽¹⁾，山田 了⁽¹⁾，天谷哲也⁽²⁾，亀山敦史⁽²⁾，春山親弘⁽²⁾：千葉病院口臭外来の現状(平成13年度)，歯科学報 102(6)，547，2002．(第273回東京歯科大学学会例会，千葉市)(1)保存，(2)保存
6. 松本美穂，加藤広之，近藤祥弘，中川寛一，笠原正貴⁽¹⁾，五十嵐朋子⁽¹⁾，一戸達也⁽¹⁾，金子 讓⁽¹⁾：根管治療消毒薬の応用により生じた下歯槽神経知覚鈍麻の症例，歯科学報 102(6)，547，2002．(第273回東京歯科大学学会例会，千葉市)(1)歯麻
7. 坂爪絵美，末原正崇，萩原領一，渡部光弘，森永一喜，伊藤彰人，浅井康宏，中川寛一：髄床底穿孔部の処置に対するMTAの効果 MTAを長期間応用した場合について，歯科学報 102(6)，547，2002．(第273回東京歯科大学学会例会，千葉市)

8. 黒田政俊, 春木 洋, 土倉 康, ハッ橋孝彰, 山田 考, 齋藤一太, 樋出 誠, 中川寛一, 浅井康宏: 歯根端切除手術後の骨創腔に対する吸収性 GTR 膜の効果, 第32回日本口腔インプラント学会総会・学術大会抄録集, 53, 2002.(第32回日本口腔インプラント学会総会・学術大会, 広島市)
9. 中川寛一, 黒田政俊, 市之川 浩, 湯澤邦裕, 高階光博, 糸瀬正通¹⁾, 小松繁樹²⁾, 山上 哲³⁾: POI インプラント10年間の Retrospective 統計研究 フィクスチャー骨内部表面処理と長期の予後について, 第32回日本口腔インプラント学会総会・学術大会抄録集, 103, 2002.(第32回日本口腔インプラント学会総会・学術大会, 広島市)(1)福岡県, (2)日歯大・新潟・補綴, (3)京都インプラント研究所
10. 赤堀支保, 中川寛一, 難波 徹, 弓削田友子, 萩原領一, ハッ橋孝彰, 加藤広之, 浅井康宏: 各種 NiTi ローターインスツルメントの根管壁切削特性, 歯科学報 102(i0), 814, 2002.(第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
11. 及川佳美, 中川寛一, 藤井玄一郎, 末原正崇, 古澤成博, 坂爪絵美, 山田 考, 森永一喜: System B を用いた垂直加圧根管充填法における根管の填塞性, 歯科学報 102(i0), 845, 2002.(第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
12. 土倉 康, 市之川 浩, 末原正崇, ハッ橋孝彰, 山田 考, 中川寛一: Mineral Trioxide Aggregate (MTA) の逆根管充填材への応用(第1報) ラット骨内埋入試験について, 日歯保存誌 45(秋季特別号), 103, 2002.(第117回日本歯科保存学会秋季学会, 徳島市)
13. 藤井玄一郎, 萩原領一, 及川佳美, 中川寛一, 浅井康宏: 歯内療法処置に関連した下歯槽神経知覚鈍麻の症例, 日歯保存誌 45(秋季特別号), 178, 2002.(第117回日本歯科保存学会秋季学会, 徳島市)
14. 市之川 浩, 中川寛一, 糸瀬正通¹⁾, 小松繁樹²⁾, 山上哲賢³⁾: POI インプラント10年間の臨床統計(第1報), 日本口腔インプラント学会第22回関東甲信越支部総会学術大会抄録集, 36, 2002.(日本口腔インプラント学会第22回関東甲信越支部総会学術大会, 東京)脳科学研 (1)福岡県, (2)日歯大・新潟・補綴, (3)京都インプラント研究所

2. 歯科保存学第二講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	山田 了	歯周療法全般
助教授	角田 正健	口臭
講師	森山 貴史	GTR法の骨再生に関する研究 (A96 0410 49)
	関口 一実	GTR法の吸収性膜露出が新生組織に及ぼす影響 (A97 0410 53)
	高橋 潤一	血清抗体価と avidity に関する研究 (A96 0410 50)
	渋川 義宏	歯根膜細胞が骨再生に及ぼすテトラサイクリンの影響 (A97 0410 51)
助手	伊藤 明代	簡便 DNA プローブ法の開発と臨床応用 (A98 0410 54)
	伊藤 太一	咬合性外傷が歯周組織に及ぼす影響 (A98 0410 56)
	杉戸 博記	再生歯根膜の分化・誘導に関する研究 (A97 0410 52)
	太田 幹夫	プラークがインプラント周囲の軟組織に及ぼす影響 (A98 0410 55)
	廣瀬 理子	サイトカインと歯周疾患の関連性に関する研究 (A99 0410 58)
	小川 貴也	再生組織における組織応答に関する研究 (A00 0410 59)
病院助手	難波 崇	再生歯根膜の分化・誘導に関する研究 (A97 0410 52)
	稲垣 覚	歯周病原性細菌に対する線毛抗体 (A00 0410 60)
	鈴木 道子	歯周組織の発生
大学院生	浅野 裕之	歯周病原性細菌の家族内感染 (A00 0410 60)
	増田 浩之	サルにおける咬合性外傷に関する研究 (A99 0410 57)
	杉本 真慈	再生組織における組織応答に関する研究 (A00 0410 59)
	矢崎有里子	歯周病原性細菌に対する線毛 (A00 0410 60)
専攻生	天野 恭彦	プラークがインプラント周囲の軟組織に及ぼす影響 (A98 0410 55)

2. 成果の概要

1) サルにおける咬合性外傷に関する研究 (A99 0410 57)

歯の動揺が結合組織性付着に及ぼす影響を検索した結果、歯の動揺は、血管系の消失および損傷により結合組織性付着の喪失を生じることが示唆された。

日歯周病会誌 45, 83~94, 2003

3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
山田 了 太田 幹夫	ティッシュエンジニアリングを用いた組織再構築に関する総合的研究	科学研究費・基盤(A)
山田 了	歯周病における生体防御と組織修復に関する総合的研究	科学研究費・基盤(A)
関口 一実	エナメル基質タンパクを用いた組織誘導による歯周組織再建に関する研究	科学研究費・基盤(B)
高橋 潤一	象牙質知覚過敏症に伴う歯髄感覚の高次中枢機能との関連	口腔科学研究センター

4. 研究活動の特記すべき事項

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
角田 正健	2001.4.25	歯周病のメンテナンスにおける問題点 長期症例からの考察	第45回春季日本歯周病学会 学術大会	浦安市
山田 了	2002.10.18	インプラント補綴・機能と審美の追求	第4回日本歯科国際歯科大会	横浜市

5. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
山田 了	2002.6.8 ~ 9	第7回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	運営委員	千葉市	
高橋 潤一	2002.9.6 ~ 7	平成14年度第1回歯学共用試験 OSCE ワークショップ	参加者	松戸市	
伊藤 明代	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市	

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
山田 了	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	顧問	千葉市
山田 了	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	顧問	千葉市
高橋 潤一	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	ST4 責任者	千葉市

教育ソフト開発

担当者	年月日	ソフト名	内容等
山田 了	2001.4.1	スケーリング・ルートプレーニングの臨床シュミレーション教育用システムの開発	スケーリング・ルートプレーニングにおける基本操作のシュミレーションシステム

論 文

1. 増田浩之：歯の動揺が結合組織性付着に及ぼす影響，日歯周病会誌 **45**(1)，83～94，2003．原著 細形研，保情研 実動施設

解 説

1. 小川貴也，山田 了：骨組織へのレーザー照射：3．CO₂および Nd：YAG レーザーによる処置後の長期間にわたる治癒経過について，Int J Periodontics Restorative Dent Japan **10**(2)，89～91，2002．
2. 杉戸博記，山田 了：粒子状象牙質焼石膏と多血小板血漿(PRP)の併用の有無によるインプラント周囲の骨欠損の処置，Quintessence Dent Imp **9**(3)，84～85，2002．
3. 杉戸博記，山田 了：失敗しつつあるインプラントの細胞性フィブロネクチンについて，Quintessence Dent Imp **9**(5)，80～82，2002．
4. 杉戸博記，山田 了：結合組織移植剤の組織像：臨床報告，Int J Periodontics Restorative Dent Japan **10**(6)，88～89，2002．
5. 高橋潤一，山田 了：Er：YAG レーザー歯周治療とスケーリング・ルートプレーニングとの比較．コントロールされた臨床研究，Int J Periodontics Restorative Dent Japan **10**(3)，94～95，2002．
6. 杉戸博記，山田 了：コラーゲン保護膜を併用した多孔性異種骨移植剤の歯周組織の再生における有効性，Int J Periodontics Restorative Dent Japan **10**(5)，85～91，2002．
7. 杉戸博記，山田 了：自己脱灰象牙質基質のティッシュエンジニアリングへの応用．X線学的および組織形態計測学的研究，Quintessence Dent Imp **9**(6)，84～85，2002．
8. 杉戸博記，山田 了：セメント維持アバットメントとスクリュー維持アバットメントのインプラントアバットメント結合部の内部への水分および組織の侵入，Int J Periodontics Restorative Dent Japan **10**(7)，102～103，2002．

単行図書

1. 山田 了：単著：知っておきたい知識・術式(歯周治療編)，第一歯科出版，東京，2002．

プロシーディングス

1. Ota, M., Katayama, A., Ogawa, T., Yamada, S. : Effect of periodontal tissue formation on β -TCP with guided tissue regeneration, China - Japan Medical Conference 2002 program book, 138, 2002. (China - Japan Medical Conference 2002, Beijing, China) 細形研 実動施設

そ の 他

1. 高橋潤一：全身をむしばむ歯周病菌，今日の健康，97～100，2003．

学会抄録

- 1 . Itou, T., Shibukawa, Y., Amano, Y., Kawai, H., Yamada, S. : Effect of calcium hydroxide paste on bone formation, J Dent Res **81**(Special Issue A) A - 128 , 2002 .(80th international association for dental research, San Diego, USA) 細形研, 保情研 実動施設
- 2 . Shibukawa, Y., Enokiya, Y.⁽¹⁾, Yamada, S. : Cell kinetics in bone formation after application of enamel matrix proteins, J Dent Res **81**(Special Issue A) A - 452 , 2002 .(80th international association for dental research, San Diego, USA) 細形研, 保情研 実動施設 (1)病理
- 3 . 渋川義宏, 川井英敬, 榎谷保信⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 山田 了: エナメルマトリックスタンパク質応用後の骨形成における細胞動態について, 日口腔インプラント会誌 **16**(2), 36, 2002 .(第21回関東甲信越支部総会学術大会, 東京)A 97 0410 51 細形研, 保情研 実動施設 (1)病理
- 4 . 増田浩之, 千葉 緑, 伊藤太一, 山田 了: 咬合性外傷が歯間水平線維束領域の血管網におよぼす影響に関する免疫組織化学的研究, 日歯周病会誌 **44**(春季特別号), 119, 2002 .(第45回春季日本歯周病学会学術大会, 浦安市) A 99 0410 57 細形研, 保情研 実動施設
- 5 . 山崎智子, 太田幹夫, 杉戸博記, 小林友子, 杉本真慈, 片山明彦, 山田 了: Beta - TCP 骨補填剤と吸収性膜の併用の歯周組織再生における効果, 日歯周病会誌 **44**(春季特別号), 133, 2002 .(第45回春季日本歯周病学会学術大会, 浦安市) 細形研, 保情研 実動施設
- 6 . 山本茂樹, 川井英敬, 小川貴也, 伊藤太一, 渋川義宏, 黒田美智代, 山田 了: Emdogain Gel によるイヌの歯周組織再生に関する病理組織学的検索, 日歯周病会誌 **44**(春季特別号), 142, 2002 .(第45回春季日本歯周病学会学術大会, 浦安市) 細形研, 保情研 実動施設
- 7 . 浅井裕之, 角田正健, 山田 了: 侵襲性歯周炎患者に対して薬物治療と再生治療を行った一症例, 日歯周病会誌 **44**(春季特別号), 182, 2002 .(第45回春季日本歯周病学会学術大会, 浦安市)
- 8 . 梅原一浩, 角田正健, 山田 了: Modular Transitional Implants を用いて歯周矯正を行った一症例, 日歯周病会誌 **44**(春季特別号), 188, 2002 .(第45回春季日本歯周病学会学術大会, 浦安市)
- 9 . 高橋潤一, 野呂明夫⁽¹⁾, 秋廣良昭⁽²⁾, 高橋一祐⁽¹⁾: 若年者における口唇閉鎖力の成長, Journal of International Society of Life Information Science **20**(2), 422 ~ 425, 2002 .(第 6 回 International Society of Life Information Science, 東京) (1)水病・保存科, (2)水病・総合歯科
- 10 . 増田浩之, 千葉 緑, 伊藤太一, 山田 了: Proliferating Cell Nuclear Antigen(PCNA)および von Willebrand Factor(vWF)抗体による咬合性外傷の免疫組織化学的検索, 日歯保存誌 **45**(春季特別号), 58, 2002 .(第116回日本歯科保存学会春季大会, 東京) 細形研, 保情研 実動施設
- 11 . 大賀恵理奈, 関口一実, 山田 了: GTR における長期吸収型メンブレンの歯周組織再生への有効性の検索, 日歯保存誌 **45**(春季特別号), 61, 2002 .(第116回日本歯科保存学会春季学会, 東京) 細形研, 保情研 実動施設

12. 細川壮平⁽¹⁾, 野呂明夫⁽²⁾, 高橋潤一, 秋廣良昭⁽¹⁾, 西本幸仁⁽¹⁾, 加藤嘉哉⁽¹⁾, 槇石武美⁽²⁾, 平井義人⁽³⁾: 新規口腔リハビリ器具による表情筋(口輪筋/頬筋)機能療法の基礎と臨床(第9報)幼児から老人における口唇閉鎖力の推移, 日歯保存誌 **45**(春季特別号), 123, 2002.(第116回日本歯科保存学会春季学会, 東京)(1)水病・総合歯科, (2)水病・保存科, (3)保存
13. 野呂明夫⁽¹⁾, 高橋潤一, 秋廣良昭⁽²⁾, 西本幸仁⁽²⁾, 保坂 誠⁽³⁾, 細川伊平⁽³⁾, 槇石武美⁽¹⁾, 平井義人⁽³⁾: 新規口腔リハビリ器具による表情筋(口輪筋/頬筋)機能療法の基礎と臨床(第10報)脳梗塞患者への『パタカライ』の応用と口唇閉鎖力の変化, 日歯保存誌 **45**(春季特別号), 124, 2002.(第116回日本歯科保存学会春季学会, 東京)(1)水病・保存科, (2)水病・総合歯科, (3)保存
14. 増田浩之, 長谷川昭子, 伊藤太一, 山田 了: 咬合性外傷が歯間水平線維束(粘膜固有層部)の血管網におよぼす影響に関する免疫組織化学的研究, 歯科学報 **102**(6), 529, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研, 保情研 実動施設
15. 山本茂樹, 川井英敬, 小川貴也, 伊藤太一, 渋川義宏, 松本恭宜, 山田 了: Emdogain Gel によるイヌの硬組織再生に関する病理組織学的検索, 歯科学報 **102**(6), 531, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研, 保情研 実動施設
16. 森山貴史⁽¹⁾, 渡部光弘⁽¹⁾, 奥川裕司⁽²⁾, 廣瀬理子⁽¹⁾, 槇石武美⁽¹⁾: 東京歯科大学水道橋病院口臭外来について 2001年3月開設時から1年間の動向, 歯科学報 **102**(6), 540, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)(1)水病・保存科, (2)水病・総合歯科
17. 森永一喜⁽¹⁾, ハッ橋孝彰⁽¹⁾, 市川博彰⁽¹⁾, 中川寛一⁽¹⁾, 五味渕京子, 角田正健, 関口一実, 高橋潤一, 伊藤太一, 山田 了, 天谷哲也⁽²⁾, 亀山敦史⁽²⁾, 春山親弘⁽²⁾, 平井義人⁽²⁾: 千葉病院口臭外来の現状(平成13年度), 歯科学報 **102**(6), 541, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)(1)保存, (2)保存
18. 矢崎有里子, 石原和幸⁽¹⁾, 奥田克爾⁽¹⁾, 山田 了: 抗 gingipain 抗体による *Porphyromonas gingivalis* オプソニン活性, 日歯周病会誌 **44**(秋季特別号), 86, 2002.(第45回秋季日本歯周病学会学術大会, 広島市) 保情研, 分子生研 (1)微生物
19. 吉井 透, 太田幹夫, 大島みどり, 山田 了: -TCP が歯根膜由来細胞の骨形成の細胞動態に及ぼす影響, 日歯周病会誌 **44**(秋季特別号), 115, 2002.(第45回秋季日本歯周病学会学術大会, 広島市) 細形研 実動施設
20. 片山明彦, 太田幹夫, 杉本真慈, 中崎俊克, 杉戸博記, 山田 了: 膜組織を応用した歯牙移植後の歯周組織再生, 日歯周病会誌 **44**(秋季特別号), 123, 2002.(第45回秋季日本歯周病学会学術大会, 広島市) 細形研, 保情研 実動施設
21. 山崎智子, 稲垣 寛, 石原和幸⁽¹⁾, 奥山慶子, 浅野裕之, 奥田克爾⁽¹⁾, 山田 了: *Porphyromonas gingivalis* gingipain catalytic domain に対する歯周炎患者の免疫応答, 日歯周病会誌 **44**(秋季特別号), 149, 2002.(第45回秋季日本歯周病学会学術大会, 広島市) 分子生研 (1)微生物
22. 小野寺博子, 川井英敬, 小川貴也, 伊藤太一, 渋川義宏, 林 智子, 山田 了: エナメルマトリックスタンパクが歯根膜由来細胞の硬組織形成に及ぼす影響について, 日歯周病会誌 **44**(秋季特別号), 156, 2002.(第45回秋季日本歯周病学会学術大会, 広島市) 細形研, 保情研 実動施設

23. 渋川義宏, 林 奈苗, 山田 了: 慢性歯周炎患者に対して種々の再生治療を行った一症例, 日歯周病会誌 **44** (秋季特別号), 194, 2002. (第45回秋季日本歯周病学会学術大会, 広島市)
24. 矢崎有里子, 石原和幸¹⁾, 中川種昭, 関谷 栄, 奥田克爾¹⁾, 山田 了: 抗 gingipain 抗体による *Porphyromonas gingivalis* オブソニン活性, 歯科学報 **102**(10), 797, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 保情研, 細生研 (1)微生物
25. 片山明彦, 太田幹夫, 杉本真慈, 村野嘉則, 杉戸博記, 奥山慶子, 山田 了: 膜組織を応用した歯牙移植後の歯周組織再生, 歯科学報 **102**(10), 815, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研 実動施設
26. 稲垣 寛, 浅野裕之, 鈴木道子, 増田浩之, 青木一成, 福地桃子, 藤沢さおり, 小川貴也, 伊藤太一, 高橋潤一, 北村秀和, 山田 了: 歯周療法講座におけるポストグラデュエートコースについて, 歯科学報 **102**(10), 834, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
27. 田中公文, 難波 崇, 伊藤太一, 高橋潤一, 北村秀和, 山田 了: 歯周療法講座におけるポストグラデュエートコースについて, 歯科学報 **102**(10), 835, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)

3. 歯科保存学第三講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	石川 達也	顎口腔機能の不調和が全身におよぼす影響に関する研究
	平井 義人	歯の形成異常と変色・着色の実態とその治療
	槇石 武美	炭酸ガスレーザー装置 (Panalas10) による硬組織治療の臨床的観察
助教授	高瀬 保晶	新規歯冠修復用 CAD / CAM 装置の検討
講師	野呂 明夫	歯科医療における飛沫感染対策に関する研究
	瀧澤 雅一	Er : YAG レーザーの臨床応用に関する研究
助手	杉山 利子	吸収性コラーゲン膜を用いた GTR 法におけるコラーゲンスポンジのスペースメイキング効果について
	高橋 賢	顎口腔機能の不調和が全身におよぼす影響に関する研究
	武藤 由剛	各種修復材による修復後の窩洞内および象牙細管内微生物の存在状況について
	天谷 哲也	レーザーによる窩洞形成時の偶発露髄の対応に関する実験病理学的研究
	亀山 敦史	Er : YAG レーザーによる窩洞形成へのコンポジットレジン修復に関する研究
	春山 親弘	Er : YAG レーザー窩洞に対するガラスアイオノマーセメント充填の効果
大学院生	井原聡一郎	象牙質コラーゲンの熱変性について
	津守 将充	ガラスアイオノマーセメントの二次齲蝕抑制について
	篠原 崇	DIAGNOdent と極微小焦点 X 線 CT 撮影装置の比較, 検討
	五十嵐章浩	繰り返し速度を変化させた Er : YAG レーザーの応用
	相沢 甲也	繰り返し速度を変化させた Er : YAG レーザー照射象牙質への接着に関する研究
	明石 豪	Er : YAG レーザー照射象牙質面への歯面処理した時の歯髄反応に関する研究
	中澤妙衣子	ホームブリーチング法とオフィスブリーチング法が漂白効果に及ぼす影響

2. 成果の概要

1) 組織再生誘導法における α - TCP 顆粒添加コラーゲンスポンジの有用性

骨補填材として α - TCP 顆粒添加コラーゲンスポンジ, 保護膜として吸収性コラーゲン膜を応用し, 歯周組織の再生およびその効果について病理組織学的に検索し, その有用性を検討した。

生後 1 年以上経過した雑種成犬 11 頭の下顎第 3, 4 前臼歯, 第 1 後臼歯の近心根部に高さ, 幅約 5 mm の頬側裂開型歯槽骨欠損を作製した。骨欠損部に, α - TCP 顆粒添加コラーゲンスポンジを移植した後保護膜を応用した群, 保護膜のみの群, 実験材料を応用せず歯肉弁を縫合した群を設定し, 術後 2, 4, 8 週に標本を採集した。

採取した資料を脱脂, 脱灰, 脱水後, 通法に従いシオジリン包埋を施し, これらにヘマトキシリン・エオジン複染色およびテトラクロム染色を施し, 光学顕微鏡下に病理組織学的検索を行った。

結果として, 2 週例では, α - TCP 顆粒添加コラーゲンスポンジを移植した後保護膜を応用した群では新生セメント質量, 新生歯槽骨量の形成量は多い傾向にあった。4 週例では, α - TCP 顆粒添加コラーゲンスポンジの形態は観察されなかった。

α - TCP 顆粒添加コラーゲンスポンジは GTR 法を併用することで, 従来よりも新生組織の形成が早く, その後の治癒に悪影響を与えないことから, GTR 法の治癒期間短縮が可能であり, 術後の安定性も良好な生体材料であることが示唆された。

日歯保存誌 45, 565 ~ 575, 2002。

2) Er : YAG レーザー照射象牙質へのレジンの接着

Er : YAG レーザーを象牙質に照射し, 4 - META / MMA - TBB レジンを応用し, その接着性を脱灰処理, 前処理の影響および照射表層の機械的除去を中心に研究を行った.

その結果, 照射象牙質表層は60 水中で加温した象牙質と近似した特徴を有することが確認された. このことから, 照射象牙質は少なからず, 熱の影響を受けていることが示唆された. また数十 μm の深さまでおよび構造欠陥が接着強さの低下をもたらすものと思われた.

歯科学報 103, 115 ~ 129, 2003.

3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究 課 題	研究 費
高瀬 保晶	2 波長発振レーザーは齲蝕の進行抑制効果があるか	科学研究費・基盤 (C)
天谷 哲也	2 波長発振レーザーは. 医療用レーザーメスとして両波長の利点を生かせるか?	科学研究費・若手 (B)

4. 研究活動の特記すべき事項

学会招待講演

講演者	年月日	講演 演 題	学会・研究会名	開催地
石川 達也	2002 . 4 . 14	顎口腔機能は全身の健康状態に関連するか 中枢神経系と経路システムから考える	一般矯正臨床医矯正研究会	東京
石川 達也	2002 . 5 . 30	顎口腔機能は全身の健康状態に反映するか	第116回日本歯科保存学会	東京
平井 義人	2002 . 7 . 27	審美修復の現状	第17回日本歯科産業学会総会	東京
平井 義人	2002 . 8 . 1	Pulp Response at Cavity Preparation by Er : YAG Laser	The 8th International Congress on Lasers in Dentistry	横浜市
石川 達也	2002 . 10 . 22	午前 日本における歯科用 CAD / CAM システムの現状と未来 午後 咬合関連症状と脳磁図解析	北京大学口腔医学院	北京, 中国
石川 達也	2002 . 10 . 29	咬合関連症状と脳磁図解析	同濟大学口腔医学院	上海, 中国
石川 達也	2002 . 11 . 21	咬合と全身症状	日本綜合歯科協会 月例会	東京
平井 義人	2002 . 11 . 23	日本全身咬合学会雑誌 8 年間の掲載論文の review	日本全身咬合学会学術大会	大阪市
石川 達也	2002 . 11 . 23	脳磁図に反映した顎口腔機能	日本全身咬合学会学術大会	大阪市
石川 達也	2002 . 12 . 7	脳の活動の解析とフロンティア 歯科医学	コンピューター歯科医学会	東京
石川 達也	2003 . 2 . 15	インプラント治療について	ICD 冬期学会	東京
石川 達也	2003 . 2 . 28	口腔顎顔面機能の中枢制御に関する研究について	HRC ワークショップ	千葉市

5. 教育講演等教育に関する業績・活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
石川 達也	2002.6.8 ~9	第7回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	ディレクター	千葉市	
石川 達也	2002.11.2 ~3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	ディレクター	千葉市	

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地	備考
石川 達也	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	運営委員長	千葉市	
杉山 利子	2003.1.18	平成14年度東京医科歯科大学 歯学部共用試験 歯学 OSCE トライアル	外部評価者	東京	
石川 達也	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	運営委員長	千葉市	

論 文

- 1 . 西山令生, 杉山利子, 平井義人: 組織再生誘導法における TCP 顆粒添加コラーゲンスポンジの有用性, 日歯保存誌 45(3), 565 ~ 575, 2002 . 原著 細形研 実動施設
- 2 . Kameyama, A., Tsumori, M., Ushiki, T., Mutou, Y., Koga, H.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽¹⁾, Hirai, Y. : Fluoride release from newly developed dental adhesives, Bull Tokyo Dent Coll 43(3), 193 ~ 197, 2002 . 原著 (1)衛生
- 3 . Abe, S.⁽¹⁾, Kaneko, H.⁽²⁾, Nakamura, Y.⁽³⁾, Watanabe, Y.⁽⁴⁾, Shintani, M.⁽⁵⁾, Hashimoto, M.⁽⁶⁾, Yamane, G.⁽⁴⁾, Ide, Y.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽⁷⁾, Ishikawa, T., Yamada, Y.⁽⁸⁾, Hayashi, T.⁽⁹⁾ : Experimental device of detecting laryngeal movement during swallowing, Bull Tokyo Dent Coll 43(3), 199 ~ 203, 2002 原著 (1)解剖 (2)新潟大・大学院・自然科学, (3)新潟大・工・福祉機器, (4)市病・オーラルメディシン, (5)脳科学研究施設, (6)法歯, (7)病理, (8)新潟大・大学院・口腔生理, (9)新潟大・大学院・福祉人間
- 4 . Adachi, M.⁽¹⁾, Ishihara, K.⁽²⁾, Abe, S.⁽²⁾, Okuda, K.⁽²⁾, Ishikawa, T. : Effect of professional oral health care on the elderly living in nursing homes, Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endodont 94(2), 191 ~ 195, 2002 . 原著 (1)Fuchu Health Center, (2)微生物
- 5 . 野呂明夫, 細川壮平⁽¹⁾, 高橋潤一⁽²⁾, 秋廣良昭⁽¹⁾, 西本幸仁⁽¹⁾, 細川伊平, 槇石武美, 平井義人: 新規リハビリ器具による表情筋(口輪筋/頬筋)機能療法の基礎と臨床(第2報)若年者から高齢者における口唇閉鎖力の経年変化の評価, 日歯保存誌 45(5), 817 ~ 828, 2002 . 原著 A00 0420 8 (1)水病・総合歯科, (2)保存
- 6 . Chattin-Kacouris, B. R.⁽¹⁾, Ishihara, K.⁽¹⁾, Miura, T.⁽¹⁾, Okuda, K.⁽¹⁾, Ikeda, M.⁽²⁾, Ishikawa, T., Rowland, R.⁽³⁾ : Heat shock protein of Mycoplasma salivarium and Mycoplasma orale strains isolated from HIV - seropositive patients, Bull Tokyo Dent Coll 43(4), 231 ~ 236, 2002 . 原著 A81 0180 2 分子生研 (1)微生物, (2)神奈川県立こども医療センター・歯科, (3)Univ. of California at San Francisco
- 7 . Nagasaka, H.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽¹⁾, Takaesu, Y.⁽¹⁾, Kobayashi, Y.⁽¹⁾, Satou, T.⁽²⁾, Ishikawa, T. : Changes and equalization in hearing level induced by dental treatment and instruction in bilaterally equalized chewing : A clinical Report, Bull Tokyo Dent Coll 43(4), 243 ~ 250, 2002 . 症例 (1)衛生, (2)補綴
- 8 . 中澤祐一, 平井義人, 石川達也: 生活象牙質接着界面の観察, 接着歯学 20(3), 119 ~ 127, 2002 . 原著 細形研 実動施設
- 9 . 柳澤孝彰⁽¹⁾, 見明康雄⁽¹⁾, 中川寛一⁽²⁾, 平井義人: フノリ抽出物と第2リン酸カルシウム配合キシリトールガムおよびカゼインホスホペプチド 非結晶性リン酸カルシウム複合体配合キシリトールガムの実験的初期齲蝕エナメル質に及ぼす再石灰化促進効果, 日歯保存誌 45(6), 984 ~ 991, 2002 . 原著 (1)超微構造, (2)保存
- 10 . 長坂 斉⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也, 中村昭二⁽²⁾, 星 詳子⁽³⁾: 聴力オーディオメーターにて検証するオクルーザルパワーパターン, 全身咬合会誌 8(2), 173 ~ 180, 2002 . 原著 脳科学研 (1)衛生 (2)愛知学院大・歯・矯正, (3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部

11. 中村昭二⁽¹⁾, 永原邦茂⁽¹⁾, 佐々木琢磨⁽²⁾, 星 詳子⁽³⁾, 長坂 齊⁽⁴⁾, 松久保 隆⁽⁴⁾, 石川達也: 咬合と聴力に関する臨床的研究その1. オクルーザルパワーゾーンと聴力に関する考察; 著しい顎変形を伴う開咬患者の治験例(補聴器常時着用の改善)から, 全身咬合会誌 8(2), 213~222, 2002. 症例 (1)愛知学院大・歯・矯正, (2)日本生体咬合研究所, (3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部, (4)衛生
12. Abe, S.⁽¹⁾, Watanabe, Y.⁽²⁾, Shintani, M.⁽³⁾, Tazaki, M.⁽⁴⁾, Takahashi, M.⁽⁵⁾, Yamane, G.⁽²⁾, Ide, Y.⁽¹⁾, Yamada, Y.⁽³⁾, Shimono, M.⁽⁶⁾, Ishikawa, T.: Magnetoencephalographic study of the starting point of voluntary swallowing, Cranio 21(1), 46~49, 2003. 原著 HRC3A01 脳科学研 (1)解剖, (2)市病・オーラルメディスン, (3)脳科学研究施設, (4)生理, (5)市病・整形外科, (6)病理
13. Shimono, M.⁽¹⁾, Ishikawa, T., Ishikawa, H.⁽¹⁾, Matsuzaki, H.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽¹⁾, Muramatsu, T.⁽¹⁾, Shima, K.⁽¹⁾, Matsuzaka, K.⁽²⁾, Inoue, T.⁽²⁾: Regulatory mechanisms of periodontal regeneration, Microsc Res Tech 60, 491~502, 2003. 総説 A83 0160 36 (1)病理, (2)臨検査

解 説

1. 石川達也: 顎口腔機能は全身の健康状態に反映するか, 日歯保存誌 45(春季特別号), 3, 2002. A00 420 3 脳科学研
2. 櫻井 薫⁽¹⁾, 瀧澤雅一, 高橋潤一⁽²⁾, 山倉大紀⁽³⁾, 片倉 朗⁽⁴⁾, 久保周平⁽⁵⁾, 片田英憲⁽⁶⁾, 一戸達也⁽⁷⁾, 伊藤彰人⁽⁸⁾, 山田 了⁽²⁾, 角田正健⁽²⁾, 石井拓男⁽⁹⁾: 平成14年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価, 歯科学報 102(4), 249~270, 2002. (1)補綴, (2)保存, (3)補綴, (4)口外, (5)小児歯, (6)矯正, (7)歯麻, (8)保存, (9)社会歯
3. Hirai, Y.: Pulp response at cavity preparation by Er: YAG Laser, The 8th International Congress on Lasers in Dentistry Program and Abstract, 35, 2002.
4. 石川達也: 歯科教育の現場, 国際歯科学士会日本部会雑誌 33(1), 32~37, 2002.
5. 石川達也: インプラント治療について, 国際歯科学士会日本部会雑誌 33(1), 58~61, 2002.
6. 平井義人: 日本全身咬合学会雑誌 8年間の掲載論文の review, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 26, 2002.
7. 石川達也: 脳磁図に反映した顎口腔機能, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 27, 2002.
8. 平井義人: 審美修復の現状 ラミネートベニア修復およびインレー修復について, 日歯産会誌 16(2), 3~6, 2002. A99 0420 1
9. 石川達也: 咬合機能から全身の健康状態を考える, 日本一般臨床医矯正研究会会誌(14), 3~9, 2002.
10. 高橋潤一⁽¹⁾, 野呂明夫, 秋廣良昭⁽²⁾, 平井義人: パタカラを使用した口腔筋機能療法の可能性を探る, 日歯評論 62(12), 149~158, 2002. (1)保存, (2)水病・総合歯科
11. 石川達也: 口腔顎顔面機能の中枢制御に関する研究について, 歯科学報 103(1), 1~4, 2003. 脳科学研

12. 青木 聡⁽¹⁾, 槇石武美⁽¹⁾, 石川達也: 私の咬合診断 順次誘導咬合の考え方に基づく診査の進め方, 東京歯医師会誌 50(6), 360~372, 2003. (1)水病・総合歯科

単行図書

1. 石川達也: 共著: 日本顎関節学会編『顎関節症』, 永末書店, 東京, 2003.

プロシーディングス

1. Sekine, H.⁽¹⁾, Shibukawa, Y.⁽²⁾, Suzuki, T.⁽²⁾, Kishi, M.⁽¹⁾, Shintani, M.⁽³⁾, Ishikawa, T.: The activation of area 3a following periodontal mechanical stimulation, Proceeding of the 13th International Conference on Biomagnetism, 433~435, 2002. (13th International Conference on Biomagnetism, Jena, Germany) 脳科学研究
(1)補綴, (2)生理, (3)脳科学研究施設

調査報告

1. 石川達也, 下野正基⁽¹⁾, 石井拓男⁽²⁾, 松久保 隆⁽³⁾, 杉原直樹⁽³⁾, 小関真理子⁽³⁾, 今井光枝⁽³⁾, 山根源之⁽⁴⁾, 蔵本千夏⁽⁴⁾, 青木 聡⁽⁵⁾, 吉野文浩⁽⁶⁾, 新井平伊⁽⁷⁾: 高齢者の歯, および口腔状態が痴呆発症に及ぼす影響に関する調査研究報告書 (a) . 痴呆患者の口腔診査および保健調査結果と精神活動との関連 55~78頁, 財団法人ほけ予防協会, 2003. (1)病理 (2)社会歯 (3)衛生 (4)市病・オーラルメディシン (5)水病・総合歯科 (6)市病・精神・神経科, (7)順天堂大・医・精神医学

学会抄録

1. 津守将充, 亀山敦史, 平井義人, 見明康雄⁽¹⁾, 柳澤孝彰⁽¹⁾, 飯島洋一⁽²⁾: 酸化亜鉛配合グラスアイオノマーセメントの二次齲蝕抑制効果, 日歯保存誌 45(春季特別号), 19, 2002. (第116回日本歯科保存学会, 東京) A00 420 4 細形研, 保情研 (1)超微構造, (2)長崎大・歯・予防歯科
2. 細川壮平⁽¹⁾, 野呂明夫, 高橋潤一⁽²⁾, 秋廣良昭⁽³⁾, 西本幸仁⁽³⁾, 加藤嘉哉⁽¹⁾, 槇石武美, 平井義人: 新規リハビリ器具による表情筋(口輪筋/頬筋)機能療法の基礎と臨床(第9報) 幼児から老人における口唇閉鎖力の推移, 日歯保存誌 45(春季特別号), 123, 2002. (第116回日本歯科保存学会, 東京) A00 0420 8 (1)水病・総合歯科, (2)保存, (3)東京都
3. 野呂明夫, 高橋潤一⁽¹⁾, 秋廣良昭⁽²⁾, 西本幸仁⁽³⁾, 保坂 誠, 細川伊平, 槇石武美, 平井義人: 新規リハビリ器具による表情筋(口輪筋/頬筋)機能療法の基礎と臨床(第10報) 脳梗塞患者への『パタカラ』の応用と口唇閉鎖力の変化, 日歯保存誌 45(春季特別号), 124, 2002. (第116回日本歯科保存学会, 東京) A00 0420 8 (1)保存, (2)水病・総合歯科, (3)東京都
4. 井原聡一郎, 天谷哲也, 春山親弘, 亀山敦史, 平井義人, 見明康雄⁽¹⁾, 柳澤孝彰⁽¹⁾: 熱によるヒト象牙質コラーゲンの形態学的変化について 第2報, 日歯保存誌 45(春季特別号), 142, 2002. (第116回日本歯科保存学会, 東京) A00 420 3 細形研 (1)超微構造
5. 加藤広之⁽¹⁾, 市之川 浩⁽¹⁾, 土倉 康⁽¹⁾, 山田 考⁽¹⁾, 藤井玄一郎⁽¹⁾, 伊藤彰人⁽¹⁾, 浅井康宏⁽¹⁾, 平井義人, 中川寛一⁽¹⁾: ポリプロピレン製根管充填用ポイントをコア・キャリアーに用いた加温軟化ガッタパーチャ充填法 臨床応用例, 日歯保存誌 45(春季特別号), 154, 2002. (第116回日本歯科保存学会, 東京) (1)保存
6. 長坂 斉⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽²⁾, 石川達也: 咬合が関連すると思われる難聴の診断および咬合改善処置気導および骨伝導聴力の向上症例について, 日歯保存誌 45(春季特別号), 163, 2002. (第116回日本歯科保存学会, 東京) (1)衛生, (2)補綴

7. 吉田 隆⁽¹⁾, 渡邊宇一⁽¹⁾, 古澤成博⁽¹⁾, 淺井康宏⁽¹⁾, 平井義人: 歯科衛生士教育機関における診療補助実習 (第1報) 仮封処置について, 日歯保存誌 45(春季特別号), 166, 2002. (第116回日本歯科保存学会, 東京)
(1)保存
8. 松脇由典⁽¹⁾, 久納 淨⁽¹⁾, 飯村慈朗⁽²⁾, 中川雅文⁽³⁾, 中島庸也⁽¹⁾, 森山 寛⁽²⁾, 新谷益朗⁽⁴⁾, 石川達也: ヒト一次聴覚野における周波数分布 MEG による検討 (第1報), 日耳鼻会報 105(4), 489, 2002. (第103回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 東京)(1)市病・耳鼻科 (2)慈恵医大・耳鼻科 (3)東京臨海病院・耳鼻科 (4)脳科学研究施設
9. 平井義人: 審美修復の現状, 日歯産会誌 16(1), 58, 2002. (第17回日本歯科産業学会総会, 東京)A 99 0420 1
10. 森山貴史⁽¹⁾, 渡部光弘⁽¹⁾, 奥川裕司⁽²⁾, 廣瀬理子⁽¹⁾, 槇石武美⁽¹⁾: 東京歯科大学水道橋病院口臭外来について 2001年3月開設時から1年間の動向, 歯科学報 102(6), 540, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)(1)水病・保存科, (2)水病・総合歯科
11. 森永一喜⁽¹⁾, ハッ橋孝彰⁽¹⁾, 市川博彰⁽¹⁾, 中川寛一⁽¹⁾, 五味渕京子⁽²⁾, 角田正健⁽²⁾, 関口一実⁽²⁾, 高橋潤一⁽²⁾, 伊藤太一⁽²⁾, 山田 了⁽²⁾, 天谷哲也, 亀山敦史, 春山親弘, 平井義人: 千葉病院口臭外来の現状(平成13年度), 歯科学報 102(6), 541, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)(1)保存, (2)保存
12. 井原聡一郎, 天谷哲也, 春山親弘, 亀山敦史, 平井義人, 見明康雄⁽¹⁾, 柳澤孝彰⁽¹⁾: 熱によるヒト象牙質コラーゲンの形態学的変化について, 歯科学報 102(6), 549, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
A00 420 3 細形研 (1)超微構造
13. 亀山敦史, 井原聡一郎, 天谷哲也, 平井義人, 見明康雄⁽¹⁾, 柳澤孝彰⁽¹⁾, 河田英司⁽²⁾, 小田 豊⁽²⁾: 加熱象牙質への4-META/MMA-TBB レジンの接着, 歯科学報 102(6), 550, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)細形研 (1)超微構造, (2)理工
14. 青木 聡⁽¹⁾, 大多和由美⁽²⁾, 槇石武美⁽¹⁾, 谷田部賢一⁽³⁾, 福田謙一⁽⁴⁾, 山根源之⁽⁵⁾, 井出吉信⁽⁶⁾, 金子 讓⁽⁷⁾, 石川達也: 東京歯科大学水道橋病院における研修医に対するOSCE-ポストアンケートより, 日歯医教会 21抄集, 43, 2002. (第21回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 横浜市)(1)水病・総合歯科 (2)水病・小児歯科, (3)水病・矯正科, (4)水病・麻酔科, (5)市病・オーラルメディシン, (6)解剖, (7)歯麻
15. 長坂 斉⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 高江洲義矩⁽¹⁾, 石川達也, 中村昭二⁽²⁾, 鈴木宏和⁽³⁾, 星 詳子⁽⁴⁾: 下顎運動バランス機能測定器としてのオージオメーターの有効性(1), 口腔衛生会誌 52(4), 586~587, 2002. (第51回日本口腔衛生学会総会 大阪市)(1)衛生 (2)愛知学院大・歯・矯正 (3)日本生体咬合研究所 (4)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部
16. 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽²⁾, 湯本真人⁽³⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 古賀 寛⁽¹⁾, 石川達也: 噛みしめによる聴覚野応答への影響, 口腔衛生会誌 52(4), 588~589, 2002. (第51回日本口腔衛生学会・総会, 大阪市)
脳科学研 (1)衛生, (2)補綴, (3)東大・医・検査部神経生理
17. 瀧澤雅一, 平井義人: 注水量と切削量・温度の関係, 第5回Er:YAGレーザー臨床研究会プログラム・抄録集, 6, 2002. (第5回Er:YAGレーザー臨床研究会, 京都市)A00 420 5
18. 平井義人: レーザーの取り扱い法とEr:YAGレーザーの安全性, 第5回Er:YAGレーザー臨床研究会プログラム・抄録集, 10, 2002. (第5回Er:YAGレーザー臨床研究会, 京都市)

- 19 . Amagai, T., Haruyama, C., Kameyama, A., Takizawa, M., Takase, Y., Hirai, Y., Kumazaki, M.⁽¹⁾ : Pulpal reaction of Er : YAG Laser - irradiation by different power/pulse conditions, 8th International Congress on Lasers in Dentistry Program and Abstract, 96 , 2002 . (8th International Congress on Lasers in Dentistry, Yokohama) 細形研 実動施設 (1)大阪歯科大学
- 20 . 福岡博史⁽¹⁾, 上田恵里子⁽¹⁾, 小山悠子⁽¹⁾, 福岡 明⁽¹⁾, 野呂明夫, 高橋一祐⁽²⁾ : 磁気波動共鳴分析器(MIRS)による歯科材料の評価と選定, Journal of International Society of Life Information Science **20**(2), 417 ~ 421 , 2002 . (第14回生命情報科学シンポジウム, 千葉市) 脳科学研 (1)医療法人社団明徳会福岡歯科総合医療研究所, (2)水病・保存科
- 21 . 高橋潤一⁽¹⁾, 野呂明夫, 秋廣良昭⁽²⁾, 高橋一祐⁽³⁾ : 若年者における口唇閉鎖力の成長, Journal of International Society of Life Information Science **20**(2), 422 ~ 425 , 2002 . (第14回生命情報科学シンポジウム, 千葉市) (1)保存 , (2)水病・総合歯科, (3)水病・保存科
- 22 . 野呂明夫, 高橋潤一⁽¹⁾, 秋廣良昭⁽²⁾, 高橋一祐⁽³⁾ : 成人における口唇閉鎖力の経年変化, Journal of International Society of Life Information Science **20**(2), 426 ~ 429 , 2002 . (第14回生命情報科学シンポジウム, 千葉市) A00 0420 8 脳科学研 (1)保存 , (2)水病・総合歯科, (3)水病・保存科
- 23 . 平井義人 : Er : YAG レーザーの照射条件の違いによる歯髄及び歯肉への影響, 日レーザー医学会誌 **23** (3), 240 , 2002 . (第23回日本レーザー医学会総会, 大阪市)
- 24 . 山岸東太郎⁽¹⁾, 森山徳長⁽¹⁾, 長谷川正康⁽¹⁾, 石川達也 : 初代厚生大臣木戸幸一自筆の血脇守之助への書簡(委員委嘱状), 日歯医史会誌 **24**(4), 306 , 2002 . (第30回日本歯科医史学会, 新潟市) (1)東京歯科大学
- 25 . 山岸東太郎⁽¹⁾, 森山徳長⁽¹⁾, 長谷川正康⁽¹⁾, 石川達也 : 初代厚生大臣木戸幸一自筆の血脇守之助への書簡(委員委嘱状), 日医史会誌 **48**(3), 450 ~ 451 , 2002 . (第103回日本医史学会, 新潟市) (1)東京歯科大学
- 26 . Kobayashi, Y.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽¹⁾, Satou, T.⁽²⁾, Nagasaka, H.⁽¹⁾, Sugihara, N.⁽¹⁾, Yumoto, M.⁽³⁾, Ishikawa, T. : The effect of cotton roll biting on auditory evoked magnetic, 1st International Congress on Mastication and Health Program and Abstracts, 100 , 2002 . (1st International Congress on Mastication and Health, Yokohama) (1)衛生, (2)補綴 , (3)東大・医・検査部神経生理
- 27 . 阿部伸一⁽¹⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 山田好秋⁽³⁾, 石川達也 : 嚥下運動関連脳磁場と視覚誘発脳磁場の比較, 歯基礎医学会誌 **44**(5), 455 , 2002 . (第44回歯科基礎医学会学術大会ならび総会, 東京) 脳科学研 (1)解剖, (2)病理, (3)新潟大・院・顎顔面機能
- 28 . 石川達也, 佐藤 亨⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 石井拓男⁽³⁾, 吉田友明⁽⁴⁾, 飯島国好⁽⁵⁾, 巽浩一郎⁽⁶⁾, 相原一之⁽¹⁾ : 咬合と睡眠との関連性について, 日補綴歯会誌 **46**(108回特別号), 201 , 2002 . (第108回日本補綴学会学術大会, 名古屋市) (1)補綴 , (2)病理, (3)社会歯, (4)財老年歯科医学総合研究所, (5)東京都, (6)千葉大・医・呼吸器内科
- 29 . 佐藤 亨⁽¹⁾, 野口祐輔⁽¹⁾, 平地正茂⁽¹⁾, 本間留美果⁽¹⁾, 久永竜一⁽¹⁾, 山田敏勝⁽¹⁾, 石川達也, 吉田 実⁽²⁾, 松原秀憲⁽³⁾, 近常 正⁽³⁾ : 水泳を日常スポーツとしている人における体重8分割値の変動について, 日補綴歯会誌 **46** (108回特別号), 202 , 2002 . (第108回日本補綴学会学術大会, 名古屋市) (1)補綴 , (2)東京医療専門学校, (3)中国・四国支部

30. 鈴木祥子⁽¹⁾, 茂木悦子⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 宮崎晴代⁽²⁾, 野村真弓⁽¹⁾, 金子幸生⁽¹⁾, 清水貴子⁽¹⁾, 竹内史江⁽¹⁾, 山口尊生⁽¹⁾, 早川浩太郎⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 野口祐輔⁽³⁾, 佐藤 亨⁽³⁾, 平井義人, 石川達也, 関口 基⁽⁴⁾: 8020達成者におけるバランス体重計による重心変動について, 歯科学報 102(10), 833, 2002. (第274回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)矯正, (2)水病・矯正科, (3)補綴, (4)千葉県
31. 杉山利子, 武藤由剛, 春山親弘, 津守將充, 平井義人: セルフエッチング型ボンディング材併用コンポジットレジン修復の臨床経過に関する検討, 歯科学報 102(10), 836, 2002. (第274回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
A 02 0420 2
32. 武藤由剛, 津守將充, 春山親弘, 井原聡一郎, 亀山敦史, 平井義人: MDPB 配合試作接着システム「ABF」について 第3報歯髄反応, 歯科学報 102(10), 837 2002. (第274回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 実動施設
33. 武藤由剛, 津守將充, 春山親弘, 井原聡一郎, 亀山敦史, 平井義人: MDPB 配合試作接着システム「ABF」について 第3報歯髄反応, 日歯保存誌 45(秋季特別号), 137, 2002. (第117回日本歯科保存学会, 徳島市) 細形研 実動施設
34. 杉山利子, 武藤由剛, 春山親弘, 津守將充, 平井義人: セルフエッチング型ボンディング材併用コンポジットレジン修復の臨床経過に関する検討, 日歯保存誌 45(秋季特別号), 138 2002. (第117回日本歯科保存学会, 徳島市) A 02 0420 2
35. 天谷哲也, 五十嵐章浩, 篠原 崇, 瀧澤雅一, 高瀬保晶, 平井義人, 矢崎欽也⁽¹⁾, 川口 充⁽¹⁾: Er: YAGレーザー照射により酸素ラジカルが発生するか FTIR を用いたペントース分解法による検討, 日歯保存誌 45(秋季特別号), 153, 2002. (第117回日本歯科保存学会, 徳島市) 細形研, 分析生研 (1)薬理
36. 佐々木琢磨⁽¹⁾, 中村昭二⁽²⁾, 藤々木英文⁽¹⁾, 鈴木宏和⁽¹⁾, 星 詳子⁽³⁾, 長坂 斉⁽⁴⁾, 松久保 隆⁽⁴⁾, 石川達也: 咬合と聴力に関する臨床的研究その3 オージオメーターによる偏位咀嚼診断法の検証, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 57, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) (1)日本生体咬合研究所, (2)愛知学院大・歯・矯正, (3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部, (4)衛生
37. 藤々木英文⁽¹⁾, 中村昭二⁽²⁾, 久馬 厚⁽¹⁾, 星 詳子⁽³⁾, 長坂 斉⁽⁴⁾, 松久保 隆⁽⁴⁾, 石川達也: 咬合と聴力に関する臨床的研究 その4 軽度のTMDを持つ一患者のオージオメーターによる聴力値の日内変動, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 58, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) (1)日本生体咬合研究所, (2)愛知学院大・歯・矯正, (3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部, (4)衛生
38. 中村昭二⁽¹⁾, 佐々木琢磨⁽²⁾, 藤々木英文⁽²⁾, 鈴木宏和⁽²⁾, 星 詳子⁽³⁾, 長坂 斉⁽⁴⁾, 松久保 隆⁽⁴⁾, 石川達也: 咬合と聴力に関する臨床的研究 その5 咬合調整による顎関節症患者の聴力変化, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 59, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) (1)愛知学院大・歯・矯正, (2)日本生体咬合研究所, (3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部, (4)衛生
39. 長坂 斉⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也, 中村昭二⁽²⁾, 永原邦茂⁽²⁾, 星 詳子⁽³⁾: 咬合関連聴力低下の分類の試み, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 61, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) (1)衛生, (2)愛知学院大・歯・矯正, (3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部

40. 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽²⁾, 湯本真人⁽³⁾, 長坂 齊⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 石川達也: コットンロールの噛みしめによる聴覚野応答への影響, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 62, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) 脳科学研 (1)衛生, (2)補綴, (3)東大・医・検査部神経生理
41. 野本俊太郎⁽¹⁾, 亀山敦史, 中澤妙衣子, 天谷哲也, 河田英司⁽²⁾, 小田 豊⁽²⁾, 平井義人, 佐藤 亨⁽¹⁾: 過酸化物を作用させた象牙質に対する4-META/MMA-TBBレジンの接着, 接着歯学 20(4), 288~289, 2002. (第21回日本接着歯学会学術大会, 新潟市) 細形研, 分析生研 (1)補綴, (2)理工
42. 澁川義幸⁽¹⁾, 新谷益朗⁽²⁾, 熊井敏文⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽³⁾, 鈴木 隆⁽¹⁾, K. Z. Zhang⁽⁴⁾, T. Jiang⁽⁴⁾, 石川達也, 中村嘉男⁽²⁾: 顎運動に mirror neuron system は関連するか?, 歯基礎医会誌 44(5), 410, 2002. (第44回歯科基礎医学会総会, 東京) 脳科学研 (1)生理, (2)脳科学研究施設, (3)市病・精神・神経科, (4)Peking Univ
43. 関根秀志⁽¹⁾, 荒瀧友彦⁽¹⁾, 嶋村一郎⁽¹⁾, 岸正 孝⁽¹⁾, 澁川義幸⁽²⁾, 鈴木 隆⁽²⁾, 石川達也: 歯牙への被圧状態の認識に関わる中枢の活動, 日補綴歯会誌 46(108回特別号), 144, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市) 脳科学研 (1)補綴, (2)生理
44. 澁川義幸⁽¹⁾, 新谷益朗⁽²⁾, 熊井敏文⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽³⁾, 鈴木 隆⁽¹⁾, Z. K. Zhang⁽⁴⁾, J. Ting⁽⁴⁾, 下野正基⁽⁵⁾, 石川達也, 中村嘉男⁽²⁾: Mirror Neuron Systems(MNS)は顎関節症(Temporomandibular Disorders; TMD)と関連するか?, 第3回脳磁場ニューロイメージング抄録集, 28, 2002. (第3回脳磁場ニューロイメージング, 岡崎市) 脳科学研 (1)生理, (2)脳科学研究施設, (3)市病・精神・神経科, (4)Peking Univ, (5)病理
45. 阿部伸一⁽¹⁾, 渡邊 裕⁽²⁾, 時岡孝寛⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽³⁾, 田崎雅和⁽⁴⁾, 松久保 隆⁽⁵⁾, 山根源之⁽²⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 山田好秋⁽⁶⁾, 下野正基⁽⁷⁾, 石川達也: 脳磁図計による中枢性嚙下誘発部位の検索, 歯科学報 103(1), 20, 2003. (第13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 3A01 脳科学研 (1)解剖, (2)市病・オーラルメディスン, (3)補綴, (4)生理, (5)衛生, (6)脳科学研究施設, (7)病理
46. 杉山哲也⁽¹⁾, ピケロカティウスカ⁽¹⁾, 櫻井 薫⁽¹⁾, 丸山剛郎⁽²⁾, 赤澤勇人⁽¹⁾, 安藤友彦⁽¹⁾, 三澤壮太郎⁽¹⁾, 高橋 賢: 下顎位認知および下顎随意運動における脳活動部位の解析, 歯科学報 103(1), 31~32, 2003. (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)補綴, (2)脳科学研究施設
47. 高橋 賢, 武藤由剛, 平井義人, 石川達也, 仁科牧子⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽²⁾: 顎顔面領域の経路機能と中枢制御に関する研究, 歯科学報 103(1), 32~33, 2003. (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)市病・内科, (2)市病・精神・神経科
48. 松久保 隆⁽¹⁾, 小林義昌⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽²⁾, 長坂 齊⁽¹⁾, 古賀 寛⁽¹⁾, 湯本真人⁽³⁾, 石川達也: 咀嚼筋位, 咬合位および顎関節頭位の変化と聴覚野応答, 歯科学報 103(1), 33~34, 2003. (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3A10 脳科学研 (1)衛生, (2)補綴, (3)東大・医・検査部神経生理
49. 佐藤 亨⁽¹⁾, 石川達也, 松久保 隆⁽²⁾, 湯本真人⁽³⁾, 吉村浩一⁽¹⁾, 小林義昌⁽²⁾, 長坂 齊⁽²⁾: 咀嚼習癖と聴力変化との関連性について, 歯科学報 103(1), 34~35, 2003. (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3A11 脳科学研 (1)補綴, (2)衛生, (3)東大・医・検査部神経生理
50. 松脇由典⁽¹⁾, 久納 浄⁽¹⁾, 中島庸也⁽¹⁾, 新谷益朗⁽²⁾, 石川達也: ヒト聴覚誘発 MEG および嗅覚誘発 MEG の検討, 歯科学報 103(1), 38~39, 2003. (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)市病・耳鼻科, (2)脳科学研究施設

51. 石川達也, 坪田一男⁽¹⁾, 島崎 潤⁽¹⁾, ビッセン宮島弘子⁽²⁾, 篠崎尚史⁽¹⁾, 榛村重人⁽¹⁾, 深川和己⁽¹⁾, 吉野健一⁽¹⁾, 藤島 浩⁽¹⁾, 高野洋之⁽²⁾: 人工角膜の構築と免疫学的研究, 歯科学報 **103**(1), 45~46, 2003. (第13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)市病・眼科, (2)水病・眼科
52. 石川達也, 下野正基⁽¹⁾, 小田 豊⁽²⁾, 佐藤 亨⁽³⁾, 村松 敬⁽¹⁾, 松坂賢一⁽⁴⁾, 三宅菜穂子⁽³⁾, 服部雅之⁽²⁾, 高橋 賢: 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響, 歯科学報 **103**(1), 50, 2003. (第13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC 5A03 (1)病理, (2)理工, (3)補綴, (4)臨検査
53. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 山中すみへ⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 石川達也, 山田 了⁽⁶⁾, 久保周平⁽⁷⁾, 関根秀志⁽⁸⁾, 茂木悦子⁽⁹⁾, 矢島安朝⁽¹⁰⁾, 新谷益朗⁽¹¹⁾, 石崎 憲⁽¹²⁾: 唾液検査とオーダーメイド治療, 歯科学報 **103**(1), 57~59, 2003. (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC5A08 (1)臨検査, (2)病理, (3)理工, (4)衛生, (5)生理, (6)保存, (7)小児歯, (8)補綴, (9)矯正, (10)口外, (11)脳科学研究施設, (12)補綴
54. 高瀬保晶, 杉山利子, 春山親弘, 平井義人: 保存修復学実習における視覚素材の応用, 第1回デンタルシミュレーション教育研究会プログラム・抄録集, 20, 2003. (第1回デンタルシミュレーション教育研究会, 京都市)
55. 大多和由美⁽¹⁾, 青木 聡⁽²⁾, 木津康博⁽³⁾, 柿澤 卓⁽⁴⁾, 安達 康⁽⁵⁾, 石上恵一⁽⁶⁾, 石井拓男⁽⁷⁾, 金子 譲⁽⁸⁾, 石川達也: 東京歯科大学水道橋病院における研修医に対するOSCE 課題と評価について, 日歯医教会21回抄集, 42, 2003. (第21回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 横浜市) (1)水病・小児歯科, (2)水病・総合歯科, (3)市病・オーラルメディシン, (4)水病・口外科, (5)水病・補綴科, (6)スポーツ歯, (7)社会歯, (8)歯麻
56. Haruyama, C., Amagai, T., Kameyama, A., Takizawa, M., Takase, Y., Hirai, Y., Kumazaki, M.⁽¹⁾: Pulpal reaction of Er: YAG Laser - Irradiation by different power/pulse conditions, 8th International Congress on Lasers in Dentistry Program and Abstract, 84, 2003. (8th International Congress on Lasers in Dentistry, Yokohama) 細形研 実動施設 (1)大歯大

4. 小児歯科学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	薬師寺 仁	光硬化型ガラスアイオノマーセメントの歯髄に及ぼす影響 (A93 0450 1)
客員研究員	王 小競	永久歯の先天性欠如を有する患児の MSX 1 遺伝子の構造解析
講師	関口 浩	ヒト珐瑯質蛋白アメロジェニンの遺伝子構造の解明 (A96 0450 2)
	米津 卓郎	ビデオマクロスコープを用いた小児歯齦の観察 (A91 0450 5)
	久保 周平	窩底象牙質厚径と電気抵抗値の関連性 (A90 0450 3)
助手	林 芳裕	細胞成長因子が乳歯歯髄に及ぼす影響 (A94 0450 3)
	福山 達郎	側方歯群の位置の累年的変化 (A02 0450 1)
	黒須 美佳	3歳児の摂食上の問題点と背景因子 (A98 0450 3)
	今井 裕樹	白色海綿状母斑の遺伝学的研究 (A01 0450 2)
	氏家真由子	生理的動揺度を考慮した歯牙外傷時の暫間固定 (A02 0450 2)
	原 麻子	マイクロ CT を用いた乳白歯咬合面溝の三次元的観察 (A02 0450 3)
病院助手	和田 麗	
	門屋 真理	
大学院生	恩田 尚余	歯間空隙の累年的変化 (A97 0450 1)
	牛田 永子	栄養法の相違による齲蝕原性菌の定着時期
	小林 菜穂	栄養法の相違による歯周病原性菌の定着時期
専攻生	西村 文子	

2. 成果の概要

1) 上顎切歯の生理的動揺度に関する研究 (A01 0450 3)

上顎乳切歯および切歯の生理的動揺度を客観的に評価することを目的に、動揺度測定器デンタル・モビリティ・チェッカー (株式会社ヨシダ) を用いて生理的動揺度を測定した。その結果、乳切歯では生理的歯根吸収の進行に従い、動揺度測定値は漸次増加し、切歯では歯根形成程度の進行に従い、動揺度測定値は漸次減少し、歯根完成に至ると急激に動揺度測定値は減少することが確認された。

歯科学報 102, 277~288, 2002.

2) 歯科大学病院小児歯科における過剰歯に関する実態調査

過剰歯は、小児歯科臨床において遭遇する機会が非常に高く、過剰歯の存在が歯列・咬合へ影響を及ぼしていると考えられる症例が少なくない。そこで、過剰歯の実態を詳細に把握し、処置方針の決定に役立つことを目的に、本学千葉病院小児歯科を受診した93名 (125歯) について、来院の経緯、性別、年齢、過剰歯の歯数、部位、萌出・埋伏の別および埋伏状態、エックス線画像検査法ならびに対応法について調査した。

小児歯誌 41, 87~93, 2003.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学 外 研 究 施 設		
		研究施設	所在地	責任者
米津 卓郎	Effect of feeding methods on dental arch parameters Attrition patterns in the primary dentition	Dept. of preventive and Community Dentistry, University of Iowa, College of Dentistry	U. S. A	Levy, Steven M.
薬師寺 仁 久保 周平	障害者診療所6年間の歩み(第2報) 歯科衛生士業務日誌からみた来院障害児の行動変容について	1) 船橋さざんか歯科診療所 2) 船橋歯科医師会	船橋市	谷口 和義
薬師寺 仁 林 芳裕 今井 裕樹	The incidence of dental caries of deciduous dentition in relationship to normal occlusion and deep overbite	Dept. of Pedodontics, School of Stomatology, Shanghai Tiedao University	China	Shi, Sizen

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究 課 題	研 究 費
氏家真由子	生理的動揺度を考慮した歯牙外傷時の暫間固定	科学研究費・若手(B)

5. 研究活動の特記すべき事項

学会・研究会主催

主催者名	年月日	学会・研究会名	会 場	主催地
薬師寺 仁	2002.6.5	日本小児歯科学会創立40周年記念行事	ホテルニューオータニ幕張	千葉市
薬師寺 仁	2002.6.6 ~ 7	第40回日本小児歯科学会大会および総会	幕張メッセ国際会議場	千葉市

6. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演題名	学会・研究会名	開催地	備考
薬師寺 仁	2002.6.16	子どもの口の健康 乳幼児期の口腔健康管理	東京歯科大学歯科 衛生士専門学校同窓会 卒後研修セミナー	東京	
米津 卓郎	2002.6.20	おしゃぶりについて	船橋市母子保健事業 講演会	船橋市	
薬師寺 仁	2002.8.22	小児期の歯牙外傷時の対応 とその予防 ・歯牙外傷の診察と検査	東京都歯科医師会 卒後研修セミナー	東京	
関口 浩	2002.8.22	小児期の歯牙外傷時の対応 とその予防 ・位置異常と脱落時の対応	東京都歯科医師会 卒後研修セミナー	東京	
久保 周平	2002.8.22	小児期の歯牙外傷時の対応 とその予防 ・外傷歯の予後観察	東京都歯科医師会 卒後研修セミナー	東京	
薬師寺 仁	2002.9.21 ~22	小児期の歯列・咬合の管理	富山三二会 C・C 講演会	富山市	
米津 卓郎	2002.9.28	アメリカの歯科事情と咬合 誘導	東京歯科大学同窓会 十勝支部講演会	帯広市	
薬師寺 仁	2002.11.14	口腔外傷の適切な処置と スポーツ外傷の予防	新宿区学校歯科保健 講演会	東京	
米津 卓郎	2002.11.20	小児歯科における咬合誘導	国立市歯科医師会講演会	国立市	
米津 卓郎	2002.11.24	おしゃぶりブームに一石を 投じる	第1回 MFT 研究会大会	東京	
薬師寺 仁	2002.12.12	Apexogenesis と Apexifi- cation	長崎大学大学院医歯薬 総合研究科 小児歯科学 セミナー	長崎市	
米津 卓郎	2002.12.12	歯科医院に障害者が来たら	船橋市歯科医師会講演会	船橋市	

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
久保 周平	2003.1.18	平成14年度東京医科歯科大学 歯学部共用試験歯学 OSCE トライアル	外部評価者	東京	
薬師寺 仁	2003.3.29 ~30	日本小児歯科学会教育研修 ワークショップ	タスクフォース	枚方市	

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
久保 周平	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	ST2 責任者	千葉市

論 文

1. 櫻井 薫⁽¹⁾, 瀧澤雅一⁽²⁾, 高橋潤一⁽³⁾, 山倉大紀⁽⁴⁾, 片倉 朗⁽⁵⁾, 久保周平, 片田英憲⁽⁶⁾, 一戸達也⁽⁷⁾, 伊藤彰人⁽⁸⁾, 山田 了⁽³⁾, 角田正健⁽³⁾, 石井拓男⁽⁹⁾: 臨床研修の目標と評価 平成14年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価, 歯科学報 **102**(4), 249~270, 2002. 総説 (1)補綴, (2)保存, (3)保存, (4)補綴, (5)口外, (6)矯正, (7)歯麻, (8)保存, (9)社会歯
2. 氏家真由子, 久保周平, 丘 芳美⁽¹⁾, 薬師寺 仁: 上顎切歯の生理的動揺度に関する研究, 歯科学報 **102**(4), 277~288, 2002. 原著 脳科学研 (1)東京都
3. 望月清志⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 薬師寺 仁, 土屋喜子⁽²⁾, 末石研二⁽²⁾, 山口秀晴⁽³⁾: 線状骨症 頭蓋骨硬化症 大脳症の歯科学的所見, 小児歯誌 **40**(3), 571~575, 2002. 症例 (1)水病・小児歯科, (2)水病・矯正科, (3)矯正
4. 山本一普⁽¹⁾, 早川吉彦⁽¹⁾, 小林紀雄⁽¹⁾, 菅菅裕治⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 関口 浩, 薬師寺 仁, A. G. Farman⁽²⁾: Tuned - Aperture Computed Tomography (TACT[®])による歯および周囲組織の三次元画像診断の有用性, 映像情報 Med **34**(10), 1026~1031, 2002. 原著 (1)歯放, (2)School of Dent., University of Louisville
5. 北村智子⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁: 歯科大学病院小児歯科来院患者の実態調査 平成12,13年度における診療内容について, 小児歯誌 **40**(5) 851~857, 2002. 臨床 (1)水病・小児歯科
6. Warren, J. J.⁽¹⁾, Yonezu, T., Bishara, S. E.⁽¹⁾: Tooth wear patterns in the deciduous dentition, Am J Orthod Dentofacial Orthop **122**(6), 614~618, 2002. 原著 (1)University of Iowa
7. Yamamoto, K.⁽¹⁾, Hayakawa, Y.⁽¹⁾, Kousuge, Y.⁽¹⁾, Wakoh, M.⁽¹⁾, Sekiguchi, H., Yakushiji, M., Farman, A. G.⁽²⁾: Diagnostic value of tuned - aperture computed tomography versus conventional dentoalveolar imaging in assessment of impacted teeth, Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod **95**(1), 109~118, 2003. 原著 (1)歯放, (2)School of Dent., University of Louisville
8. 氏家真由子, 黒須美佳, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 牛田永子, 門屋真理, 薬師寺 仁: 歯科大学病院小児歯科における過剰歯に関する実態調査, 小児歯誌 **41**(1), 87~93, 2003. 臨床 (1)水病・小児歯科
9. 王 小競, 文 玲英⁽¹⁾, 楊 富生⁽¹⁾, 薬師寺 仁: ニコチンがマウス培養歯胚の BMP 分泌に及ぼす影響, 小児歯誌 **41**(1), 266~270, 2003. 原著 (1)第四軍医大学口腔医学院児童口腔科
10. 大多和由美⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 薬師寺 仁: 歯ブラシ刺入による頬脂肪体ヘルニアの1例, 小児歯誌 **41**(1), 297~302, 2003. 症例 (1)水病・小児歯科
11. Warren, J. J.⁽¹⁾, Slayton, R. L.⁽²⁾, Yonezu, T., Kanellis, M. J.⁽¹⁾, Levy, S. M.⁽¹⁾: Interdental spacing and caries in the primary dentition, Pediatr Dent **25**(2), 109~113, 2003. 原著 (1)University of Iowa, (2)Oregon Health and Science University

解 説

1. 薬師寺 仁：幼若永久歯(歯根未完成永久歯)の歯内療法 Apexogenesis と Apexification ,日歯医師会誌 55(7), 594 ~ 603, 2002 .

単行図書

1. 薬師寺 仁^(a), (b)：著分担：イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 4 . 小児歯科疾患・口腔病変・不正咬合 (a)14乳歯・幼若永久歯の歯髄切断法 42 ~ 45頁 (b)15乳歯・幼若永久歯の抜髄法 46 ~ 49頁, 医歯薬出版, 東京, 2002 .
2. 薬師寺 仁^(a)：著分担：今日の小児治療指針第13版 (a)う蝕の治療 611 ~ 613頁, 医学書院, 東京, 2003 .

プロシーディングス

1. Mochizuki, K.⁽¹⁾, Sekine, H.⁽²⁾, Shibukawa, Y.⁽³⁾, Shintani, M.⁽⁴⁾, Yakushiji, M., Suzuki, T.⁽³⁾, Ishikawa, T.⁽⁵⁾ : Magnetoencephalographic representation of the periodontal sensation from bilateral maxillary permanent canine teeth in human primary somatosensory cortex, Proceedings of the 13th International Conference on Biomagnetism ,430 ~ 433 ,2002 . (13th International Conference on Biomagnetism, Jena, Germany) 脳科学研究 (1)水病・小児歯科, (2)補綴, (3)生理, (4)脳科学研究施設, (5)保存

そ の 他

1. 小幡 純⁽¹⁾, 方 一如⁽²⁾, 薬師寺 仁, 長谷川紘司⁽³⁾ : 日中国交正常化30周年記念日中医学大会2002の開催にあたって, 日歯医師会誌 55(4), 327 ~ 341, 2002 . (1)東京都, (2)大歯大, (3)昭和大

学会抄録

1. 三代真義⁽¹⁾, 安部輝美⁽¹⁾, 三宅晶子⁽¹⁾, 清水貴子⁽¹⁾, 末石研二⁽²⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 薬師寺 仁 : 小児の口蓋前方部に加わる舌圧の測定, 小児歯誌 40(2), 272, 2002 . (第40回日本小児歯科学会大会および総会, 千葉市) (1)矯正, (2)水病・矯正科
2. 今井裕樹 薬師寺 仁 : 乳歯列期におけるTerminal plane および乳犬歯の前後的咬合関係の変化 正常永久歯列に至った症例について , 小児歯誌 40(2), 336, 2002 . (第40回日本小児歯科学会および総会, 千葉市)
3. 望月三香⁽¹⁾, 小林瑞穂⁽²⁾, 望月清志⁽³⁾, 町田幸雄, 薬師寺 仁 : リーウェイスペースと永久歯列排列状態との関連性について, 小児歯誌 40(2), 338, 2002 . (第40回日本小児歯科学会および総会, 千葉市) (1)神奈川県, (2)埼玉県, (3)水病・小児歯科
4. 小林瑞穂⁽¹⁾, 望月三香⁽²⁾, 望月清志⁽³⁾, 町田幸雄, 薬師寺 仁 : リーウェイスペースと側方歯群交換との関連性について, 小児歯誌 40(2), 339, 2002 . (第40回日本小児歯科学会大会および総会, 千葉市) (1)埼玉県 (2)神奈川県, (3)水病・小児歯科
5. 黒須美佳, 氏家真由子, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 牛田永子, 門屋真理, 薬師寺 仁 : 東京歯科大学小児歯科における粘液嚢胞に関する実態調査, 小児歯誌 40(2), 370, 2002 . (第40回日本小児歯科学会大会および総会, 千葉市) (1)水病・小児歯科

- 6 . 氏家真由子, 黒須美佳, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 牛田永子, 門屋真理, 薬師寺 仁: 東京歯科大学小児歯科における過剰歯に関する実態調査, 小児歯誌 **40**(2), 371, 2002 . (第40回日本小児歯科学会および総会, 千葉市)
(1)水病・小児歯科
- 7 . 関口 浩, 斎藤英一⁽¹⁾, 薬師寺 仁: ヒトアメロジェニンcDNA 遺伝子の人工的構築と大腸菌による蛋白発現, 小児歯誌 **40**(2), 422, 2002 . (第40回日本小児歯科学会大会および総会, 千葉市) (1)日歯大新歯・生化
- 8 . Yamamoto, K.⁽¹⁾, Hayakawa, Y.⁽¹⁾, Kobayashi, N.⁽¹⁾, Kousuge, Y.⁽¹⁾, Wakoh, M.⁽¹⁾, Sekiguchi, H., Yakushiji, M., Farman, A. G.⁽²⁾: Tuned - Aperture Computed Tomography(TACT[®])to assess impacted teeth using 2D slices and 3D pseudo - holograms, Proceeding of the 16th International Congress of Computer Assisted Radiology and Surgery CARS2002, 1117, 2002 . (16th International Congress of Computer Assisted Radiology and Surgery CARS2002, Paris, France) Lemke, H. U., Vannier, M. W., Inamura, K., Farman, A. G., Doi, K., eds .
(1)歯放, (2)School of Dent., University of Louisville
- 9 . 氏家真由子, 久保周平, 薬師寺 仁: 外傷乳歯の動揺度に関する臨床的観察, 歯科学報 **102**(6), 533, 2002 . (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
- 10 . 中嶋英乃⁽¹⁾, 本橋佳子⁽¹⁾, 中野洋子⁽¹⁾, 内山健志⁽¹⁾, 久保周平, 山崎孝子⁽²⁾: 口蓋裂児の食生活に関する調査 第2報 普通食の摂食状況, 歯科学報 **102**(6), 552, 2002 . (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外 , (2)東歯大・千病
- 11 . 北村智子⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁: 平成13年度における東京歯科大学水道橋病院小児歯科来院患者の実態調査, 歯科学報 **102**(6), 554, 2002 . (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
(1)水病・小児歯科
- 12 . 奥田みのり⁽¹⁾, 一戸達也⁽¹⁾, 金子 譲⁽¹⁾, 久保周平, 薬師寺 仁: 歯科大学病院における計画的日帰り全身麻酔による歯科治療, 障害者歯 **23**(3), 286, 2002 . (第19回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌市)
(1)歯麻
- 13 . 王 小競, 文 玲英⁽¹⁾, 薬師寺 仁: ニコチンが培養歯胚の BMP 分泌に及ぼす影響, 障害者歯 **23**(3), 392, 2002 . (第19回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌市) (1)第四軍医大学口腔医学院児童口腔科
- 14 . 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁, 末石研二⁽²⁾, 山口秀晴⁽³⁾, 田中葉子⁽⁴⁾: 広範な歯牙のエナメル形成不全を伴う歯科的所見より見出された Oculodentodigital syndrome の1例, 障害者歯 **23**(3), 417, 2002 . (第19回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌市) (1)水病・小児歯科 (2)水病・矯正科 (3)矯正, (4)市病・小児科
- 15 . Hara, A., Sekiguchi, H., Sudou, K.⁽¹⁾, Ide, Y.⁽¹⁾, Yakushiji, M. : Three - dimensional observations of the occlusal grooves in the maxillary deciduous second molar tooth with Micro - CT, 3rd Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia, 87, 2002 . (3rd Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia, Jeju Island, Korea) (1)解剖

- 16 . Wang, X. J., Wen, L. Y.⁽¹⁾, Yang, F. S.⁽¹⁾, Sekiguchi, H., Yakushiji, M. : Effect of nicotine on expression of transforming growth factor β 1 (TGF β 1) in mouse tooth germ, 3rd Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia, 93 ,2002 .(3rd Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia, Island, Korea) (1)Dental College of fourth Military Medical University
- 17 . 王 小競 関口 浩 薬師寺 仁 : 永久歯の先天性欠如を有する患児の MSX 1 遺伝子の構造解析 ,歯科学報 **102**(10) , 807 , 2002 .(第274回東京歯科大学学会総会 , 千葉市)
- 18 . 望月清志⁽¹⁾ , 北村智子⁽¹⁾ , 辻野啓一郎⁽¹⁾ , 大多和由美⁽¹⁾ , 薬師寺 仁 : 平成12・13年度の歯科大学病院小児歯科臨床における乳歯歯内療法の実態調査 ,歯科学報 **102**(10) , 820 , 2002 .(第274回東京歯科大学学会総会 , 千葉市)
(1)水病・小児歯科
- 19 . 花井淳一郎⁽¹⁾ , 椎木さやか⁽²⁾ , 横尾恵子⁽²⁾ , 渡邊 章⁽¹⁾ , 西堀陽平⁽¹⁾ , 大畠 仁⁽¹⁾ , 内山健志⁽¹⁾ , 氏家真由子 , 米津卓郎 , 薬師寺 仁 , 奥田みのり⁽³⁾ , 縣 秀栄⁽³⁾ , 阿部耕一郎⁽³⁾ , 金子 譲⁽³⁾ : 圍繞結紮を行った幼児下顎4乳切歯外傷の一例 , 歯科学報 **102**(10) , 825 , 2002 .(第274回東京歯科大学学会総会 , 千葉市) (1)口外 , (2)口外 , (3)歯麻
- 20 . 米津卓郎 : おしゃぶりブームに一石を投じる , 第 1 回 MFT 研究会大会抄録集 , 8 , 2002 .(第 1 回 MFT 研究会大会 , 東京)
- 21 . Ujiie, M., Kurosu, M., Tsujino, K.⁽¹⁾, Ushida, N., Kadoya, M., Yakushiji, M. : Survey of the present status of supernumerary teeth at the department of pediatric dentistry of dental college hospital, China - Japan Medical Conference 2002 Program & Abstracts Book Stomatology, 28 , 2002 .(China - Japan Medical Conference 2002, Beijing, China) (1)水病・小児歯科
- 22 . Kurosu, M., Ujiie, M., Tsujino, K.⁽¹⁾, Ushida, N., Kadoya, M., Yakushiji, M. : Survey of the present status of mucous cysts at the department of pediatric dentistry of a dental college hospital, China - Japan Medical Conference 2002 Program & Abstracts Book Stomatology, 31 , 2002 .(China - Japan Medical Conference 2002, Beijing, China) (1)水病・小児歯科
- 23 . 本橋佳子⁽¹⁾ , 中嶋英乃⁽¹⁾ , 中野洋子⁽¹⁾ , 内山健志⁽¹⁾ , 久保周平 : 口蓋裂児の食生活に関する調査第 3 報食品別摂食状況 , 日摂食嚥下リハ会誌 **6**(2) , 221 , 2002 .(第 8 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 , 宇都宮市) 脳科学研 (1)口外
- 24 . 黒須美佳 : 平成12・13年度における口腔内外傷の実態について 特に歯牙外傷について , 第27回千葉県小児保健協会総会プログラム , 2003 .(第27回千葉県小児保健協会総会 , 千葉市)
- 25 . Yonezu, T., Warren, J. J.⁽¹⁾, Bishara, S. E.⁽¹⁾, Broffitt, B. A.⁽¹⁾, Levy, S. M.⁽¹⁾ : Tooth size in the primary dentition : relationship to fluoride intake, J Dent Res **82**(Special Issue A) 61 , 2003 .(32nd Annual Meeting & Exhibition of the AADR, San Antonio, USA) (1)University of Iowa, USA
- 26 . Warren, J. J.⁽¹⁾, Bishara, S. E.⁽¹⁾, Yonezu, T., Levy, S. M.⁽¹⁾ : Tooth size - arch length relationships in the primary dentition, J Dent Res **82**(Special Issue A) 89 , 2003 .(32nd Annual Meeting & Exhibition of the AADR, San Antonio, USA) (1)University of Iowa

27. 内川智江⁽¹⁾, 北村智子⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁: 人工甘味料添加フッ化物
ゲルの臨床における利用方法, 小児歯誌 41(3) 620~621 2003 (第16回日本小児歯科学会関東地方会大会および
総会, 東京) (1)水病・小児歯科

5 . 口腔外科学第一講座

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

教授	野間 弘康	マイクロアレイを用いた口腔癌の診断および治療
教授	柿澤 卓	非進展口腔癌に対する最小侵襲治療における予後因子の検討 (A98 0470 8)
助教授	柴原 孝彦	口腔再建と機能評価 (A98 0470 1)
講師	矢島 安朝	インプラントを用いた顎顔面再建に関する研究 (A95 0470 5)
	高木多加志	顎顔面変形症の形態, 機能異常の3次元的评价と治療予測 (A98 0470 1)
	高野 正行	粘膜染色による口腔粘膜疾患の診断に関する研究 (A98 0470 13)
	片倉 朗	ラット舌癌の腫瘍血管構築の変化とその抗腫瘍効果についての実験的研究 (A98 0470 7)
助手	山 満	下顎後退症患者における顎位と顎関節に関する実験的研究 (A95 0470 9)
	畑田 憲一	4NQO 誘発ラット舌癌モデルの発癌過程におけるテロメラーゼ活性の推移について (A98 0470 5)
		顎・顔面・口腔領域の疾患に対する内視鏡を使用した新しい検査・手術法の研究 (A94 0470 6)
	高崎 義人	下歯槽神経損傷に対する治療の指標となる知覚診断法の開発 (A94 0470 1)
	横山 葉子	術前後の下顎頭の位置変化に対する研究 (A98 0470 11)
	笠原 清弘	口腔癌手術における SIRS と術後合併症についての検討
	花上 健一	外科的矯正治療におけるインプラント矯正の研究
	山内 智博	超薄膜 HA コーティングインプラントの骨形成過程に関する研究
	武田 栄三	口腔外科における手術侵襲と生体反応について (A98 0470 2)
	秋元 善次	第2顎椎突起と咬合平面との関係について (A95 0470 1)
	野村 武史	口腔癌における顎骨浸潤のメカニズムに関する研究
病院助手	山口 晋一	人工材料による下歯槽神経欠損部架橋に関する実験的研究 (A95 0470 3)
	浜瀬 真紀	下顎枝矢状分割術後の知覚障害に関する臨床的研究 (A97 0470 2)
	田村耕一郎	顎変形症患者の咬合圧分布に関する研究 (A98 0470 12)
	神山 勲	4 - nitroquinolin 1 - oxide (4NQO) 誘発ラット舌癌に対する抗癌剤持続動注の効果 (A96 0470 2)
	古谷 義隆	血管柄付再植骨内への人工歯根埋入後の骨形成過程に関する実験的研究 (A96 0470 4)
	山本 信治	口腔癌の第21番染色体における LOH 解析と癌抑制遺伝子の検索 (A99 0470 4)
	横尾 恵子	口腔扁平上皮癌におけるヨード不染部の病理組織学的研究 (A89 0470 13)
	生野 貴裕	頬脂肪体移有茎移植の臨床的検討
	寺田 洋平	外科的矯正手術の臨床的検討
	山下 優花	知覚障害を避けるための下顎枝矢状分割術式の検討
大学院生	高木 亮	フローサイトメトリーを用いた口腔扁平上皮癌の核 DNA 量解析 (A94 0470 4)
	藤波 淳	顔面非対称の術後の安定性に関する研究 (A97 0470 3)
	椎木さやか	下顎後退症の顎位安定性に関する形態学的研究 (A99 0470 3)
	神尾 崇	外科的矯正治療による顔面軟組織形態の三次元解析 (A01 0470 04)
	薬師寺 孝	口腔癌における細胞周期調節遺伝子 p16の検索 (A01 0470 01)
	田中 千早	口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害蛋白 Survivin の過剰発現

(A01 0470 - 02)

廬 靖文 ヒト口腔悪性腫瘍ならびに境界病変におけるバイオマーカーの検索

(A01 0470 03)

沼澤 秀之 口腔癌の第 3 番染色体における LOH 解析と癌抑制遺伝子の検索

恩田 健志 口腔癌関連遺伝子タンパクの同定ならびに機能解析

中本 大介 頭頸部癌における重粒子線治療の抗腫瘍効果に対する実験的研究 (A94 0470 5)

別所 央城 MEG 計測による大脳皮質野の特定

専攻生 植田 恵実 下顎前突症術後の軟組織形態の変化に関する研究 (A88 0470 6)

大越 学 下顎枝矢状分割術後の下顎頭長軸角の変化 (A96 0470 7)

2. 成果の概要

1) 口腔外科における手術侵襲と生体反応について (A98 0470 2)

糖尿病患者が創傷治癒遅延や創の感染を起こす可能性の高いことは周知の事実であり、臨床的にも、実験的にも証明されている。我々はインシュリンによる口腔外科手術前の血糖コントロールの期間に関して指標を求めべく、糖尿病ラットを用いた実験を行った。その結果、手術前のインシュリンによる血糖コントロールにより創傷治癒が著明に改善したこと、手術 2 週間前よりインシュリンコントロールを開始した群の方が手術 1 週間前よりコントロールを開始した群より手術後の早期に治癒経過が良好であること、術前 2 週間のインシュリンコントロールを行っても対照群と同様の状態には回復しなかったことが明らかになった。

また米国の胸部疾患学会および Critical Care Medicine 学会は 1991 年に新しく systemic inflammatory response syndrome (全身性炎症反応症候群 : 以下 SIRS と略す) という概念を提唱した。近年、SIRS はその簡便な診断基準により、術後合併症や臓器不全の発生を予測する warning sign (警告信号) として解釈され、これらを予防する上で高い臨床的意義をもつと報告されている。そこで我々は口腔外科手術後の創感染や肺炎などの合併症に対して SIRS の概念を初めて頭頸部領域に導入し、頸部郭清術を行った口腔癌症例を対象として手術侵襲や術後合併症との関連について検討した。その結果、口腔外科領域においても術後 SIRS は生じることが明らかとなった。

歯科学報 102, 885 ~ 904, 2002 .

日口腔腫瘍会誌 14, 79 ~ 87, 2002 .

2) 口腔顎顔面外科手術における Microsurgery の進歩 (A98 0470 1)

Microsurgery を中心とした組織移植術の進歩により、口腔再建外科の治療成績は向上してきた。しかしながら、術式の多様化、症例数の増加に伴い、種々の術後合併症が原因となり、満足の得られない症例を経験することは皆無ではない。そこで我々は、供給血管として顔面動脈に限り血管壁の病態を病理組織学的に観察し、術前の内科的疾患や放射線照射や化学療法などによる影響を検討した。解析方法は H - E 染色像ならびに SEM 像の観察、そしてラミニン、アクチン、ミオシン抗体の発現である。その結果、顔面動脈は種々の疾患の程度に応じて血管壁に既存の変性を呈する症例が多く認められた。したがって術前における内科的疾患の有無、術前治療の内容などを十分考慮して術式を決定することが重要と考えられた。また、近年では単に形態学的再建のみならず、神経移植などを併用して機能的再建を図ることも重要な課題となっている。そこで我々はマイクロサージェリーを用いた口腔内の状態を病理組織学的、ならびに感覚テストや発音、咀嚼機能の解析を行った結果、大型皮弁の口腔粘膜化にともなう良好な機能回復が確認された。

J Oral Maxillofac Surg 61, 191 ~ 196, 2002 .

Bull Tokyo Dent Coll 43, 187 ~ 191, 2002 .

日口腔科会誌 51, 250 ~ 255, 2002 .

日口腔科会誌 51, 261 ~ 265, 2002 .

3) BMP を用いた顎骨欠損部の再建

近年, rhBMP - 2 を用いて骨欠損の修復を図ることが注目されている. しかし水溶性の rhBMP - 2 を骨再建に応用する場合は局所停滞と携帯付与の 2 点について工夫する必要がある. そこで我々は家ウサギの下顎骨に骨欠損を作り, 担体としてアテロコラーゲンスポンジを用い, rhBMP - 210 μ g を浸漬させ同部に移植し, 術野に吸収性膜を留置した群と留置しなかった群の計 4 群の実験をおこなった. 観察方法は病理組織的観察, 形態計測, PCNA 陽性細胞数算定の 3 項目で検討した. rhBMP - 2 使用群では早期に新生骨の形成を認めたが, 非使用群新生骨形成は遅延した. rhBMP - 2 と吸収性膜併用群は, 移植後 4 週で下顎骨下縁原形を回復したが, 他の群では形態の回復はなかった. 以上の結果から, rhBMP - 2 と吸収性膜の併用は骨欠損の回復を速やかに, かつ形態の回復が可能であることが示唆された.

歯科学報 102, 677 ~ 691, 2002.

4) インプラントを用いた顎顔面再建に関する研究 (A95 0470 5)

インプラント治療において, 初期固定を早期に獲得することが, 植立したインプラントの予後を左右する因子として大きな比率を占めている. 現在我々は結晶レベルでの骨との結合が可能である HA コーティングインプラントについて従来の欠点を改善するために開発された超薄膜 HA コーティングインプラント (プラトンインプラント) の, 骨形成過程を観察した. その結果インプラント周囲の骨形成過程および HA 薄膜の状態を観察し, プラトンインプラント の有用性が示唆された.

一方, 近年悪性腫瘍の手術や外傷によって失われた顎骨に対して血管柄付移植骨にインプラントを埋入された臨床報告が多く見られるようになった. そこで我々は成犬において下歯槽神経血管束を血管柄として再植し, インプラント周囲の骨形成過程について検討したところ, 2 週後例でインプラント周囲に骨新生が見られ, 以後経的に新生骨量が増すとともに緻密化し, 12 週後例にはほぼ満足すべき状態に達していた. すなわちインプラントの埋入は free bone より living bone に行う方がよいことが証明された.

日口腔外会誌 48, 557 ~ 571, 2002.

日本顎顔面インプラント学会誌 1, 11 ~ 16, 2002.

5) 口腔癌の分子生物学的解析 (A89 0470 13, A99 0470 4, A01 0470 01, A01 0470 02, A01 0470 03)

口腔癌は未知のものを含め, 様々な遺伝子が蓄積した結果発生するものと考えられている. 我々は口腔癌関連遺伝子の異常を未知遺伝子を含めた染色体の構造解析と, 単一遺伝子の機能解析の両面からアプローチしている. 今回我々は口腔扁平上皮癌について切除標本より DNA を採取し, ヒト第 3 番染色体短腕 (3p) 上のヘテロ接合性消失 (LOH) およびマイクロサテライト不安定性 (MSI) の状況を検索した. その結果, 3p 上に少なくとも 3 カ所の異なった共通欠失領域が同定され, 新規癌抑制遺伝子の存在が示唆された. また口腔癌の頸部リンパ節転移症例について第 2 番染色体の LOH を検索した結果, 多くの未知口腔癌関連遺伝子の存在が確認された. すなわち, これらの情報は口腔癌の悪性度の同定や, 治療法の検討について重要な情報となり得るものと思われた. 現在我々は microarray 技術を用いた, 大規模な口腔癌関連遺伝子の同定と分枝生物学的診断技術の応用に着手している.

また腫瘍免疫におけるサイトカイン遺伝子の発現に関して我々は, 顎骨に浸潤するタイプの口腔扁平上皮癌で, 破骨細胞を誘導するサイトカインである副甲状腺ホルモン関連タンパク (PTHrP), IL - 6, TNF - α が強陽性に発現することを確認した. また破骨細胞抑制剤 (bisphosphonate) を投与した顎骨浸潤移植癌モデルマウスについて著明な骨浸潤抑制効果を認めた.

また腫瘍の切除範囲設定の補助診断と用いるヨード不染部と上皮異形成の関係について免疫組織学的に解析した結果, 異形成の程度が強くなるにつれて p53, PCNA 染色とともに陽性率は増加傾向を示した. さらにテロメラーゼ活性陽性率ならびに定量値は不染部では明らかに高値を示していた. 以上のことから, ヨード不染部である上皮異形成はすでに過剰増殖能をもった細胞が増加し, 癌に近い性格を有していることが示唆され, これらは癌とともに切除すべき病変であり, その明確な描出にはヨード染色法が有用であると考えら

れた。

Oral Oncol 38, 763~771, 2002.

Bull Tokyo Dent Coll 43, 209~222, 2002.

Oral Oncol 39, 64~68, 2003.

日口腔外会誌 49, 171~178, 2003.

日口腔腫瘍会誌 13, 277~282, 2001.

頭頸部腫瘍 28, 41~46, 2002.

東京歯医師会誌 50, 113~118, 2002.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
柴原 孝彦 山本 信治	口腔癌における重粒子線照射治療の基礎的, 臨床的研究	放射線医学総合研究所	千葉市	溝江 純悦
柴原 孝彦 恩田 健志	口腔癌関連遺伝子の同定とアミノ酸解析について	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 薬師寺 孝	口腔扁平上皮癌における p16 / CDKN 2 の hypermethylation と発現原弱	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 田中 千早	口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害蛋白 Survivin の過剰発現	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 野村 武史	口腔扁平上皮癌における顎骨浸潤発現のメカニズムに関する研究	徳島大学	徳島市	佐藤 光信
高木多加志 神尾 崇	顎顔面変形症の形態・機能異常の3次元的评价と治療予測	株式会社ユニスン	大阪市	村本 陸司
高木多加志	口腔・顎顔面形態の3次元計測の標準化に関する研究	1. 佐賀医科大学 2. 大阪大学	1. 佐賀市 2. 大阪市	1. 後藤昌昭 1. 森 悦秀
高木多加志 高崎 義人	下顎枝矢状分割術後のオトガイ神経知覚障害検査方法の標準規格化に関する研究	1. 佐賀医科大学 2. 大阪大学	1. 佐賀市 2. 大阪市	1. 後藤昌昭 2. 森 悦秀
片倉 朗 高木 亮	フローサイトメトリーを用いた口腔扁平上皮癌の核 DNA 量解析	北海道大学	札幌市	井上 勝一
片倉 朗 高木 亮	口腔癌における第9, 11, 17番染色体の FISH 法による解析	大塚アッセイ研究所	徳島市	江沢 英俊

4 . 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究 課 題	研究 費
柴原 孝彦	口腔悪性腫瘍における第21番染色体上の LOH の検索	科学研究費・基盤 (C)
矢島 安朝	顎顔面再建症例のための Diopside - BMP 複合インプラントの開発	科学研究費・基盤 (C)
片倉 朗	舌癌モデルにおける血管新生阻害剤の影響に関する研究	科学研究費・基盤 (C)
畑田 憲一	口腔癌における組織学的悪性度とテロメラーゼ活性の関係について	科学研究費・基盤 (C)
山内 智博	癌抑制遺伝子産物 Doc - 1 による口腔白板症の癌化の予測に関する検討	科学研究費・基盤 (C)
武田 栄三	口腔癌におけるメチル化による転移関連・細胞接着因子遺伝子発現の解析：カドヘリン , カテニン , インテグリン , APC 遺伝子の構造異常と発現頻度	科学研究費・基盤 (C)
野村 武史	飲酒による口腔内常在菌叢の変化ならびにアセトアルデヒドの発癌機構に関する研究	科学研究費・若手 (B)

5 . 研究活動の特記すべき事項

受 賞

受賞者名	年月日	賞 名	テ ー マ	学会・団体名
柴原 孝彦	2002 .11 . 3	学会総会長賞	口腔扁平上皮癌における癌抑制遺伝子の異常と悪性度の評価	第47回日本口腔外科学会総会
柴原 孝彦	2002 .12 . 7	学会会長賞	Microvascular flap in oral cavity reconstruction A functional evaluation	5th asian conference on oral and maxillofacial surgery
野村 武史	2002 .11 . 3	学会ポスター賞	マウス顎骨浸潤モデルを用いた bisphosphonate の骨浸潤抑制効果について	第47回日本口腔外科学会総会
田中 千早	2001 .11 . 3	学会ポスター賞	口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害遺伝子 survivin の発現	第47回日本口腔外科学会総会

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
柴原 孝彦	2002 .10 .31	口腔扁平上皮癌における癌抑制遺伝子の異常と悪性度の評価	第47回日本口腔外科学会総会	札幌市
柴原 孝彦	2002 .12 . 5	Microvascular flap in oral reconstruction - A functional evaluation	5th Asian congress on oral and Maxillofacial surgery	Mumbai
柴原 孝彦	2003 . 1 .30	DNA チップによる扁平上皮癌の解析	第21回日本口腔腫瘍学会総会	那覇市
浜瀬 真紀	2002 .10 .31	オトガイ神経知覚障害の評価 下顎枝矢状分割法術後について	第47回日本口腔外科学会総会	札幌市
高木多加志	2002 . 7 .29	インプラントを固定源とした成長期の早期咬合獲得への取り組み 萌出困難な歯牙の外科的萌出治療への応用	第12回日本顎変形症学会総会・ランチョンセミナー	大阪市
高木多加志	2002 .11 . 8	顎口腔領域の光造形技術の応用 外科的矯正治療の手術計画へのコンピュータグラフィックスと光造形モデルの応用	第23回ラピッド・プロトタイプングシンポジウム	横浜市
武田 栄三	2003 . 2 .28	MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 口蓋触刺激による味覚野の応答	平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センター ワークショップ	千葉市

6 . 教育講演等教育に関する業績 , 活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
野間 弘康	2002 . 4 .20	口腔外科の最近の進歩	東京歯科大学山形県支部学術研修会	上山市
野間 弘康	2002 . 7 .25	歯科病診連携とその活用	平成14年度卒後研修口腔外科	東京
野間 弘康	2002 .10 .20	口腔癌の診断と治療 過去から現在 , そして未来	第274回東歯学会総会	千葉市
柴原 孝彦	2002 . 4 .18	口腔外科の手術	八千代市歯科医師会学術講演会	八千代市
柴原 孝彦	2003 . 3 .28	最近の口腔外科	千葉市歯科医師会学術講演会	千葉市
矢島 安朝	2002 . 7 .21	新素材インプラントの臨床治験をおこなって	2003年プラトンインプラント臨床セミナー	東京

啓蒙活動

講演者	年月日	タイトル	メディア	備 考
野間 弘康	2003 . 3 .14	医療ルネッサンス第3071回 口腔外科の手術 4 顎変形症矯正と連携で	読売新聞	

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
矢島 安朝	2002.6.8 ~ 9	第7回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市	
片倉 朗	2002.9.6 ~ 7	平成14年度第1回共用試験歯学 OSCE ワークショップ	参加者	松戸市	
柴原 孝彦	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市	
武田 栄三	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市	
矢島 安朝	2002.11.9 ~ 10	平成14年度第2回共用試験歯学 OSCE ワークショップ	参加者	岡山市	

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地	備考
野間 弘康	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	顧問	千葉市	
柴原 孝彦	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	ST1 責任者	千葉市	
柴原 孝彦	2002.12.14 ~ 15	SP 養成ワークショップ	参加者	千葉市	
矢島 安朝	2003.1.18	平成14年度東京医科歯科大学歯学部 共用試験歯学 OSCE トライアル	外部評価者	東京	
野間 弘康	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	顧問	千葉市	
矢島 安朝	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	ST1 責任者	千葉市	
柴原 孝彦	2003.1.25	徳島大学歯学部共用試験 OSCE トライアル	参加者	徳島市	
柴原 孝彦	2003.2.23	日本大学歯学部共用試験 OSCE トライアル	参加者	東京	

論 文

1. 矢島安朝, 野間弘康, 横尾恵子, 山本信治, 野村武史, 笠原清弘, 畑田憲一, 高野正行⁽¹⁾: 舌癌 excisional biopsy におけるヨード生体染色の有用性, 日口腔腫瘍会誌 **13**(4), 277 ~ 282, 2001. 原著 (1)水病・口外科
2. 高野正行⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 瀬田修一⁽¹⁾, 野間弘康, 矢島安朝, 野村武史: ヨード・トルイジンブルー染色テストを用いた口腔前癌病変と早期癌の臨床分類, 頭頸部腫瘍 **28**(1), 41 ~ 46, 2002. 臨床 (1)水病・口外科
3. Jorge, A. L., Shibahara, T., Noma, H.: Histopathologic damage to vessels in head and neck microsurgery, J Oral Maxillofac Surg **61**, 191 ~ 196, 2002. 原著 細形研
4. 野村幸恵, 野間弘康, 横尾恵子, 野村武史, 矢島安朝, 山 満⁽¹⁾, 高野正行⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 井上 孝⁽²⁾: 明確な腫瘍塊を形成しなかった顎骨腺様嚢胞癌の1例, 日口腔腫瘍会誌 **14**(2), 63 ~ 69, 2002. 症例 (1)水病・口外科, (2)臨検査
5. 野村武史, 野間弘康, 野村幸恵, 武田栄三, 畑田憲一, 片倉 朗: 移植皮膚片の固定のためのシアノアクリレートの応用, 日口腔外会誌 **48**(6), 334 ~ 336, 2002. 臨床
6. 野村武史, 野間弘康, 田村耕一郎, 野村幸恵, 花上健一, 山内智博, 片倉 朗, 柴原孝彦: 機能的頸部郭清術施行時に副神経が内頸静脈を貫通していた口腔癌の2例, 歯科学報 **102**(6), 482 ~ 487, 2002. 臨床
7. Arai, K.⁽¹⁾, Shibahara, T., Yamamoto, N., Noma, H.: The presence of candidate tumor suppressor gene loci at chromosome 3p for oral squamous cell carcinomas, Oral Oncol **38**, 763 ~ 771, 2002. 原著 (1)東京都
8. 柴原孝彦, 野間弘康, 山内智博, 山口晋一, 浜瀬真紀, 野村幸恵: 微小血管吻合術による口腔再建の不良症例の検討, 日口腔科会誌 **51**(4), 250 ~ 255, 2002. 原著
9. 柴原孝彦, 野間弘康, 神尾 崇, 武田栄三, 橋本貞充⁽¹⁾, 大鶴 洋⁽²⁾: 口腔再建に用いた前腕皮弁の組織学的変化, 日口腔科会誌 **51**(4), 261 ~ 265, 2002. 原著 (1)病理, (2)国立東京医療センター・口外
10. Matsuzaka, K.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Uchiyama, T.⁽³⁾, Noma, H., Inoue, T.⁽¹⁾: Lesions related to the formation of bone, cartilage or cementum arising in the oral area: a statistical study and review of the literature, Bull Tokyo Dent Coll **43**(3), 173 ~ 180, 2002. 原著 A 0611 2 (1)臨検査, (2)病理, (3)口外
11. Shibahara, T., Noma, H., Hatada, K., Takeda, E., Tanaka, C., Takeyama, M.⁽¹⁾: Anterolateral thigh flap, Bull Tokyo Dent Coll **43**(3), 187 ~ 191, 2002. 臨床 (1)口外
12. 山田真英, 野間弘康, 矢島安朝: 顎骨欠損部の骨新生における Bone Morphogenetic Protein(BMP)と吸収性膜の影響, 歯科学報 **102**(8), 677 ~ 691, 2002. 原著 A95 0470 4 実動施設
13. 山内智博, 野間弘康, 矢島安朝, 古谷義隆, 野村武史, 櫻井 薫⁽¹⁾, 杉山哲也⁽¹⁾, 安藤友彦⁽¹⁾, 小林健一郎⁽¹⁾, 和光 衛⁽²⁾, 見明康雄⁽³⁾: HA 薄膜コーティングインプラントの有用性に関する実験的研究, 日本顎顔面インプラント学会誌 **1**(1), 11 ~ 16, 2002. 原著 (1)補綴, (2)歯放, (3)超微構造

14. 笠原清弘, 武田栄三, 山内智博, 矢島安朝, 野間弘康: 口腔癌頸部郭清症例における SIRS の発現と術後合併症との関係, 日口腔腫瘍会誌 **14**(3), 79~87, 2002. 原著
15. 原田卓哉⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 松木美和子⁽²⁾, 下野正基⁽²⁾, 薬師寺 孝, 高木 亮, 柴原孝彦, 野間弘康: 線維骨病変と孤立性嚢胞との併発を疑わせたエナメル上皮腫の画像診断, 歯科学報 **102**(9), 735~742, 2002. 症例二次出版 (1)歯放, (2)病理
16. Shibahara, T., Noma, H., Kakizawa, T.⁽¹⁾, Ohtsuru, H.⁽²⁾, Fukutake, K.⁽²⁾, Uchida, I.⁽³⁾: Oral cancer - research with an emphasis on genomic analysis, Bull Tokyo Dent Coll **43**(4), 209~222, 2002. 総説 (1)水病・口外科, (2)国立東京医療センター・口外, (3)都立駒込病院・歯口外
17. 古谷義隆, 野間弘康, 矢島安朝: イヌ下顎における血管柄付再植骨および遊離再植骨へ埋入したインプラント周囲の骨形成過程に関する研究, 日口腔外会誌 **48**(1), 557~571, 2002. 原著 A95 0470 5 脳科学研
18. 武田栄三, 野間弘康, 柴原孝彦: 糖尿病ラットの皮膚創傷治癒過程におけるインスリンの影響に関する実験的研究, 歯科学報 **102**(1), 885~904, 2002. 原著 A98 0470 2 実動施設
19. Wakoh, M.⁽¹⁾, Harada, T.⁽¹⁾, Yamamoto, K.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽²⁾, Noma, H., Kaneko, Y.⁽³⁾: Three - dimensional volumetric visualization of arteriovenous malformation on the maxilla with life - threatening complications during tooth extraction, Dentomaxillofac Radiol **32**(1), 63~66, 2003. 症例 (1)歯放, (2)病理, (3)歯麻
20. Yamamoto, N., Mizoe, J.⁽¹⁾, Numasawa, H., Yokoe, H.⁽²⁾, Uzawa, K.⁽²⁾, Shibahara, T., Tujii, H.⁽¹⁾, Noma, H., Tanzawa, H.⁽²⁾: Allelic loss of chromosome 2 in human oral squamous cell carcinoma : correlation with lymph node metastasis, Oral Oncol **39**, 64~68, 2003. 原著 (1)放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院, (2)千葉大・医・歯口外
21. 高木多加志: 凍結組織を用いたフローサイトメトリーによる口腔扁平上皮癌の核 DNA 量解析, 歯科学報 **103**(1), 94~108, 2003. 総説
22. 柴原孝彦, 野間弘康, 野村武史, 高木 亮, 横尾恵子, 原田耕志⁽¹⁾, 岡本正人⁽¹⁾, 佐藤光信⁽¹⁾: 歯肉癌によって引き起こされる下顎骨浸潤 特に破骨細胞誘導サイトカインの役割 , 日口腔外会誌 **49**(3), 171~178, 2003. 原著 (1)徳島大・歯・2口外
23. Muramatsu, T.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽¹⁾, Lee, M. W.⁽¹⁾, Chung, C. K.⁽¹⁾, Matsuzaki, H.⁽¹⁾, Inoue, T.⁽²⁾, Noma, H., Shimono, M.⁽¹⁾: Oncocytic carcinoma arising in submandibular gland with immunohistochemical observations and review of the literature, Oral Oncol **39**, 199~203, 2003. 症例 A 0611 2 (1)病理, (2)臨検査

解 説

1. 西井 康⁽¹⁾, 高木多加志, 野間弘康, 花井淳一郎⁽²⁾, 山口秀晴⁽¹⁾: グローバル化する歯科矯正治療インプラントアンカレッジシステム, 歯科学報 **102**(6), 453~487, 2002. (1)矯正, (2)口外
2. 矢島安朝, 高野正行⁽¹⁾: 早期口腔癌発見のための生体染色法, 東京歯医師会誌 **50**(1), 113~118, 2002. (1)水病・口外科

単行図書

1. 野間弘康^(b) 編集, 柴原孝彦^(a), 矢島安朝^(b): 著分担: 一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル 03 (a)メンブレン, チタン膜を成功させるための手術法 182~185頁, (b)専門医への紹介状の書き方のガイドライン 259~261頁, クインテッセンス, 東京, 2003.

プロシーディングス

1. Nomura, T., Noma, H., Sato, M.⁽¹⁾, Shibahara, T., Okamoto, M.⁽¹⁾, Katakura, A., Harada, K.⁽¹⁾, Takagi, R., Yamamoto, N., Numasawa, H.: Effects of bisphosphonate on mandible invasion model in mice, 5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 111~115, 2002. (5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Mumbai, India) 分子生研 実動施設 (1)徳島大・歯・2口外
2. Shibahara, T., Nomura, T., Yokoo, K., Noma, H.: Microvascular flap in oral cavity reconstruction; A functional evaluation, 5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 135~138, 2002. (5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Mumbai, India)
3. Yokoo, K., Noma, H., Yakushiji, T., Takagi, R., Nomura, T., Katakura, A., Shibahara, T., Muramatsu, T.⁽¹⁾: Appearance of deletions oral cancer - 1 (Doc - 1) in patients with leukoplakia, 5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 159~163, 2002. (5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Mumbai, India) (1)病理

その他

1. 和光 衛⁽¹⁾ 杉山哲也⁽²⁾ 山内智博 野村武史: 薄膜ハイドロオキシアパタイトと顎骨骨梁との親和性に関する三次元画像解析, 平成14年度科学研究費補助金(基盤^(C)(2))研究成果報告書, 2002. 研究課題番号13671890 (1)歯放, (2)補綴
2. 高木多加志: 治療事故の危機管理 3 下顎智歯抜歯時に破折した根尖が見あたらない, デンタルダイヤモンド 27(13), 82~84, 2002.
3. 高木多加志: 治療事故の危機管理 5 ドライソケットになったら, デンタルダイヤモンド 27(16), 73~75, 2002.

学会抄録

1. 田中千早, 沼澤秀之, 薬師寺 孝, 山本信治, 鶴澤一弘⁽¹⁾, 柴原孝彦, 丹沢秀樹⁽¹⁾, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌由来細胞株におけるアポトーシス阻害蛋白 survivin の過剰発現, 日癌治療会誌 37(2), 381, 2001. (第40回日本癌治療学会総会, 千葉市) 分子生研 (1)千葉大・医・歯口外
2. 沼澤秀之, 田中千早, 薬師寺 孝, 山本信治, 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌における第二染色体長腕のヘテロ接合性消失(LOH)とマイクロサテライト不安定性(MSI)についての解析, 日癌治療会誌 37(2), 381, 2001. (第40回日本癌治療学会総会, 千葉市)
3. 山田真英, 野間弘康: rhBMP - 2・アテロコラーゲンスポンジ複合体と吸収性膜の応用による顎骨欠損部の再建, 日口腔外会誌 48(13), 970, 2001. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市)

- 4 . Inoue, T.⁽¹⁾, Matsuzaka, K.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Yoshinari, M.⁽³⁾, Yamanaka, S.⁽⁴⁾, Tazaki, M.⁽⁵⁾, Ishikawa, T.⁽⁶⁾, Yamada, S.⁽⁷⁾, Kubo, S.⁽⁸⁾, Sekine, H.⁽⁹⁾, Motegi, E.⁽¹⁰⁾, Yajima, Y., Shintani, M.⁽¹¹⁾, Ishizaki, K.⁽¹²⁾ : Saliva examination and order made therapy, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 145 ~ 146, 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A08 (1)臨検査, (2)病理, (3)理工, (4)衛生, (5)生理, (6)保存, (7)保存, (8)小児歯, (9)補綴, (10)矯正, (11)脳科学研究施設, (12)補綴
- 5 . Yoshinari, M.⁽¹⁾, Inoue, T.⁽²⁾, Matsuzaka, K.⁽²⁾, Abe, S.⁽³⁾, Miake, Y.⁽⁴⁾, Shibahara, T., Kato, T.⁽⁵⁾, Hirayama, A.⁽⁶⁾ : Development of smart biomaterials modified with salivary proteins, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 148 ~ 151, 2002 (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A10 (1)理工, (2)臨検査, (3)解剖, (4)超微構造, (5)微生物, (6)RI研
- 6 . 沼澤秀之, 薬師寺 孝, 高木 亮, 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康, 井上 孝⁽¹⁾ : 下顎骨に発生した desmoplastic ameloblastoma の 1 例, 日口腔科会誌 **51**(3), 217, 2002 . (第35回日本口腔科学会関東地方部会, つくば市) (1)臨検査
- 7 . 山本信治, 溝江純悦⁽¹⁾, 辻井博彦⁽¹⁾, 沼澤秀之, 柴原孝彦, 野間弘康, 鷗澤一弘⁽²⁾, 丹沢秀樹⁽²⁾ : 頭頸部扁平上皮癌における第2染色体長腕上のヘテロ接合性消失 (LOH) と遺伝子不安定性 (MSI) の解析, 頭頸部腫瘍 **28**(2), 472, 2002 . (第26回日本頭頸部腫瘍学会, 千葉市) (1)放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院, (2)千葉大・医・歯口外
- 8 . 原田卓哉⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 武田栄三, 柴原孝彦, 野間弘康 : 両側に発生した多発性顎下リンパ節炎の画像所見, 歯放線 **42**(2), 166 ~ 167, 2002 . (日本歯科放射線学会第7回画像診断臨床大会, 横浜市) (1)歯放
- 9 . Yajima, Y., Tazaki, M.⁽¹⁾, Takeda, E., Abe, S.⁽²⁾, Inoue, T.⁽³⁾, Katakura, A., Satou, T.⁽⁴⁾, Kakizawa, T.⁽⁵⁾, Ide, Y.⁽²⁾ : The primary gustatory area in the human cerebral cortex examined by magnetoencephalography (MEG): differences caused by gustatory qualities, stimulus densities, thermal stimulus in active location and variation in reaction time, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 106 ~ 107, 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) 脳科学研 (1)生理, (2)解剖, (3)臨検査, (4)補綴, (5)水病・口外科
- 10 . Ichinohe, T.⁽¹⁾, Kaneko, Y.⁽¹⁾, Mamiya, H.⁽¹⁾, Agata, H.⁽¹⁾, Kasahara, M.⁽¹⁾, Matsuura, N.⁽¹⁾, Kawaguchi, M.⁽²⁾, Shibahara, T., Yonezu, H.⁽³⁾, Shibukawa, Y.⁽⁴⁾ : Establishment of a Guideline for the treatment of chronic intractable pain in the maxillofacial region, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 117 ~ 118, 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)歯麻, (2)薬理, (3)口外, (4)生理
- 11 . Katakura, A., Shibahara, T., Ishihara, K.⁽¹⁾ : The analysis of effects of saliva protein on oral cancer, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 143 ~ 144, 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)微生物
- 12 . Wakoh, M.⁽¹⁾, Yamamoto, K.⁽¹⁾, Harada, T.⁽¹⁾, Yakushiji, T., Shibahara, T., Noma, H. : Diagnostic imaging for a case of arteriovenous malformation on maxillary alveolar region, 4th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology (ACOMFR) Program and Abstracts, 35, 2002 . (4th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology (ACOMFR) Kaohsiung, Taiwan) (1)歯放
- 13 . 原田卓哉⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 武田栄三, 柴原孝彦, 野間弘康 : 多発性顎下リンパ節炎についての超音波検査の有用性, 歯科学報 **102**(6), 525, 2002 . (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)歯放

14. 田中千早, 浜瀬真紀, 山口晋一, 高木 亮, 原 宣道⁽¹⁾, 西堀陽平⁽¹⁾, 高崎義人⁽²⁾, 高木多加志, 柴原孝彦, 内山健志⁽¹⁾, 野間弘康: 舌神経知覚障害の診断下に神経修復術を施行した3例, 歯科学報 **102**(6), 534, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外, (2)水病・口外科
15. 才藤純一⁽¹⁾, 仙波利寿⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 小池吉彦⁽²⁾, 村上 聡⁽²⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 橋本貞充⁽³⁾, 下野正基⁽³⁾, 内山健志⁽⁴⁾, 野間弘康: 口腔における細胞診の統計学的検討と細胞診断上の問題点, 歯科学報 **102**(6), 542, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A 0611 2 (1)千病・臨検, (2)臨検査, (3)病理, (4)口外
16. 石井武展⁽¹⁾, 西井 康⁽¹⁾, 野嶋邦彦⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 宇佐美晶信⁽²⁾, 井出吉信⁽²⁾, 高木多加志, 野間弘康: 上顎大臼歯の固定源としてのチタンスクリュー埋入位置の検討 マイクロCTを用いた上顎大臼歯部槽間中隔の三次元的検討, 歯科学報 **102**(6), 546, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)矯正, (2)解剖
17. 山田真英, 野間弘康: 顎骨欠損部の骨新生における Bone Morphogenetic Protein(BMP)と吸収性膜の影響, 松本歯学 **28**(2), 99~100, 2002. (第47回松本歯科大学学会例会, 塩尻市) A95 0470 4 実動施設
18. Katakura, A. : The analysis of effect of saliva protein on oral cancer, American association of oral and maxillofacial surgeons, 57, 2002. (84th Annual Meeting, Scientific Sessions and Exhibit on, Chicago, USA)
19. Kamiyama, I. : An effect of intra - arterial infusion of 5 - fluorouracil for rat tongue carcinoma, American association of oral and maxillofacial surgeons, 57, 2002. (84th Annual Meeting, Scientific Sessions and Exhibition, Chicago, USA)
20. 古谷義隆, 山内智博, 高野正行⁽¹⁾, 矢島安朝, 野間弘康: 血管柄付移植骨内へのインプラント埋入実験に関する検討, 日本顎顔面インプラント学会誌 **1**(1), 37, 2002. (第5回日本顎顔面インプラント学会総会, 京都市) 細形研 実動施設 (1)水病・口外科
21. 山内智博, 古谷義隆, 野村武史, 矢島安朝, 野間弘康, 見明康雄⁽¹⁾: 超薄膜 HA コーティングインプラントの骨形成過程に関する実験的研究, 日本顎顔面インプラント学会誌 **1**(1), 39, 2002. (第5回日本顎顔面インプラント学会総会, 京都市) 脳科学研 実動施設 (1)超微構造
22. 山内智博, 野間弘康, 矢島安朝, 古谷義隆, 野村武史, 櫻井 薫⁽¹⁾, 杉山哲也⁽¹⁾, 安藤友彦⁽¹⁾, 小林健一郎⁽¹⁾, 和光 衛⁽²⁾, 見明康雄⁽³⁾: HA 薄膜コーティングインプラントの有用性に関する実験的研究, 日本顎顔面インプラント学会誌 **1**(1), 55, 2002. (第5回日本顎顔面インプラント学会総会, 京都市) 実動施設 (1)補綴, (2)歯放, (3)超微構造
23. Kasahara, K., Takeda, E., Yamauchi, T., Yajima, Y., Noma, H. : Systemic inflammatory response syndrome and postoperative complications after oral cancer surgery, J Craniomaxillofac Surg **30**(1), 273, 2002. (16th Congress of the European Association for Cranio - Maxillofacial surgery, Munster, German) A 0611 2
24. Yajima, Y., Yokoo, K., Nomura, T., Hatada, K., Noma, H. : Investigation of iodine - unstained region surrounding oral squamous cell carcinoma by telomerase activity and immunohistochemical staining, J Craniomaxillofac Surg **30**(1), 278, 2002. (16th Congress of the European Association for Cranio - Maxillofacial Surgery, Munster, German) A 89 0470 13

25. 薬師寺 孝, 盧 靖文, 神尾 崇, 山田真英, 笠原清弘, 柴原孝彦, 野間弘康, 橋本貞充⁽¹⁾, 山本一普⁽²⁾: 上顎歯槽部に発生した動静脈奇形により大量出血をきたした1例, 日口腔外会誌 **48**(9), 482, 2002. (第172回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) (1)病理, (2)歯放
26. 竹内史江⁽¹⁾, 西井 康⁽¹⁾, 高木多加志, 野間弘康, 山口秀晴⁽¹⁾: ミニスクリュー型インプラントアンカーを用いた下顎側方歯群遠心移動の1症例, 日矯正歯会61回抄集, 256, 2002. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) 脳科学研 (1)矯正
27. 田村耕一郎, 高木多加志, 野間弘康, 荻原玲子⁽¹⁾, 渡辺洋一⁽¹⁾, 柴田康司⁽¹⁾: インプラントを固定源とした萌出困難な歯牙の外科的萌出治療への応用, 日矯正歯会61回抄集 259, 2002. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) 脳科学研 (1)千葉県
28. 嶋田 健⁽¹⁾, 森谷哲浩⁽¹⁾, 薬師寺 孝, 柴原孝彦, 鶴澤一弘⁽¹⁾, 横江秀隆⁽¹⁾, 野間弘康, 丹沢秀樹⁽²⁾: 口腔癌解析用 cDNA マイクロアレイの作製及び口腔癌関連遺伝子の検索, 日本癌学会総会記事, 405~406, 2002. (第61回日本癌学会総会, 東京) A01 0470 02 (1)千葉大・医・歯口外, (2)千葉大・口外
29. 生野貴裕, 野村武史, 山内智博, 高木多加志, 柴原孝彦, 野間弘康: 吸収性膜の口腔外科臨床への応用, 歯科学報 **102**(10), 816, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
30. 半田麻里子⁽¹⁾, 松浦信幸⁽¹⁾, 一戸達也⁽¹⁾, 金子 譲⁽¹⁾, 矢島安朝: アスピリン不耐症患者の抜歯時の全身管理経験, 歯科学報 **102**(10), 824, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)歯麻
31. 花井淳一郎⁽¹⁾, 椎木さやか, 横尾恵子, 渡邊 章⁽¹⁾, 西堀陽平⁽¹⁾, 大畠 仁⁽¹⁾, 内山健志⁽¹⁾, 氏家真由子⁽²⁾, 米津卓郎⁽²⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 奥田みのり⁽³⁾, 縣 秀栄⁽³⁾, 阿部耕一郎⁽³⁾, 金子 譲⁽³⁾: 困窮結紮を行った幼児下顎4乳切歯外傷の一例, 歯科学報 **102**(10), 825, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)口外, (2)小児歯, (3)歯麻
32. 原田卓哉⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 片倉 朗, 野間弘康: 頸部リンパ節疾患を対象とした超音波検査における画像所見の検討(第1報) 正常、炎症性ならびに転移リンパ節超音波画像上のエコーレベルおよびドプラー所見の比較, 歯科学報 **102**(10), 828, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)歯放
33. 和光 衛⁽¹⁾, 原田卓哉⁽¹⁾, 西川慶一⁽¹⁾, 山内智博, 矢島安朝, 杉山哲也⁽²⁾, 櫻井 薫⁽²⁾: 口内法デジタルエックス線画像を用いた骨内インプラント治療経過に伴う骨構造変化の定量解析, 歯科学報 **102**(10), 829, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)歯放, (2)補綴
34. 高木 亮, 沼澤秀之, 薬師寺 孝, 神山 勲, 野村武史, 原田耕志⁽¹⁾, 片倉 朗, 岡本正人⁽¹⁾, 柴原孝彦, 佐藤光信⁽¹⁾, 野間弘康: マウス顎骨浸潤モデルの作成ならびに顎骨浸潤の機序に関する研究, 日口腔科会誌 **48**(13), 568, 2002. (第56回日本口腔科学会総会, 大阪市) 細形研, 分子生研実動施設 (1)徳島大・歯・2口外
35. 生野貴裕, 武田栄三, 片倉 朗, 柴原孝彦, 野間弘康: 当講座における頬脂肪体移有茎移植の臨床的検討, 日口腔科会誌 **51**(6), 480~481, 2002. (第56回日本口腔科学会総会, 大阪市)
36. 菊地徹行⁽¹⁾, 高久勇一朗⁽¹⁾, 浜瀬真紀, 秋元善次⁽¹⁾, 横山葉子⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 高野正行⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康: オトガイ神経支配領域における知覚検査法についての臨床的研究 動的触覚検査と二点識別閾検査の正常値について, 日口腔科会誌 **51**(6), 552, 2002. (第56回日本口腔科学会総会, 大阪市) (1)水病・口外科

37. 高崎義人⁽¹⁾, 野間弘康, 齋藤 力⁽²⁾, 柴原孝彦, 米津博文⁽²⁾, 浜瀬真紀: 根管治療による下歯槽神経知覚障害
定量的知覚検査法による観察と本邦報告例の検討, 日口腔科会誌 51(6), 553, 2002. (第56回日本
口腔科学会総会, 大阪市) (1)水病・口外科, (2)口外
38. 沼澤秀之, 田中千早, 薬師寺 孝, 山本信治, 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌における
第2染色体長腕上のヘテロ接合性消失(LOH)とマイクロサテライト不安定性(MSI)の解析, 日口腔科会誌
51(6), 566, 2002. (第56回日本口腔科学会総会, 大阪市)
39. 片倉 朗, 薬師寺 孝, 横尾恵子, 山本信治, 高木 亮, 野村武史, 山内智博, 柴原孝彦, 野間弘康,
村松 敬⁽¹⁾: 白板症における増殖抑制遺伝子産物p12DOC-1の発現, 日口腔科会誌 51(6), 567, 2002.
(第56回日本口腔科学会総会, 大阪市) (1)病理
40. 林 芳裕⁽¹⁾, 片倉 朗, 黒須美佳⁽¹⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 野間弘康, 薬師寺 仁⁽¹⁾: 6歳男児に認められた
石灰化歯原性嚢胞の1例, 第14回日本小児口腔外科学会総会プログラム, 34, 2002. (第14回日本小児口腔
外科学会総会, 高松市) 脳科学研 (1)小児歯, (2)臨検査
41. Murakami, S.⁽¹⁾, Koike, Y.⁽¹⁾, Matsuzaka, K.⁽¹⁾, Saitou, J.⁽²⁾, Hashimoto, S.⁽³⁾, Shimono, M.⁽³⁾, Yajima, Y., Noma, H.,
Inoue, T.⁽¹⁾: A case of rapidly growing tumor of parotid region, Oral Med & Pathol 7(2), 96~
97, 2002. (13th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Tokyo) A 0611 2 細形研 (1)臨検査,
(2)千病・臨検, (3)病理
42. 片倉 朗, 盧 靖文, 薬師寺 孝, 横尾恵子, 山本信治, 神山 勲, 野村武史, 畑田憲一, 矢島安朝,
柴原孝彦, 野間弘康, 村松 敬⁽¹⁾: 口腔白板症におけるP12Doc-1の発現, 日本口腔粘膜学会雑誌 8
(2), 82, 2002. (第12回日本口腔粘膜学会総会, 宇都宮市) (1)病理
43. 森 悦秀⁽¹⁾, 南 克浩⁽¹⁾, 高木多加志, 神尾 崇, 野間弘康, 野口信宏⁽²⁾, 後藤昌昭⁽²⁾, 野添悦郎⁽³⁾, 三村 保⁽³⁾,
菅原利夫⁽⁴⁾, 三島克章⁽⁴⁾, 山田朋弘⁽⁴⁾: 標準化口腔・顎・顔面3次元計測データ群同時表示用ビューワーの
共同開発, 日顎変形会誌 12(3), 139~140, 2002. (第12回日本顎変形症学会総会, 大阪市) (1)大阪大・歯・口外2,
(2)佐賀医大・医・歯口外, (3)鹿児島大・歯・口外2, (4)岡山大学大学院医歯学総合研究科
44. 高木多加志, 山下優花, 寺田洋平, 神尾 崇, 椎木さやか, 田村耕一郎, 浜瀬真紀, 野間弘康: 当科における
オトガイ形成術の術式, 日顎変形会誌 12(3), 143, 2002. (第12回日本顎変形症学会総会, 大阪市)
45. 寺田洋平, 神尾 崇, 椎木さやか, 田村耕一郎, 片倉 朗, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 野間弘康:
外科的矯正手術の臨床的検討, 日顎変形会誌 12(3), 160, 2002. (第12回日本顎変形症学会総会, 大阪市)
46. 山下優花, 田村耕一郎, 浜瀬真紀, 高崎義人⁽¹⁾, 高木多加志, 野間弘康: 下顎枝矢状分割法術後の知覚障害
の検討 オルソパントモグラムの用いた下顎管の矢状分割距離, 日顎変形会誌 12(3), 162~163,
2002. (第12回日本顎変形症学会総会, 大阪市) 脳科学研 (1)水病・口外科
47. 横尾恵子, 矢島安朝, 野間弘康, 井上 孝⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾: 上皮異形成とヨード不染に関する研究, 日口腔腫瘍
会誌 14(4), 130, 2002. (第20回日本口腔腫瘍学会総会, 岡山市) A 0611 2 (1)臨検査, (2)病理

48. 片倉 朗, 薬師寺 孝, 神尾 崇, 高木 亮, 野村武史, 武田栄三, 山内智博, 笠原清弘, 畑田憲一, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 野間弘康: 当科において行った口腔癌検診10年間の検討, 日口腔腫瘍会誌 **14**(4), 147, 2002. (第20回日本口腔腫瘍学会総会, 岡山市)
49. 神尾 崇, 薬師寺 孝, 笠原清弘, 矢島安朝, 野間弘康: 上顎洞を満たした歯源性粘液腫の1例, 日口腔外会誌 **48**(12), 646~647, 2002. (第173回日本口腔外科学会関東地方会, 前橋市)
50. 柴原孝彦, 山本信治, 薬師寺 孝, 田中千早, 沼澤秀之, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌における癌抑制遺伝子の異常と悪性度の評価, 日口腔外会誌 **48**(13), 688, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市)
51. 浜瀬真紀, 山口晋一, 高崎義人⁽¹⁾, 高木多加志, 野間弘康, 大鶴 洋⁽²⁾: オトガイ神経知覚障害の評価 下顎枝矢状分割術後について, 日口腔外会誌 **48**(13), 699, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) (1)水病・口外科, (2)国立東京医療セ・口外
52. 高崎義人⁽¹⁾, 野間弘康, 浜瀬真紀, 山口晋一, 高野正行⁽¹⁾, 佐々木研一⁽²⁾, 柴原孝彦, 山根源之⁽³⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾: 神経修復手術後の知覚機能評価に関する臨床的検討 SW 知覚検査システムによる評価法の留意点について, 日口腔外会誌 **48**(13), 700, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) (1)水病・口外科, (2)亀田総合病院口腔外科, (3)市病・オーラルメディスン
53. 高野正行⁽¹⁾, 小泉陽子⁽¹⁾, 北浦宏明⁽¹⁾, 桑山真寧⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 矢島安朝, 野間弘康, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 村松 敬⁽³⁾: 口腔前癌変病の癌化に伴う臨床症状の変化についての検討 特に口腔粘膜染色テストの有用性について, 日口腔外会誌 **48**(13), 701, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会 札幌市) (1)水病・口外科, (2)臨検査, (3)病理
54. 片倉 朗, 寺田洋平, 生野貴裕, 高木 亮, 神山 勲, 柴原孝彦, 野間弘康, 石原和幸⁽¹⁾, 村松 敬⁽²⁾: 唾液中の口腔癌抑制遺伝子に関する研究, 日口腔外会誌 **48**(13), 790, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会 札幌市) (1)微生物, (2)病理
55. 花上健一, 野間弘康, 柴原孝彦: 緻密骨の破断線に関する実験的研究, 日口腔外会誌 **48**(13), 802, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市)
56. 大鶴 洋⁽¹⁾, 花上健一, 田辺陽子⁽¹⁾, 潮田高志⁽¹⁾, 浜瀬真紀, 宮尾 孝⁽¹⁾, 倉持 茂⁽²⁾: 上唇に発生した腺房細胞癌の1例, 日口腔外会誌 **48**(13), 895, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) (1)国立東京医療セ・口外, (2)国立東京医療セ・臨検
57. 野村武史, 沼澤秀之, 高木 亮, 原田耕志⁽¹⁾, 片倉 朗, 岡本正人⁽¹⁾, 柴原孝彦, 佐藤光信⁽¹⁾, 野間弘康: マウス顎骨浸潤モデルを用いた bisphosphonate の骨浸潤抑制効果について, 日口腔外会誌 **48**(13), 950, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) 細形研, 分子生研実動施設 (1)徳島大・歯・2口外
58. 田中千早, 沼澤秀之, 薬師寺 孝, 山本信治, 鷺澤一弘⁽¹⁾, 柴原孝彦, 丹沢秀樹⁽¹⁾, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害遺伝子 survivin の発現, 日口腔外会誌 **48**(13), 966, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) (1)千葉大・医・歯口外

59. 神尾 崇, 椎木さやか, 田村耕一郎, 高木多加志, 野間弘康, 村本睦司⁽¹⁾: 顔面軟組織形態の三次元分析・評価システムの開発, 第8回日本コンピュータ歯科医学会プログラム集, 19~21, 2002. (第8回日本コンピュータ歯科医学会, 東京) A01 0470 01 (1)株ユニスン
60. 高木多加志, 神尾 崇, 野間弘康, 森 悦秀⁽¹⁾, 南 克浩⁽¹⁾, 野口信宏⁽²⁾, 後藤昌昭⁽²⁾, 野添悦郎⁽³⁾, 三村 保⁽³⁾, 菅原利夫⁽⁴⁾, 三島克章⁽⁴⁾, 山田朋弘⁽⁴⁾, 村本睦司⁽⁵⁾, 高橋修三⁽⁵⁾: 口腔・顎・顔面3次元計測データ群同時表示用ビューワーソフトウェアの共同開発, 第8回日本コンピュータ歯科医学会プログラム集, 22~23, 2002. (第8回日本コンピュータ歯科医学会 東京) (1)大阪大・歯・口外2 (2)佐賀医大・医・歯口外 (3)鹿児島大・歯・口外2 (4)岡山大・大学院・医歯学総合研究科, (5)株ユニスン
61. Nomura, T. : Effects of bisphosphonate on mandible invasion model in mice, 5th asian conference on oral and maxillofacial surgery scientific program, 2002. (5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Mumbai, India) 分子生研 実動施設
62. Yokoo, K. : Appearance of deletions oral cancer - 1(Doc - 1)n patients with leukoplakia, 5th asian conference on oral and maxillofacial surgery scientific program, 2002. (5th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Mumbai, India)
63. 盧 靖文, 矢島安朝, 野間弘康, 村松 敬⁽¹⁾, 嶋 香織⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾: 舌扁平上皮癌における syndecan - 1 の発現異常, 頭頸部腫瘍 28(2), 416, 2002. (第26回日本頭頸部腫瘍学会, 千葉市) A79 0160 23 細形研 (1)病理
64. 武田栄三, 矢島安朝, 田崎雅和⁽¹⁾, 澁川義幸⁽¹⁾, 関根秀志⁽²⁾, 阿部伸一⁽³⁾, 井上 孝⁽⁴⁾, 片倉 朗, 佐藤 亨⁽⁵⁾, 柿澤 卓⁽⁶⁾, 井出吉信⁽³⁾: MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 口蓋部触刺激による味覚野の応答, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 3, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)生理, (2)補綴, (3)解剖, (4)病理, (5)補綴, (6)水病・口外科

6 . 口腔外科学第二講座

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

教授	内山 健志	口唇顎口蓋裂患者の形態学ならびに機能的研究
講師	松井 隆	口腔外科手術を安全に行うための画像解析
	大畠 仁	顎裂部骨形成における Platelet - rich Plasma 応用についての研究
助手	中野 洋子	口蓋裂患者の音声言語学的研究
	市ノ川義美	各種処理同種骨の経時的強度変化に関する研究 (A98 0480 2)
	米津 博文	顎関節鏡視下剥離授動術前後の顎運動に関する研究 (A98 0480 3)
	須賀賢一郎	顎顔面変形症患者の顎運動機能が顎顔面形態に及ぼす影響
	渡辺 一	二段階口蓋形成術施行患児の X 線テレビシステムによる構音器官動態の長期観察
	花井淳一郎	仮骨延長法を用いた下顎歯槽部の幅経増大に関する実験的研究
	西堀 陽平	マウス二次口蓋発生における正中上皮索消失 (A00 0480 5)
	本橋 佳子	口蓋裂患者の摂食機能獲得過程について
	幾本 英之	骨組織への多血小板血漿 (PRP) 応用についての基礎的研究
大学院生	原 宣道	器官培養法によるマウス口蓋発生に関する実験的研究 (A97 0480 1)
	石井 建	外科的顎矯正手術に関わる臨床解剖学的研究 (A00 0480 1)
	塩見 周平	口腔内異常感覚が音声に及ぼす影響 下顎孔伝達麻酔後の音声変化について (A00 0480 2)
	吉村 元	下顎孔伝達麻酔における音声言語変化について (A01 0480 1)
	大島 崇宏	マウス顎関節発生に関する実験的研究
	渡邊 章	口蓋裂遺伝子に関する解析

2 . 成果の概要

リン酸カルシウムセラミックス上での骨芽細胞様細胞の初期石灰化に関する研究

歯科インプラント治療を成功に導くためには、インプラントと周囲骨組織とにおける骨結合を早期に獲得することが重要である。最近、早期の骨結合の獲得と適応範囲の拡大を臨床目的として、チタン（以下 Ti）にリン酸カルシウム（以下 Ca - P）セラミックスをコーティングしたインプラント材が応用されるようになった。Ca - P セラミックスは周囲骨組織の石灰化を促すとされているが、Ca - P セラミックスにおける溶解度と結晶構造のどちらが石灰化におよぼす影響が大きいかは明らかにされていない。

そこで、骨芽細胞様細胞を用いて Ca - P セラミックスのうち溶解度と表面形状がほぼ等しい β - TCP と hydroxyapatite（以下 HA）を用い結晶構造の違いが骨芽細胞様細胞の初期石灰化に及ぼす影響を明らかにすることを目的として *in vitro* 実験を行った。

実験群として二種類の Ca - P セラミックス（ β - TCP と HA）を対照群として純 Ti（Ti, JIS 2 種）を用い、骨芽細胞様細胞は Maniopoulos ら（1989年, Cell Tissue Res.）の方法に準じて、Wistar 系ラットの大腿骨髄より採取した。細胞付着は 0.5, 1, 2, 4, 6 時間後に、細胞増殖は 1, 3, 5, 7 日目にコールターカウンターを用いて測定し、アルカリフォスファターゼ活性（以下 ALP 活性）とオステオカルシン濃度に関しては、5, 9, 13 日目に ELISA 法を用いて測定した。また、石灰化球様構造物の形成状態に関しては走査型電子顕微鏡（以下 SEM）を用いて 9 日目と、13 日目に観察し、形成された石灰化球様構造物の大きさと面積率を測定した。

結果、細胞付着、細胞増殖ともに材料間での差がみられなかった。ALP 活性は初期の段階では HA と Ti が β - TCP より高く、その後は Ti が Ca - P セラミックスより高い値をしめしていたが、Ca - P セラミッ

クス間では差が認められなかった。Ca - P セラミックスにおけるオステオカルシンの発現は、Ti より早期に高値となり細胞分化が早いことが確認された。SEM 観察では多くの石灰化構造物が Ca - P セラミックスで Ti より早期に形成され、石灰化球は Ca - P セラミックスの方が大きく Ca - P セラミックス間では違いはなかった。β - TCP と HA 間では大きな違いが認められなかったことは、Ca - P セラミックスの初期石灰化には結晶構造より溶解度の方が影響するものと推察された。

以上のことから Ca - P セラミックスは Ti より初期石灰化が早く認められたが、溶解度、表面形状が同様な Ca - P セラミックスは結晶構造が異なっても *in vitro* ではほぼ同様な初期石灰化挙動を示すことが明らかとなった。

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
内山 健志 中野 洋子 西堀 陽平	口唇・口蓋裂発現と母体環境 要因に関する全国調査 第2子発生予防の試み	愛知学院大学歯学部口腔 外科学第二講座	名古屋市	河合 幹
内山 健志 渡邊 章 大畠 仁 中野 洋子 幾本 英之	日本人口唇裂・口蓋裂患者に おける候補遺伝子の解析	長崎大学医学部付属病院 原爆後遺障害医療研究 施設 分子医療部門変異 遺伝子解析研究分野	長崎市	新川 詔夫 吉浦孝一郎

4. 研究活動の特記すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
内山 健志	2002.5.11	日韓口唇口蓋裂討論会	第56回日本口腔科学会総会	大阪市
内山 健志	2002.5.31	口唇裂、口蓋裂における各領域 の到達目標 最終的なゴールを 考えた当科の口蓋裂初回手術	第26回日本口蓋裂学会	岡山市
内山 健志	2002.10.31	ベトナム社会主義共和国における 口唇口蓋裂患者のための医療援助 ならびに技術指導、特にホーチミン市 における活動について	第47回日本口腔外科学会総会	札幌市

5. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地	備 考
中野 洋子	2002.6.8	慶應義塾大学病院歯科口腔外科における口唇・口蓋裂の現況について	慶應大学学術講演会	東京	
内山 健志	2002.7.6	最近の歯科医療事情について	東京歯科大学同窓会 川崎市部・川崎水橋会 学術講演会	川崎市	
内山 健志	2002.7.25	なぜ歯科病診連携が必要か?	平成14年度 東京都歯科医師会・ 卒後研修	東京	
内山 健志	2002.9.17	最近の歯科医療事情について	沖縄県歯科医師会	那覇市	
幾本 英之	2002.10.9	リン酸カルシウムセラミックスの結晶構造の違いが骨芽細胞様細胞の初期石灰化に及ぼす影響	ベネズエラ中央大学 大学院セミナー	ベネズエラ ・カラカス	

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
中野 洋子	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
渡辺 一	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

論 文

1. 米津博文：顎関節症を見直す顎関節症の疾患概念と症型分類，歯科学報 102(7)，569～575，2002．総説
2. Matsuzaka, K.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Uchiyama, T., Noma, H.⁽³⁾, Inoue, T.⁽¹⁾: Lesions related to the formation of bone, cartilage or cementum arising in the oral area : a statistical study and review of the literature, Bull Tokyo Dent Coll 43(3), 173～180, 2002．原著 A 0611 2 (1)臨検査，(2)病理，(3)口外
3. Shibahara, T.⁽¹⁾, Noma, H.⁽¹⁾, Hatada, K.⁽¹⁾, Takeda, E.⁽¹⁾, Tanaka, C.⁽¹⁾, Takeyama, M. : Anterolateral thigh flap, Bull Tokyo Dent Coll 43(3), 187～191, 2002．臨床 (1)口外
4. 柿澤 卓⁽¹⁾, 松井 隆, 高野正行⁽¹⁾, 横山葉子⁽¹⁾, 松田玉枝⁽¹⁾, 大鶴 洋⁽²⁾: 上顎に発生した口腔トリコモナス症の1例，日口腔外会誌 48(8), 427～430, 2002．臨床 (1)水病・口外科，(2)国立東京医療センター・口外

解 説

1. 西井 康⁽¹⁾, 高木多加志⁽²⁾, 野間弘康⁽²⁾, 花井淳一郎, 山口秀晴⁽¹⁾: グローバル化する歯科矯正治療インプラントアンカレッジシステム，歯科学報 102(6), 453～487, 2002．(1)矯正，(2)口外

単行図書

1. 内山健志^(a), ^(c), ^(d), 大畠 仁^(a), ^(b), ^(e), 須賀賢一郎^(b), 渡辺 一^(d), 花井淳一郎^(c), 西堀陽平^(e): 著分担：若い歯科医と研修医のための口腔外科はじめましょう (a)止血 154～157頁 (b)切創，挫創の縫合・デブリードマン 158～163頁，(c)膿瘍切開 164～167頁，(d)非観血的顎関節脱臼整復 168～169頁，(e)顎骨骨折の暫間固定法 170～173頁，デンタルダイヤモンド社，東京，2002．
2. 大畠 仁^(a), 内山健志^(a): 著分担：イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー(初版) (a)26．炎症 104～109頁，医師薬出版，東京，2002．

プロシーディングス

1. 内山健志：口唇裂，口蓋裂における各領域の到達目標最終的なゴールを考えた当科の口蓋裂初回手術，日口蓋裂会誌 27(2)，132，2002．(第26回日本口蓋裂学会総会・学術集会教育シンポジウム，岡山市)
2. 内山健志：日韓口唇口蓋裂討論会，第56回日本口腔科学会総会ポストコングレンスセミナープログラム・抄録集，2002．(第56回日本口腔科学会総会，大阪市)

そ の 他

1. 井上 孝⁽¹⁾, 阿部伸一⁽²⁾, 中村弘明⁽³⁾, 橋本貞充⁽⁴⁾, 関口 浩⁽⁵⁾, 渡邊弘樹⁽⁶⁾, 大畠 仁, 太田一正⁽⁷⁾: 発生学，平成14年度教育ワークショップ報告書，11～18，2002．(1)臨検査，(2)解剖，(3)生物，(4)病理，(5)小児歯，(6)超微構造，(7)生化学

学会抄録

1. 米津博文, 須賀賢一郎, 木住野義信, 齋藤 力, 内山健志, 森 俊道⁽¹⁾, 山本一普⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾: マルチスライス・エックス線 CT の顎関節疾患への応用(予報)，日顎関節会誌 14(1)，130，2002．(第14回日本顎関節学会総会，神戸市) A00 0790 6 (1)歯放

2. 山崎康博⁽¹⁾, 野嶋邦彦⁽¹⁾, 松村栄治⁽¹⁾, 吉井賢一郎⁽¹⁾, 西井 康⁽¹⁾, 坂本輝雄⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 内山健志: 唇顎口蓋裂患者におけるX線VTRを用いた嚥下時軟口蓋運動解析, 日口蓋裂会誌 27(2), 184, 2002.(第26回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 岡山市)(1)矯正
3. 齊藤 力⁽¹⁾, 小林正治⁽¹⁾, 本間克彦⁽¹⁾, 泉 健次⁽¹⁾, 新垣 晋⁽¹⁾, 中野洋子, 山口秀晴⁽²⁾, 柴田恭典⁽³⁾: 両側口唇口蓋裂症例に対するLe Fort 型骨切り術について, 日口蓋裂会誌 27(2), 210, 2002.(第26回日本口蓋裂学会総会・学術集会教育シンポジウム, 岡山市)(1)新潟大・医歯総合研究・顎顔面再建, (2)矯正, (3)東京都
4. 大塚和華⁽¹⁾, 坂本輝雄⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 西堀陽平, 内山健志: 成人まで口蓋裂未治療で経過した唇顎口蓋裂患者の1例, 日口蓋裂会誌 27(2), 245, 2002.(第26回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 岡山市)(1)矯正
5. 中野洋子, 中嶋英乃, 本橋佳子, 内山健志: CLP及びCP児の食生活に関する研究(第1報)離乳期について, 日口蓋裂会誌 27(2), 268, 2002.(第26回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 岡山市)
6. 柴田孝典⁽¹⁾, 甲斐貞子⁽²⁾, 米津博文: 顎関節強直症における画像診断の役割, 歯放線 42(2), 153~154, 2002.(日本歯科放射線学会第7回画像診断臨床大会, 横浜市)(1)山形大・歯・歯口外, (2)九州大・大学院・口腔顎顔面病態学
7. 外山正彦⁽¹⁾, 保刈成志⁽²⁾, 米津博文, 誉田栄一⁽³⁾, 本田和也⁽⁴⁾, 瀬上夏樹⁽⁵⁾: 顎関節画像検査における関節腔造影法の役割, 歯放線 42(2), 157, 2002.(日本歯科放射線学会第7回画像診断臨床大会, 横浜市)(1)名古屋徳洲会総合病院・歯口外, (2)明海大・歯・歯放, (3)東医歯大・歯・口腔放射線医学, (4)日大・歯・放, (5)金沢医大・口腔科学
8. 内山健志: 口蓋裂の治療と研究, 歯科学報 102(6), 502, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
9. 大内 豪⁽¹⁾, 西井 康⁽¹⁾, 野嶋邦彦⁽¹⁾, 末石研二⁽²⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 内山健志: 顎矯正手術における3Dシミュレーションシステムの実用精度について(第1報), 歯科学報 102(6), 512, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)(1)矯正, (2)水病・矯正科
10. 村上 聡⁽¹⁾, 小池吉彦⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 井上 孝⁽¹⁾, 川原由里香⁽²⁾, 秦 暢宏⁽²⁾, 仙波利寿⁽²⁾, 萩田恵子⁽²⁾, 才藤純一⁽²⁾, 内山健志: 石灰化歯原性嚢胞における歯原性上皮の石灰化に関する免疫組織化学的検討, 歯科学報 102(6), 526, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A 0611 2 細形研 (1)臨検査 (2)干病・臨検査
11. 幾本英之, 渡邊 章, 成田真人, 大畠 仁, 内山健志, 松坂賢一⁽¹⁾: 自己トロンピンを用いたPRP(多血小板血漿)の臨床応用, 歯科学報 102(6), 530, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 (1)臨検査
12. 田中千早⁽¹⁾, 浜瀬真紀⁽¹⁾, 山口晋一⁽¹⁾, 高木 亮⁽¹⁾, 原 宣道, 西堀陽平, 高崎義人⁽²⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 内山健志, 野間弘康⁽¹⁾: 舌神経知覚障害の診断下に神経修復術を施行した3例, 歯科学報 102(6), 534, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)(1)口外, (2)水病・口外科
13. 才藤純一⁽¹⁾, 仙波利寿⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 小池吉彦⁽²⁾, 村上 聡⁽²⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 橋本貞充⁽³⁾, 下野正基⁽³⁾, 内山健志, 野間弘康⁽⁴⁾: 口腔における細胞診の統計学的検討と細胞診断上の問題点, 歯科学報 102(6), 542, 2002.(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A 0611 2 (1)干病・臨検査, (2)臨検査, (3)病理, (4)口外

14. 中嶋英乃,本橋佳子,中野洋子,内山健志,久保周平⁽¹⁾,山崎孝子⁽²⁾:口蓋裂児の食生活に関する調査(第2報) 普通食の摂食状況,歯科学報 102(6),552,2002.(第273回東京歯科大学学会例会,千葉市)(1)小児歯,(2)千病・庶務課
15. 本橋佳子,渡邊 章,山本晋也,大畠 仁,内山健志,小川 透⁽¹⁾,武田友孝⁽¹⁾,石上恵一⁽¹⁾:スポーツ外傷後の競技復帰ラグビーにおける下顎骨多線骨折症例の治療経験について,歯科学報 102(10),826,2002.(第274回東京歯科大学学会総会,千葉市)(1)スポーツ歯
16. 小川 透⁽¹⁾,半田 潤⁽¹⁾,川村慎太郎⁽¹⁾,澁澤真美⁽¹⁾,保科早苗⁽¹⁾,中島一憲⁽¹⁾,島田 淳⁽²⁾,武田友孝⁽¹⁾,石上恵一⁽¹⁾,本橋佳子,内山健志:スポーツ外傷後の競技復帰下顎骨骨折後のマウスガードおよびフェイスガードの作製について,歯科学報 102(10),827,2002.(第274回東京歯科大学学会総会,千葉市)(1)スポーツ歯,(2)水病・スポーツ歯科
17. 竹山雅芳,花井淳一郎,大畠 仁,内山健志,小枝弘実⁽¹⁾:Rhomboid - to - W technique による外歯瘻手術,日口腔外会誌 48(9) 488,2002.(第172回日本口腔外科学会関東地方会,東京)(1)みつわ台総合病院・歯口外
18. 花井淳一郎,椎木さやか⁽¹⁾,横尾恵子⁽¹⁾,渡邊 章,西堀陽平,大畠 仁,内山健志,氏家真由子⁽²⁾,米津卓郎⁽²⁾,薬師寺 仁⁽²⁾,奥田みのり⁽³⁾,縣 秀栄⁽³⁾,阿部耕一郎⁽³⁾,金子 譲⁽³⁾:囲堯結紮を行った幼児下顎4乳切歯外傷の一例,歯科学報 102(10),825,2002.(第274回東京歯科大学学会総会,千葉市)(1)口外,(2)小児歯,(3)歯麻
19. 塩見周平,吉村 元,中野洋子,内山健志,小枝弘実⁽¹⁾:口腔内異常感覚が音声におよぼす影響,日口腔科会誌 51(6),457,2002.(第56回日本口腔科学会総会,大阪市)(1)みつわ台総合病院・歯口外
20. 石井 建,内山健志,井出吉信⁽¹⁾,齊藤 力⁽²⁾:口腔顎顔面領域の外科的解剖 顎動脈およびその分枝の走行に関する研究 (第2報),日口腔科会誌 51(6) 500,2002.(第56回日本口腔科学会総会,大阪市)(1)解剖,(2)新潟大・大学院・顎顔面再建
21. 村松美奈⁽¹⁾,沼田正廣⁽¹⁾,村田篤司⁽¹⁾,花上伸明⁽²⁾,渡邊 裕⁽²⁾,山根源之⁽²⁾,本橋佳子,内山健志,一戸達也⁽³⁾:当園における摂食・嚥下訓練 Eメールを用いた遠隔指導,日摂食嚥下リハ会誌 6(2),299,2002.(第8回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会,宇都宮市)(1)東京都,(2)市病・オーラルメディスン,(3)歯麻
22. 本橋佳子,中嶋英乃,中野洋子,久保周平⁽¹⁾,内山健志:口蓋裂児の食生活に関する調査(第3報),日摂食嚥下リハ会誌 6(2),335,2002.(第8回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会,宇都宮市)(1)小児歯
23. 齊藤 力⁽¹⁾,小林正治⁽¹⁾,本間克彦⁽¹⁾,加納浩之⁽¹⁾,須賀賢一郎:Le Fort 型骨切り術の改良について 翼突上顎 osteotome を用いない Le Fort 型骨切り術,日顎変形会誌 12(3),142,2002.(第12回日本顎変形症学会総会,大阪市)(1)新潟大・大学院・顎顔面再建学
24. 須賀賢一郎,西堀陽平,内山健志,白石 圭⁽¹⁾,山口秀晴⁽¹⁾,齊藤 力⁽²⁾,渡辺千秋⁽³⁾:von Recklinghausen 病患者に発現した顔面非対称に対して口内型骨延長装置による下顎骨延長術を行なった1例,日顎変形会誌 12(3),157,2002.(第12回日本顎変形症学会総会,大阪市)(1)矯正,(2)新潟大・大学院・顎顔面再建学,(3)国立水戸病院・歯口外

25. 西井 康⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 花井淳一郎: 術前矯正治療にミニプレートを固定源とした一例, 日顎変形会誌 12 (3), 165, 2002. (第12回日本顎変形症学会総会, 大阪市) (1)矯正
26. 小枝弘実⁽¹⁾, 花井淳一郎, 渡辺 一, 大畠 仁, 内山健志, 井上 孝⁽²⁾, 松坂賢一⁽²⁾: 舌体部に発生した管腔形成が著明な真性血管腫と思われた1例, 日口外会誌 48(12), 645~646, 2002. (第173回日本口腔外科学会関東地方会, 前橋市) A 0611 2 (1)総進会みつわ台総合病院・口外, (2)臨検査
27. 内山健志: ベトナム社会主義共和国における口唇口蓋裂患者のための医療援助ならびに技術指導, とくにホーチミン市における活動について, 日口外会誌 48(13), 685~686, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市)
28. 花井淳一郎, 山本晋也, 中嶋英乃, 幾本英之, 須賀賢一郎, 大畠 仁, 内山健志: 下顎枝矢状分割術における口内法による吸収性ミニプレートを用いた骨接合法, 日口外会誌 48(13), 713~714, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市)
29. 大島崇宏, 原 宣道, 西堀陽平, 米津博文, 内山健志: マウス顎関節発生過程の形態学的観察(第2報), 日口外会誌 48(13), 758~785, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) 細形研 実動施設
30. 幾本英之, 渡邊 章, 成田真人, 大畠 仁, 内山健志, 松坂賢一⁽¹⁾: 骨芽細胞様細胞の石灰化におよぼす PRP (多血小板血漿) の影響, 日口外会誌 48(13), 917, 2002. (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) 細形研 実動施設 (1)臨検査
31. 一戸達也⁽¹⁾, 金子 譲⁽¹⁾, 間宮秀樹⁽¹⁾, 縣 秀栄⁽¹⁾, 笠原正貴⁽²⁾, 川口 充⁽³⁾, 柴原孝彦⁽⁴⁾, 米津博文, 鈴木 隆⁽⁵⁾: 顎顔面領域の慢性難治性疼痛に対する治療指針の検討, Bull Tokyo Dent Coll 43, 117~119, 2002. (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)歯麻, (2)水病・麻酔科, (3)薬理, (4)口外, (5)生理
32. 一戸達也⁽¹⁾, 金子 譲⁽¹⁾, 間宮秀樹⁽¹⁾, 縣 秀栄⁽¹⁾, 笠原正貴⁽²⁾, 松浦信幸⁽¹⁾, 川口 充⁽³⁾, 柴原孝彦⁽⁴⁾, 米津博文, 澁川義幸⁽⁵⁾: 顎顔面領域の慢性難治性疼痛に対する治療指針の検討, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 13, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)歯麻, (2)水病・麻酔科, (3)薬理, (4)口外, (5)生理
33. 望月清志⁽¹⁾, 久保周平⁽²⁾, 黒須美佳⁽²⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 田崎雅和⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 山倉大紀⁽⁵⁾, 末石研二⁽⁶⁾, 坂本輝雄⁽⁷⁾, 中野洋子: 成長発育期における口腔内圧受容と大脳皮質感覚野の関連について, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 26, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3B01 脳科学研 (1)水病・小児歯科, (2)小児歯, (3)生理, (4)解剖, (5)補綴, (6)水病・矯正科, (7)矯正
34. 内山健志, 吉村 元, 塩見周平, 加藤 隆⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽¹⁾, 新谷益朗⁽²⁾: 下顎孔伝達麻酔後の口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御に関する研究, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 34~35, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研(1)水病・精神・神経科, (2)脳科学研究施設

35. 見明康雄⁽¹⁾, 柳澤孝彰⁽¹⁾, 中島 修⁽¹⁾, 水口 清⁽²⁾, 内山健志: 唾液による歯牙硬組織石灰化度の恒常性維持の解明, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 62~63, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)超微構造, (2)法歯
36. 杉崎正志⁽¹⁾, 木野孔司⁽²⁾, 米津博文, 島田 淳⁽³⁾, 本田和也⁽⁴⁾, 渋谷智明⁽⁵⁾, 坂本一郎⁽⁶⁾ 和嶋浩一⁽⁷⁾, 小川 匠⁽⁸⁾, 依田哲也⁽⁹⁾, 成田紀之⁽¹⁰⁾, 内田貴之⁽¹¹⁾: 手指による加圧量の再現性に関する練習効果の評価, 日顎関節会誌 **15**(1), 94, 2003. (第15回日本顎関節学会総会, 東京) A00 0790 6 (1)慈恵医大・歯科, (2)東医歯大・歯・顎関節治療部, (3)水病・スポーツ歯科, (4)日大・歯・放, (5)東医歯大・大学院医歯学総合研究科・顎顔面外科学分野, (6)東医歯大・大学院医歯学総合研究科・口腔機能再建学分野, (7)慶大・医・歯口外, (8)鶴見大・歯・補綴2, (9)東大・医・顎口外・矯正, (10)日大・松戸歯・補綴3, (11)日大・松戸歯・口腔診断

7. 歯科麻酔学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	金子 謙	痛み反応を必要としない局所麻酔薬の効果判定法 局所麻酔薬の局在の光学的計測 (A99 0500 10)
	一戸 達也	口腔外科手術のための全静脈麻酔の検討 正常血圧者と高血圧者での比較 (A95 0500 1)
講師	櫻井 学	アミノフィリンの全身麻酔からの覚醒促進作用に対する研究 (A99 0500 2)
	阿部耕一郎	快適な歯科治療をめざして 自律神経解析からみた歯科治療が患者におよぼす影響 (A01 0500 3)
助手	野村 仰	側位頭部 X 線規格写真分析から求めた数値による咽頭形態の評価ならびに体表の目標点を用いた経鼻挿管難易度の予測 (A01 0500 4)
	福田 謙一	幻歯痛の病態分析 (A01 0500 11)
	縣 秀栄	動脈硬化モデル動物の心筋酸素受給バランスに対する歯科用血管収縮薬の影響 (A01 0500 6)
	笠原 正貴	口腔外科手術後の神経麻痺治療における直線偏光近赤外線星状神経節照射の有用性の検討 (A01 0500 12)
	奥田みのり	周術期における呼吸器感染症に関する細菌学研究 (A99 0500)
大学院生	雨宮 啓	低酸素, 再酸化環境における歯髄の細胞応答
	加納美穂子	要介護老人の歯科治療に関する循環変動について
	上谷陽一郎	局所麻酔薬による細胞アポトーシス誘導
	松木由起子	Bispectral index モニターを用いた健忘効果の検討
	松浦 信幸	三叉神経支配領域 CO ₂ レーザー刺激による痛覚誘発脳磁場に対する NMDA 受容体抑制薬の効果
	半田 俊之	アデノシン三リン酸の術中持続投与による術後痛への効果
	稲川 元明	東京歯科大学千葉病院手術室での顎変形症手術に対する全身麻酔管理法の変遷 (1965 - 2001年)
	半田麻里子	歯髄の麻酔効果と血流からみた望ましい局所麻酔薬と血管収縮薬の組合せの検討
	伊藤英美子	神経筋疾患患者における全身管理について
	大野 建州	障害者の日帰り全身麻酔の検討
	久保浩太郎	東京歯科大学千葉病院における救急症例の検討
	塩崎 秀弥	口腔外科手術における自己血輸血の適応について

2. 成果の概要

1) 全身麻酔

プロポフォールはヒスタミン遊離作用がなく気管支拡張作用があるため気管支喘息を有する患者の麻酔に安全であると報告されているが、プロポフォールを使用したことで気管支痙攣や喘息重積発作を起こしたという報告もあり評価は一定していない。そこで、気管支喘息合併症例における気管支痙攣様発作がどのような理由で惹起したのか検討した。プロポフォール自身が気管支喘息様発作の引き金となる可能性は少なく、気管支喘息患者にも安全に使用できることが示唆された。

日歯麻会誌 30, 244~245, 2002.

2) 局所麻酔

局所麻酔薬によって起こる細胞死は古くから研究されているがアポトーシスの誘導およびその細胞内シグナル伝達メカニズムについての詳細はまだ明らかではない。今回局所麻酔薬がヒト単球系樹立細胞 U937 にアポトーシスを誘導する条件およびその細胞内シグナル伝達のメカニズムを検討した。リドカインによるアポトーシスは、エトポシドによるアポトーシスと異なるメカニズムで生じていることが観察された。

J Anesthesia 16, 224, 2002.

3) 患者管理

歯科治療に協力を得にくい障害者に対しては日帰り麻酔下で歯科治療を行うことが多い。しかし、日帰り麻酔には覚醒時間、術後の嘔気嘔吐、発熱などの帰宅判断に伴う諸問題が存在している。そこで、日帰り麻酔にプロポフォールが吸入麻酔薬より適しているかどうか検討した。吸入麻酔薬よりもプロポフォールでは術後嘔吐が少なく帰宅までの時間が短いことがわかった。プロポフォールは吸入麻酔薬と比較して優れた日帰り麻酔の維持薬であると思われた。

障害者歯 23, 286, 2002.

4) ペインクリニック

顎顔面領域の慢性疼痛疾患には、allodynia や hyperalgesia が特徴的な complex regional pain syndrome や心因性疼痛などがあり、いずれも極めて治療が困難である。これらの疾患の大脳皮質の活動状態を脳磁図から評価し、慢性難治性疼痛の発現における大脳皮質各部位の関与を明らかにし、治療指針の検討目的とした。CO2 レーザー痛覚刺激装置を用いて出力の違いによる三叉神経支配領域皮膚の痛覚誘発脳磁場 (pain - SEFs) の記録、各種鎮痛薬剤の pain - SEFs に対する効果を検討した。大脳皮質二次体性感覚野 (痛覚領野) は、三叉神経領域の痛覚刺激強度依存性に活性化される事が認められた。ケタミンはその応答を可逆的に抑制する事から、大脳皮質への痛覚入力過程におけるグルタミン酸受容体を介する神経伝達機構を抑制する事で鎮痛効果をもたらす事が示唆された。一方、オピオイド受容体に作用するフェンタニルは、痛覚入力過程においてケタミンとは異なった作用を持つと考えられた。

第3回脳磁場ニューロイメージングプログラム

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
櫻井 学	抗炎症を目的としたアデノシン三リン酸(ATP)製剤の口腔外科手術への臨床応用	岡山大学大学院歯科麻酔学分野	岡山市	宮脇 卓也
金子 謙	静脈内投与アデノシンの鎮痛作用に関する研究	ハーバー UCLA メディカルセンター 麻酔学講座	アメリカ合衆国	福永 敦翁
一戸 達也	静脈内鎮静時の酸素療法	ハーバー UCLA メディカルセンター 麻酔学講座	アメリカ合衆国	福永 敦翁
櫻井 学	アミノフィリンの麻酔からの回復に対する研究	ハーバー UCLA メディカルセンター 麻酔学講座	アメリカ合衆国	福永 敦翁

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
金子 讓	在宅寝たきり高齢者，障害者歯科診療の運営方法及び患児の取り扱い方法に関する研究並び練馬区歯科医師会会員に対する指導，協力	練馬区歯科医師会より奨学研究費
金子 讓	痛み反応を必要としない局所麻酔薬の効果の判定法	科学研究費・基盤（B）
一戸 達也	顎顔面領域の慢性難治性疼痛に対する治療指針の検討	東京歯科大学口腔科学研究センター
一戸 達也	口腔外科手術のための全静脈麻酔の検討 正常血圧者と高血圧者での比較	科学研究費・基盤（C）
櫻井 学	抗炎症を目的としたアデノシン三リン酸（ATP）製剤の口腔外科手術への臨床応用	科学研究費・基盤（B）
阿部耕一郎	快適な歯科治療をめざして 自律神経解析からみた歯科治療が患者におよぼす影響	科学研究費・基盤（C）

5. 研究活動の特記すべき事項

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
金子 讓	2002.9.28	血管収縮薬の功罪	関東臨床歯科麻酔懇話会 Dr. Stanley Malamed 来日 シンポジウム	東京
一戸 達也	2002.11.2	突然の意識障害とその対応	日本臨床麻酔学会第22回大会	山梨県中巨摩郡

6. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
金子 讓	2002.5.19	患者検査 検査(全身的,局所的), 麻酔と全身管理「インプラント 患者の全身管理とモニタリング」	九州インプラント研究会	熊本市
一戸 達也	2002.6.22	Dental Office Emergencies in Japan	第2回韓国歯科麻酔学会総会	韓国
一戸 達也	2002.7.12	在宅高齢者と歯科医療	埼玉県歯科医師会 平成13年度 介護保険等対応歯科保健医療 推進研究会	さいたま市
一戸 達也	2001.8.5	アドバンスコース「全身管理と 救急医療」	千葉県歯科医師会 平成13年度 摂食・嚥下リハビリテーション 研修会	千葉市
一戸 達也	2002.5.19	障害者歯科臨床に必要な全身管理 の知識	東京都立心身障害者口腔保険 センター 平成14年度歯科医師 集団研修会	東京

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
一戸 達也	2002 . 5 . 20	歯科の局所麻酔について	スリーエムヘルスケア株式会社 社員研修会	東京
一戸 達也	2002 . 6 . 26	無痛麻酔法と薬剤の選択および 緊急時の対応	国分寺市歯科医師会講演会	東京
一戸 達也	2002 . 7 . 6	ペインクリニックの実際	東京歯科大学同窓会千葉県 船橋支部講演会	船橋市
一戸 達也	2002 . 7 . 7	在宅高齢者の歯科治療の注意点	東京歯科大学同窓会埼玉県 支部学術講演会	上尾市
間宮 秀樹	2002 . 7 . 22	臨床医のための歯科局所麻酔	宇都宮市歯科医師会 症例 検討会	宇都宮市
一戸 達也	2002 . 8 . 18	要介護高齢者の歯科治療の注意点	名古屋市立大学病院歯科口腔 外科同門会夏期研修会	名古屋市
一戸 達也	2002 . 9 . 7	歯科麻酔学領域における最近の 話題 臨床と教育	東京歯科大学同窓会長野県 連合会総会	松本市
金子 讓	2002 . 9 . 14	インプラント患者の全身管理と モニタリング	日本歯科先端技術研究所	東京
金子 讓	2002 . 9 . 17	救急処置	京橋歯科医師会	東京
一戸 達也	2002 . 10 . 6	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	大宮市
金子 讓	2002 . 10 . 25	歯科インプラントにおける局所 麻酔	デンツプライ	東京
金子 讓	2002 . 11 . 18	歯科麻酔に関わる最近の話題	北海道大学歯学研究セミナー	札幌市
金子 讓	2002 . 11 . 21	知ってるようで知らない局所麻酔 の話	丸の内歯科医師会	東京
一戸 達也	2002 . 12 . 7	大学の現状と今後の展望 臨床・ 研究・教育	川崎水橋会学術講演会	川崎市
一戸 達也	2002 . 12 . 8	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	東京
一戸 達也	2002 . 12 . 14	痛くない歯科治療 歯科に おけるQA とCS を目指して	東京歯科大学同窓会山梨県 支部講演会	甲府市
一戸 達也	2003 , 1 , 19	歯科の局所麻酔について	四日市市歯科医師会講演会	四日市市
一戸 達也	2003 , 2 . 22	局所麻酔にまつわる最近の話題	中原区歯科医師会講演会	川崎市
間宮 秀樹	2003 . 2 . 27	内科・歯科・開業医のための 心肺脳蘇生法	神奈川県保険医協会 歯科部会 2月度臨床研究会	横浜市
一戸 達也	2003 , 3 , 1	歯科の局所麻酔について	仙台市歯科医師会講演会	仙台市
一戸 達也	2003 , 3 , 11	高齢者の歯科治療時の全身管理	蒲田歯科医師会講演会	東京
一戸 達也	2003 , 3 , 16	歯科の局所麻酔について	東京 SJCD	東京
金子 讓	2003 , 3 . 26	付属病院の経営効率と事故防止 対策	第6回歯科医療安全管理の ため研修会	新潟市
一戸 達也	2003 , 3 . 29	歯科の局所麻酔について	北海道医療大学同窓会講演会	札幌市

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
一戸 達也	2002 . 6 . 8 ~ 9	第7回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市	
一戸 達也	2001 . 11 . 2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市	

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地	備考
金子 譲	2002 . 5 . 11	平成14年度第5学年 OSCE	顧問	千葉市	
一戸 達也	2002 . 5 . 11	平成14年度第5学年 OSCE	実行委員長	千葉市	
一戸 達也	2002 . 9 . 6	平成14年度第1回共用試験 OSCE	タスクフォース	松戸市	
金子 譲	2003 . 1 . 24	平成14年度第4学年 OSCE	顧問	千葉市	
一戸 達也	2003 . 1 . 24	平成14年度第4学年 OSCE	実行委員長	千葉市	

論 文

1. 一戸達也：口腔外科手術の麻酔におけるフェンタニルの立場，日本麻酔・薬理学会誌 **14**(1)，97～99，2002．総説
2. 杉原直樹⁽¹⁾，眞木吉信⁽¹⁾，高江洲義矩⁽¹⁾，渡邊 裕⁽²⁾，山根源之⁽²⁾，一戸達也，金子 讓，菊池雅彦⁽³⁾，渡辺 誠⁽³⁾，佐々木啓一⁽⁴⁾，管 武雄⁽⁵⁾，森戸光彦⁽⁵⁾，福島正義⁽⁶⁾，岩久正明⁽⁶⁾，山田素子⁽⁷⁾，佐藤雅志⁽⁷⁾，長田 斎⁽⁸⁾：介護保険制度における口腔保険ケア・サービス体制に関する調査研究，日歯医学会誌 **21**，68～73，2002．臨床 (1)衛生，(2)市病・オーラルメディスン，(3)東北大・大学院・加齢歯科学，(4)東北大・大学院・口腔機能解析学，(5)鶴見大・歯・高齢者歯科，(6)新潟大・歯・保存1，(7)東京都多摩老人医療センター・歯口外，(8)杉並区保健福祉部
3. 阿部耕一郎，一戸達也，金子 讓：術前検査により急性リンパ性白血病が発見された症例，日歯麻会誌 **30**(2)，240～241，2002．症例
4. 五十嵐朋子，本間敬和⁽¹⁾，一戸達也，金子 讓：水無脳症を合併した歯科患者における全身麻酔経験，日歯麻会誌 **30**(2)，242～243，2002．症例 (1)セコマディック病院・歯口外
5. 野村 仰，一戸達也，金子 讓：プロポフォールは気管支痙攣発作の引き金となるか，日歯麻会誌 **30**(2)，244～245，2002．臨床
6. 櫻井 薫⁽¹⁾，瀧澤雅一⁽²⁾，高橋潤一⁽³⁾，山倉大紀⁽⁴⁾，片倉 朗⁽⁵⁾，久保周平⁽⁶⁾，片田英憲⁽⁷⁾，一戸達也，伊藤彰人⁽⁸⁾，山田 了⁽³⁾，角田正健⁽³⁾，石井拓男⁽⁹⁾：平成14年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価，歯科学報 **104**(2)，9～30，2002．臨床 (1)補綴，(2)保存，(3)保存，(4)補綴，(5)口外，(6)小児歯，(7)矯正，(8)保存，(9)社会歯
7. 加納美穂子，松木由起子，野村 仰，一戸達也，金子 讓：上顎大白歯に発生した動静脈奇形切除術の全身麻酔経験，日歯麻会誌 **30**(3)，348～349，2002．症例
8. 縣 秀栄，中田真理，一戸達也，金子 讓：血液型がA2B型の高齢悪性腫瘍患者に対する希釈式自己血輸血，日歯麻会誌 **30**(3)，348～349，2002．症例
9. 一戸達也：歯科麻酔と亜酸化窒素，Medical Gases **4**，33～35，2002．総説

解 説

1. 一戸達也： 知っておきたい 救急のための薬剤と器具救急時とはどんな状態なのか，日歯評論 **62**(4)，52～58，2002．
2. 間宮秀樹： 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q54 疾患と効果発現時間，日歯評論 **62**(7)，9～99，2002．
3. 一戸達也： 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q5 作用機序，日歯評論 **62**(7)，57，2002．
4. 金子 讓： 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q6 血管収縮薬の禁忌について，日歯評論 **62**(7)，58，2002．

5. 笠原正貴⁽¹⁾, 金子 讓: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q7 シタネスト・オクタプレシン, 日歯評論 62(7), 59, 2002. (1)水病・麻酔科
6. 金子 讓: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q12 エピネフリンの濃度, 日歯評論 62(7), 59, 2002.
7. 一戸達也: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q28 奏効に差がある, 日歯評論 62(7), 79, 2002.
8. 笠原正貴⁽¹⁾, 金子 讓: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q44 事故・合併症の発生頻度, 日歯評論 62(7), 92, 2002. (1)水病・麻酔科
9. 金子 讓: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q45 脳貧血時の対応, 日歯評論 62(7), 93, 2002.
10. 間宮秀樹: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q47 ショックへの対処法, 日歯評論 62(7), 94~95, 2002.
11. 間宮秀樹: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q51 偶発症, 日歯評論 62(7), 97, 2002.
12. 金子 讓: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q52 全身疾患を有する者, 日歯評論 62(7), 98~99, 2002.
13. 一戸達也: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q56 服用薬, 日歯評論 62(7), 101, 2002.
14. 金子 讓: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q57 リドカイン単味では, 日歯評論 62(7), 102, 2002.
15. 金子 讓: 歯科局所麻酔に関するQ & A 血管収縮薬・局所麻酔薬について Q59 内科との連携, 日歯評論 62(7), 104, 2002.
16. 一戸達也, 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 金子 讓: 痛みのメカニズムとその対応 1 痛みの発生メカニズム, 歯界展望 101(1), 131~138, 2003. (1)水病・麻酔科
17. 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: 痛みのメカニズムとその対応 2 非歯原性疼痛の発生メカニズムとその対応, 歯界展望 101(2), 337~341, 2003. (1)水病・麻酔科
18. 松浦英夫⁽¹⁾, 一戸達也, 見崎 徹⁽²⁾, 山城三喜子⁽³⁾: 我が国における歯科用局所麻酔剤の現状と考察座談会, デンタルダイヤモンド 28(389), 134~142, 2003. (1)阪大・歯・歯麻, (2)日大・歯・歯麻, (3)日歯大・歯・歯麻
19. 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: 痛みのメカニズムとその対応 3 神経障害後痛の発生メカニズムとその対応, 歯界展望 101(3), 557~562, 2003. (1)水病・麻酔科

20. 一戸達也：浸潤麻酔の針の刺入点が潰瘍状となった場合、どのようにすれば痛みをとることができますか？、
デンタルフロンティアQ & A 19, 56~57, 2003.

単行図書

1. 間宮秀樹^(a)：著分担：有病者歯科治療ハンドブック(初版)^(a)第2章各疾患に対する基礎知識 1. 循環器系疾患 26~45頁, クインテッセンス出版, 東京, 2001.
2. 大曾根 洋^(a), (b), (e), 塚越完子^(c), (h), 一戸達也^(d), (f), (g), 杉山あや子⁽ⁱ⁾：著分担：口腔外科はじめましょう hi^(a)1章 まず診察からです 1. 問診 病歴の聴取) 18~19頁, (b)1章 まず診察からです 2. 身体所見の取り方 20~21頁, (c)1章 まず診察からです 3. 循環の診方 血圧, 脈拍 22~27頁, (d)1章 まず診察からです 4. 呼吸の診方 聴診 脈拍 28~29頁 (e)1章 まず診察からです 5. 意識の診方 30~31頁, (f)2章 検査にもいろいろあります 4. 呼吸系検査の読み方 肺機能, 動脈血ガス分析 64~67頁, (g)4章 管理にもいろいろありまして 1. 呼吸管理 124~129頁, (h)4章 管理にもいろいろありまして 1. 循環管理 血圧, 不整脈 130~133頁, (i)4章 管理にもいろいろありまして 4. 手術患者管理 3. 静脈内鎮静法 146~149頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2002. (l)都立墨東病院. 歯口外
3. 金子 譲^(a)：著分担：臨床麻酔学全書(下巻)^(a)歯科麻酔 35~49頁, 真興貿易(株)医書出版部, 東京, 2002.
4. 一戸達也^(a), (b), (c), (d), (e), (f), (g), (h), (i), (j), (k), (l), (n), (m), (o), (p), (q), (r), (s), (t), (u), (v), (w), (x), (y), (z)：著分担：歯界展望別冊 hQ & A 歯科のくすりがわかる本2003 (a)1章 くすりの基礎知識 Q2. 薬の適用外使用はどう考えればよいのですか? 12~13頁, (b)1章 くすりの基礎知識 Q3. なぜ高齢者では薬の投与量を減らしたほうがよいのですか? 14~16頁, (c)1章 くすりの基礎知識 Q4. 高齢者が服用している可能性の高い薬についてどんな注意が必要ですか? 17~18頁 (d)1章 くすりの基礎知識 Q5. 血中濃度の変化から考えた安全な薬の飲ませ方は? 19~21頁, (e)1章 くすりの基礎知識 Q6. 副作用として口腔領域に症状を現す薬にはどのようなものがありますか? 22~25頁 (f)1章 くすりの基礎知識 Q7. 口腔乾燥症を引き起こす可能性のある薬にはどのようなものがありますか? 26~27頁, (g)3章 鎮痛薬 Q1. 鎮痛薬にはどんな種類がありますか? 100~101頁, (h)3章 鎮痛薬 Q2. 歯科で使用できる鎮痛薬にはどんなものがありますか? 102頁, (i)3章 鎮痛薬 Q3. 鎮痛薬はどのようにして効くのですか? 103~105頁, (j)3章 鎮痛薬 Q4. 抜歯時の鎮痛薬はいつ飲ませたらよいのですか? 106~109頁, (k)3章 鎮痛薬 Q5. 鎮痛薬を抗菌薬といっしょに分3で投与してもよいのですか? 110頁, (l)3章 鎮痛薬 Q6. 妊娠中・授乳中の患者に投与してよい鎮痛薬はありますか? 111頁 (n)3章 鎮痛薬 Q7. 小児にはどのような鎮痛薬がよいのですか? 112頁, (m)3章 鎮痛薬 Q8. 投与した鎮痛薬を歯科以外の解熱・鎮痛の目的で使用させてもよいのですか? 113~114頁 (o)3章 鎮痛薬 Q9. アスピリン喘息と言われましたが, 安全な鎮痛薬はありますか? 115~118頁, (p)3章 鎮痛薬 Q10. 鎮痛薬と相互作用を示す患者の常用薬はありますか? 119頁, (q)3章 鎮痛薬 Q11. 狭心症や心筋梗塞, 脳梗塞等の既往がある患者にアスピリンを飲ませる目的は何ですか? 119頁, (r)4章 局所麻酔薬 Q1. 痛くない局所麻酔薬のコツは何ですか? 124~128頁, (s)4章 局所麻酔薬 Q2. よく効く局所麻酔薬のコツは何ですか? 129~131頁, (t)4章 局所麻酔薬 Q3. 開業医では何種類の局所麻酔薬を常備すべきですか? 132~134頁, (u)4章 局所麻酔薬 Q4. 局所麻酔薬カートリッジの取り扱いの注意点は何か? 135~136頁, (v)4章 局所麻酔薬 Q5. 局所麻酔薬の使用説明書に記載してある「原則禁忌」とは何ですか? 137~139頁, (w)4章 局所麻酔薬 Q6. フェリプレシンはエピネフリンよりも全身への影響が少ないですか? 140~141頁, (x)4章 局所麻酔薬 Q7. 歯周炎に罹患した歯の抜歯はなぜ局所麻酔薬が効きにくいのですか? 142~143頁, (y)4章 局所麻酔薬 Q8. 局所麻酔後の刺入部潰瘍は局所麻酔薬が原因ですか? 144~145頁, (z)4章 局所麻酔薬 Q9. 局所麻酔薬が効かないと患者が訴える場合の対応はどうすればよいのですか? 146~147頁, 医歯薬出版, 東京, 2002.

5. 一戸達也^(a), ^(b), ^(c), ^(d): 著分担: 歯界展望別冊 Q & A 歯科のくすりがわかる本2003 (a)4章 局所麻酔薬 Q10. 局所麻酔薬アレルギーと言われましたが, どう対応すればよいですか? 148~149頁, (b)4章 局所麻酔薬 Q11. 局所麻酔薬を妊娠中・授乳中の患者に使用してもよいですか? 150~151頁, (c)4章 局所麻酔薬 Q12. 歯科治療時に局所麻酔薬中毒が起こることはありますか? 152~154頁 (d)コラム COX - 2 って何? P.122~122 122頁, 医歯薬出版, 東京, 2002.
6. 一戸達也^(a): 著分担: 歯科におけるくすりの使い方2003~2006 (a)第5章 歯科で注意すべき他科の疾患 アナフィラキシーショック アナフィラキシー様反応 46~52頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2002.
7. 一戸達也^(a), 縣 秀栄^(b): 著分担: 別冊 Quintessence 口腔外科 YEAR BOOK 一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル03 (a)第4章 現代・口腔外科治療のクライテリア 7. 疼痛発生のメカニズムと診断・治療 46~52頁, (b)第6章 全身管理からトラブル予防まで 1. 局所麻酔の落とし穴 全身的偶発症 240~242頁, クインテッセンス出版, 東京, 2003.

そ の 他

1. 金子 譲: 残像バンドン陽光のなかの陰, Quintessence 21(5), 165, 2002.
2. 笠原正貴⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 譲: アデノシンとアムノリンはイヌにおけるフェリプレシンの心筋組織酸素分圧作用を改善する, 歯科学報 102(9), 39~46, 2002. (1)水病・麻酔科
3. 金子 譲, 一戸達也, 間宮秀樹: 痛み反応を必要としない局所麻酔薬の効果の判定法 組織内局所麻酔薬の光学的計測, 平成14年度科研費基盤研究(B)(2)研究実績報告書, 2002. 12470449
4. 一戸達也, 金子 譲: 口腔外科手術のための全静脈麻酔の検討 正常血圧者と高血圧者での比較, 平成14年度科研費基盤研究(C)(2)研究実績報告書, 2002.
5. 櫻井 学, 金子 譲, 一戸達也: 口腔外科手術における麻酔からの安全で快適な回復の検討 アミノフィリンの効果, 平成14年度科研費基盤研究(B)(2)研究実績報告書, 2002.
6. 阿部耕一郎, 金子 譲, 一戸達也: 快適な歯科治療をめざして 自律神経解析からみた歯科治療が患者におよぼす影響, 平成14年度科研費基盤研究(C)(2)研究実績報告書, 2002.
7. 海野雅浩⁽¹⁾, 金子 譲: Dr. Stanley Malamed 来日記念シンポジウム歯科局所麻酔の現状と今後, 歯界展望 101(3), 675~683, 2003. (1)東医歯大・大学院・麻酔・生体管理学
8. 金子 譲, 平川方久⁽¹⁾, 海野雅浩⁽²⁾, 住友雅人⁽³⁾, 花岡一雄⁽⁴⁾, 澄川耕二⁽⁵⁾: 厚生科学研究費補助金(厚生科学特別研究事業) 歯科医師の麻酔科研修のガイドライン策定に関する研究(H13 特別 057) 厚生科学研究費補助金(厚生科学特別研究事業) 歯科医師の麻酔科研修のガイドライン策定に関する研究(H13 特別 057), 2003. (1)岡山大・大学院・麻酔・蘇生学, (2)東医歯大・大学院・麻酔・生体管理学, (3)日歯大・総合診療科, (4)東京大・大学院・麻酔学, (5)長崎大・大学院・麻酔学

学会抄録

1. 一戸達也, 金子 譲, 間宮秀樹, 縣 秀栄, 笠原正貴⁽¹⁾, 松浦信幸, 川口 充⁽²⁾, 柴原孝彦⁽³⁾, 米津博文⁽⁴⁾, 澁川義幸⁽⁵⁾: 顎顔面領域の慢性難治性疼痛に対する治療指針の検討, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 13~14, 2002. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)水病・麻酔科, (2)薬理, (3)口外, (4)口外, (5)生理
2. 松木由起子, 一戸達也, 金子 譲: 5300例の経験からみた経鼻挿管による周術期の気道管理の特徴と問題点, J Anesth 16, 192, 2002. (第49回日本麻酔科学会, 福岡市)
3. 野村 仰, 一戸達也, 金子 譲: 盲目的経鼻挿管に用いる挿管困難予測表の試作, J Anesth 16, 192, 2002. (第49回日本麻酔科学会, 福岡市)
4. 上谷陽一郎, 一戸達也, 金子 譲: リドカインによる単球系細胞のアポトーシス誘導, J Anesth 16, 224, 2002. (第49回日本麻酔科学会, 福岡市)
5. 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 半田俊之, 村松 淳⁽¹⁾, 金子 譲: 幻歯痛の病態を考える, 口腔顔面痛懇談会第3回研究会プログラム・抄録集, 6, 2002. (第3回口腔顔面痛懇談会, 福岡市) (1)水病・麻酔科
6. 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 半田俊之, 村松 淳⁽¹⁾, 金子 譲: ABC 症候群を呈した抜歯後神経因性疼痛の一例, 口腔顔面痛懇談会第3回研究会プログラム・抄録集, 6, 2002. (第3回口腔顔面痛懇談会, 福岡市) (1)水病・麻酔科
7. 半田俊之, 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 村松 淳⁽¹⁾, 金子 譲: 下顎枝矢状分割術後, オトガイ神経軽度知覚鈍麻後アロディニアを発症した一例, 口腔顔面痛懇談会第3回研究会プログラム・抄録集, 7, 2002. (第3回口腔顔面痛懇談会, 福岡市) (1)水病・麻酔科
8. 縣 秀栄, 野村 仰, 阿部耕一郎, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲: 東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科におけるリスクマネジメント 歯科麻酔科の担う役割, 千葉麻酔科医会抄録, 2002. (第6回千葉麻酔科医会, 千葉市)
9. Ichinohe, T.: Dental office emergencies in Japan, Journal of The Korean Dental Society of Anesthesiology 2(1), 43, 2002. (2nd Korean Dental Society of Anesthesiology 特別講演, Seoul, Korea)
10. 中田真理, 縣 秀栄, 一戸達也, 金子 譲: 最近経験した歯科治療中の誤飲症例, 第19回関東臨床歯科麻酔懇話会日本歯科麻酔学会地方会プログラム, 1, 2002. (第19回関東臨床歯科麻酔懇話会日本歯科麻酔学会地方会, 東京)
11. 半田俊之, 上谷陽一郎, 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 譲: 带状疱疹・带状疱疹後神経痛21症例の治療法及び予後に関する検討, 第19回関東臨床歯科麻酔懇話会日本歯科麻酔学会地方会プログラム, 7, 2002. (第19回関東臨床歯科麻酔懇話会日本歯科麻酔学会地方会, 東京) (1)水病・麻酔科
12. 福田謙一⁽¹⁾, 半田俊之, 笠原正貴⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 譲: 神経血管性歯痛から麻酔抜髄の施行によって, 幻歯痛に移行したと考えられた1症例, 第19回関東臨床歯科麻酔懇話会日本歯科麻酔学会地方会プログラム, 8, 2002. (第19回関東臨床歯科麻酔懇話会日本歯科麻酔学会地方会, 東京) (1)水病・麻酔科

13. 河田英司⁽¹⁾, 一戸達也, 石井拓男⁽²⁾, 井出吉信⁽³⁾, 下野正基⁽⁴⁾: SGD を取り入れた「情報科学」, 日歯医教会21回抄集, 38, 2002. (第21回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 横浜市) (1)理工, (2)社会歯, (3)解剖, (4)病理
14. Kasahara, M.⁽¹⁾, Shibukawa, Y.⁽²⁾, Matsuura, N., Ichinohe, T., Suzuki, T.⁽²⁾, Kaneko, Y.: Effect of an NMDA receptor antagonist on pain-related somatosensory evoked magnetic fields (pain-SEFs) evoked by trigeminal nerve stimulation, Neuroimage (CD-ROM) 2002. (8th International Conference on Functional Mapping of the Human Brain, Sendai) 脳科学研(1)水病・麻酔科, (2)生理
15. 半田麻里子, 稲川元明, 縣 秀栄, 野村 仰, 間宮秀樹, 阿部耕一郎, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲: 東京歯科大学千葉病院手術室における麻酔症例の臨床統計(2001年1月~12月), 歯科学報 102(6), 63, 2002. (第273会東京歯科大学学会例会, 千葉市)
16. 野村 仰, 加納美穂子, 松木由起子, 中田真理, 笠原正貴⁽¹⁾, 縣 秀栄, 間宮秀樹, 阿部耕一郎, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲: 千葉病院歯科麻酔科外来における2001年1月から2001年12月までのペインクリニック症例の治療法についての検討, 歯科学報 102(6), 64, 2002. (第273会東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)水病・麻酔科
17. 松本美穂⁽¹⁾, 加藤広之⁽¹⁾, 近藤祥弘⁽¹⁾, 中川寛一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽²⁾, 五十嵐朋子, 一戸達也, 金子 譲: 根管治療消毒薬の応用により生じた下歯槽神経知覚鈍麻の症例, 歯科学報 102(6), 95, 2002. (第273会東京歯科大学学会例会, 千葉市) 脳科学研 (1)保存, (2)水病・麻酔科
18. 村松美奈⁽¹⁾, 沼田正廣⁽¹⁾, 村田篤司⁽¹⁾, 花上伸明⁽²⁾, 渡邊 裕⁽²⁾, 山根源之⁽²⁾, 本橋佳子⁽³⁾, 内山健志⁽³⁾, 一戸達也: 当園における摂食・嚥下訓練 Eメールを用いた遠隔指導, 日摂食嚥下リハ会誌 6(2), 299, 2002. (第8回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 宇都宮市) (1)天童会秋津療育園 (2)市病・オーラルメディシン, (3)口外
19. 雨宮 啓, 井上 孝⁽¹⁾, 金子 譲: 低酸素, 再酸素化環境における歯髄の細胞応答, 日歯麻会誌 30(4), 451, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)臨検査
20. 見崎 徹⁽¹⁾, 金子 譲, 海野雅浩⁽²⁾, 古屋英毅⁽³⁾, 吉村 節⁽⁴⁾, 福田謙一: Ropivacaine の使用状況に関するアンケート調査結果, 日歯麻会誌 30(4), 457, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)日大・歯・歯麻, (2)東京医歯大・大学院・口腔機能再建学・麻酔・生体管理, (3)日歯大・歯・歯麻, (4)昭和大学・歯・歯麻
21. 櫻井 学, 金子 譲, 一戸達也, 福永敦翁⁽¹⁾, 阿部耕一郎, 松木由起子: プロポフォル鎮静からの回復に対するアミノフィリンの影響, 日歯麻会誌 30(4), 465, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)Harbor - UCLA Med. Cent.
22. 縣 秀栄, 雨宮 啓, 稲川元明, 野村 仰, 一戸達也, 金子 譲: 東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科におけるリスクマネジメント, 日歯麻会誌 30(4), 473, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京)
23. 谷田部純子⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 譲: 全身麻酔のインフォームド・コンセント実施における不安への影響, 日歯麻会誌 30(4), 474, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科

24. 松浦信幸, 笠原正貴⁽¹⁾, 澁川義幸⁽²⁾, 一戸達也, 鈴木 隆⁽²⁾, 金子 讓: ケタミンは CO₂レーザー痛覚刺激による痛覚誘発脳磁場 (pain - SEFs) を抑制した, 日歯麻会誌 30(4) 484, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) 脳科学研 (1)水病・麻酔科, (2)生理
25. 半田俊之, 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: 患者の術後痛緩和と要求度に影響する因子の検討, 日歯麻会誌 30(4), 485, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科
26. 稲川元明, 松木由起子, 野村 仰, 一戸達也, 金子 讓: 東京歯科大学千葉病院での顎変形症手術にたいする麻酔管理法の変遷と呼吸器系合併症の関係について(1965年~2001年), 日歯麻会誌 30(4), 487, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京)
27. 阿部耕一郎, 中田真理, 一戸達也, 金子 讓: 顎変形症術後に喉頭肉芽腫を発症した1症例, 日歯麻会誌 30(4), 488, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京)
28. 櫻井 誠, 福田謙一⁽¹⁾, 半田俊之, 上谷陽一郎, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: Infusion pumpを使用したミダゾラム鎮静における滴定量の検討, 日歯麻会誌 30(4), 492, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科
29. 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 半田俊之, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: Zoster sine herpette と考えられた1症例, 日歯麻会誌 30(4), 500, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科
30. 上谷陽一郎, 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 半田俊之, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: 歯科処置後三叉神経知覚障害発症患者への事前説明は適切か 三叉神経知覚障害患者81名の集計から, 日歯麻会誌 30(4), 501, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科
31. 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 半田俊之, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: 星状神経節ブロックが著効した激痛のため緊急来院した2症例, 日歯麻会誌 30(4), 504, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科
32. 野村 仰, 縣 秀栄, 一戸達也, 金子 讓: 顎関節症に伴う Myofascial Pain が星状神経節ブロックで軽減した結果, 別部位の神経因性疼痛が明確になった1症例, 日歯麻会誌 30(4), 504, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京)
33. 齋田菜緒子⁽¹⁾, 野間智子⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: 歯科口腔外科手術における Laryngeal mask airway(LMA)使用266症例の検討, 日歯麻会誌 30(4), 521, 2002. (第30回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科
34. 阿部耕一郎, 中田真理, 縣 秀栄, 一戸達也, 金子 讓: 開口障害を伴う Escobar 症候群姉妹における抜歯時の全身管理経験, 日臨麻会誌 22(8), 228, 2002. (第22回日本臨床麻酔学会大会, 山梨県中巨摩郡)
35. 縣 秀栄, 野村 仰, 中田真理, 一戸達也, 金子 讓: Mallampati, Cormack の気管挿管難易度評価法の口腔外科患者に対する有用性, 日臨麻会誌 22(8), 228, 2002. (第22回日本臨床麻酔学会大会, 山梨県中巨摩郡)
36. 一戸達也: 「突然の意識障害とその対応」 歯科医師公開講座 シンポジウム, 日臨麻会誌 22(8), s 48, 2002. (第22回日本臨床麻酔学会大会, 山梨県中巨摩郡)

37. 南 誠二⁽¹⁾, 西村滋美⁽¹⁾, 田中賦彦⁽¹⁾, 石塚 亨⁽¹⁾, 古田裕司⁽¹⁾, 小池 修⁽¹⁾, 篠塚 修⁽²⁾, 深山治久⁽³⁾, 小長谷光⁽³⁾, 一戸達也, 縣 秀栄, 大多和由美⁽⁴⁾, 望月清志⁽⁴⁾, 辻野啓一郎⁽⁴⁾, 持永春奈⁽⁵⁾, 永塚規依⁽⁵⁾, 佐藤貞彦⁽¹⁾: 地区の障害者(児)における実態調査 食事に関する事項について, 障害者歯 23(3), 256, 2002. (第19回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌市) (1)東京都, (2)東医歯大・大学院・障害者歯科, (3)東医歯大・大学院・麻酔生体管理, (4)水病・小児歯科, (5)東家政大・家政学部調理
38. 奥田みのり, 一戸達也, 金子 讓, 久保周平⁽¹⁾, 薬師寺 仁⁽¹⁾: 歯科大学病院における計画的日帰り全身麻酔による歯科治療, 障害者歯 23(3), 286, 2002. (第19回日本障害者歯科学会総会および学術大会 札幌市) (1)小児歯
39. 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓: 日常生活における医原性疾患を考える, 平成14年度日本歯科医療管理学会関東支部総会・第8回学術大会プログラム・抄録集, 12, 2002. (第8回日本歯科医療管理学会関東支部総会・学術大会, 東京) (1)水病・麻酔科
40. 縣 秀栄, 雨宮 啓, 稲川元明, 野村 仰, 一戸達也, 金子 讓: 歯科麻酔科におけるリスクマネジメント, 平成14年度日本歯科医療管理学会関東支部総会・第8回学術大会プログラム・抄録集, 13, 2002. (第8回日本歯科医療管理学会関東支部総会・学術大会, 東京)
41. 金子 讓: パネルディスカッション血管収縮薬の功罪, 関東臨床歯科麻酔懇話会 Dr. Stanley Malamed 来日シンポジウムプログラム, 2002. (関東臨床歯科麻酔懇話会“歯科局所麻酔の現状と今後”, 東京)
42. 半田麻里子, 松浦信幸, 一戸達也, 金子 讓, 矢島安朝⁽¹⁾: アスピリン不耐症患者の抜歯時の全身管理経験, 歯科学報 102(10), 68, 2002. (第274回東京歯科学会総会, 千葉市) (1)口外
43. Kasahara, M.⁽¹⁾, Fukuda, K.⁽¹⁾, Kaneko, Y.: Analgesic effect of paroxetine for orofacial Neuropathic Pain, China - Japan Medical Conference 2002 Program & Abstracts Book, 36, 2002. (China - Japan Medical Conference 2002, Beijing, China) (1)水病・麻酔科
44. Nomura, K., Agata, H., Ichinohe, T., Kaneko, Y.: An application of intravenous sedation at the Dental College, China - Japan Medical Conference 2002 Program & Abstract Book, 36, 2002. (China - Japan Medical Conference 2002, Beijing, China)
45. 松浦信幸, 澁川義幸⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓, 鈴木 隆⁽¹⁾: 三叉神経支配領域 CO₂レーザー刺激による痛覚誘発脳磁場に対する NMDA 受容体抑制薬の効果, 第3回脳磁図ニューロイメージング抄録集, 2002. (第3回脳磁図ニューロイメージング, 岡崎市) 脳科学研 (1)生理
46. 松浦信幸, 澁川義幸⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓, 鈴木 隆⁽¹⁾: 三叉神経支配領域 CO₂レーザー刺激による痛覚誘発脳磁場に対する各種鎮痛薬剤の効果, 東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集 2003 (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) シンポジウム 脳科学研 (1)生理
47. Sakurai, S., Fukunaga, A.⁽¹⁾, Kaneko, Y., Ichinohe, T., Abe, K.: Aminophylline expedites postoperative recovery after Total Intravenous Anesthesia with Propofol and Fentanyl, 2002 ASA Meeting Abstracts, 2003. (2002 ASA Meeting, Orlando, USA) (1)Harbor - UCLA Med. Cent.

8 . 歯科補綴学第一講座

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

教授	櫻井 薫	頬粘膜圧痕の成因 (A97 0510 2), 歯科医師臨床研修システムについて
講師	杉山 哲也	下顎位認知のメカニズム (A99 0510 4)
助手	石崎 憲	義歯床による床下粘膜への機械的刺激が口腔粘膜上皮の触覚細胞に及ぼす影響 (A00 0510 5)
	赤澤 勇人	下顎義歯床下粘膜における血流変化
	浅田 智宏	有床義歯の重合方法 (A96 0510 2)
	安藤 友彦	総義歯装着者における非就眠時ブラキシズムの頻度の調査 (A00 0510 6)
	廣瀬 直己	マルチメディアを用いた老人医療病院擬似体験実習 (A99 0510 2)
	長谷川洋人	無口蓋義歯の適応基準 (A00 0510 1)
	高木 一郎	頬粘膜圧痕の成因 (A97 0510 2)
	鴨打 雅之	模型観察による咬耗と骨隆起の調査 (A99 0510 1)
病院助手	伏屋 昇	マルチメディアを用いた老人医療病院擬似体験実習 (A99 0510 2)
	山口 岳志	人工歯の被着色性について (A00 0510 4)
	早野 圭吾	オーバーデンチャーにおける支台歯の臨床評価
	加藤 一朗	
	小杉 賢史	
	下川 博之	
	中村 潤二	
大学院生	石井 治仲	クレンチングの条件と咬筋筋疲労の関係について (A00 0510 2)
	上田 貴之	咀嚼回数を決定する因子の探究
	大神浩一郎	口唇腺における刺激唾液量測定法の確立 (A00 0510 3)
	角 大輔	義歯床の表面性状と清掃性について
	小平 順可	口蓋部義歯床が嚥下に及ぼす影響について
	田原 靖章	ストレスと唾液との関係について
	清水 崇雪	
	柳澤光一郎	
専攻生	小林健一郎	オーバーデンチャーにおける支台歯の臨床評価

2 . 成果の概要

1) 歯科医師臨床研修システムについて

歯科医師臨床研修システムの中でも、特に研修施設の適正な指定基準の設定および当該施設についての客観的な第三者評価のあり方についての調査・研究を行っている。

本年度は歯科医師臨床研修および施設の第三者評価に関する考察を加えた。

日歯医教会誌 18, 180~183, 2002.

2) 下顎義歯床下粘膜における血流変化

粘膜支持や複合支持様式の義歯装着者がクレンチングを行った際の義歯床下粘膜の血流量の動態を調査することを目的として、局部義歯装着者8名(50~72歳,平均60.6歳,男性3名,女性5名)を被験者とし、レーザードップラー血流計を組み込んだ実験床を用いて片側下顎第一大臼歯相当部の義歯床下粘膜の血流量

を計測した。実験床の面積は2 cm²、荷重量は1 kgf、荷重時間は5秒、10秒、20秒、30秒および60秒とした。荷重開始から20秒経過後に血流量は安静時の15%以下となり、荷重除去後から血流量が最大値に至るまでの時間と荷重前の血流量の110%まで回復する時間は、荷重時間が長くなるにつれて有意に長くなった。この結果から、たとえ弱い力であっても持続時間の長いクレンチングは義歯床下粘膜に貧血を惹起し、また圧迫除去後の血流の回復を遅らせることが判明した。

J Oral Rehabil 29, 336~340, 2002.

3) 頬粘膜圧痕の成因 (A97 0510 2)

欠如歯のない上下顎天然歯列者21名(男性13名、女性8名、平均年齢25±3歳)を調査対象者として、臼歯部全体に圧痕の認められる群、大白歯部のみに圧痕の認められる群および圧痕の認められない群に分けた。第一小臼歯頬面中央部と第二大臼歯頬面遠心部に圧力センサーを組み込んだ実験床を用いて歯牙頬面にかかる頬粘膜の圧力を計測したところ、歯牙頬面にかかる頬粘膜の圧力は、嚥下時のみ圧痕の認められる群と認められない群との間に有意な差が存在した(P<0.05)。嚥下時に起こる頬粘膜の歯牙頬面への圧迫の強度が、頬粘膜圧痕の成因の1つであることが示唆された。

J Oral Rehabil 30, 565~572, 2003.

4) 人工歯の被着色性について (A00 0510 4)

臨床で認められる人工歯の種類による着色性の違いの評価方法を確立することと、被着色性に人工歯の表面性状が影響を与えるかどうかを解明することを目的として本研究を企画した。被験人工歯としてレジン歯(R)、特殊アクリルポリマーを使用したレジン歯(FX)、ウレタンジメタクリレート重合体を使用した従来の硬質レジン歯(EF)および含フッ素モノマーの量を増やした硬質レジン歯(PX)の4種類の人工歯を使用し、表面処理法は人工歯の重合後に全く研磨してないもの、パレル研磨を行ったものおよび硬毛、軟毛、バフにて研磨を行ったものの3種類とした。カレーおよび塩基性フクシンの各溶液に1週間浸漬する直接的な着色試験と、ヒト耳下腺唾液とウシ血清タンパク溶液に1週間浸漬するタンパク吸着試験を行った。表面性状はパレル研磨をしたものが最も表面が粗く、タンパク吸着試験においては、どの表面処理法においてもEFが著明に着色した。従来の硬質レジン歯が着色しやすいという臨床における傾向をタンパクの吸着しやすさは反映しており、タンパクの吸着性によって臨床的な被着色性を評価できることと、表面粗さが被着色性に影響を及ぼすことが判明した。

Prosthodontic Research & Practice 1, 59~65, 2002.

5) マルチメディアを用いた老人医療病院疑似体験実習 (A99 0510 2)

高齢社会を迎えた現在、大学病院に来院する患者に対する診療を学生が経験するだけでは、高齢者に対する診療について十分に教育されたとはいえない。そこで教育用WWWを充実させて学生に積極的に活用させることにより、臨床実習における高齢者に対する歯科教育の不足を補い、教育効果の向上を図ることを目的として本研究は企画された。当初予定していた老人医療センターにおける高齢者に対する介護の状況等をWeb上に載せることは、プライバシーの問題を考慮して行っていないが、教育用WWWが有効に活用されるために、学生のインターネット利用状況や我々の教育用WWWについての問題点について検討してきた。これまでに、アンケート法やサイトへのアクセス件数などから、我々の作成した教育用WWWを学生がいつどのように活用しているかや教育用WWWの技術的な問題点や望まれる修正点などについて調査した。その結果をもとに改善点を抽出し、改善できる点には改善を加え、より教育効果の高い有用な教育用WWWにするべく更新を加えている。

歯科学報 103, 130~135, 181~189, 246~253, 2003.

6) オーバーデンチャーにおける支台歯の臨床評価

オーバーデンチャーの支台歯は唾液による自浄性の低下やブラークコントロールの困難さから歯根面齶蝕

や歯周疾患になりやすいことがあげられる。支台歯の予後に関する要因を解析することを目的として、歯根面齲蝕と歯周病の罹患状況、コーピングの種類と高さを調査し、装着期間との関係について検討を加えた。調査対象はオーバーデンチャーを装着した43名（男性16名、女性27名、平均年齢65歳）とし、装着された義歯は44床、調査支台歯数は81歯であった。支台歯種やコーピングの種類によって、齲蝕罹患率および歯周炎罹患率に有意差はなかった。また支台歯の適用期間と齲蝕罹患率は、使用期間が37ヶ月以降で齲蝕罹患率が統計学的に有意に高かった（ $p < 0.01$ ）。歯周炎罹患率については、使用期間の長短による違いは認められなかった。本研究の結果から、オーバーデンチャーの支台歯のメンテナンスに関する今後の課題として、第一に齲蝕に対する予防法の導入、次に使用期間の長短に関わらず罹患率の高い歯周疾患の改善と予防の必要性が示唆された。

老年歯医 17, 300~306, 2003.

3. 科学研究補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
櫻井 薫	呼吸訓練によってストレスの結果生じるクレンチングが抑制できるか	科学研究費・基盤（B）
廣瀬 直己	高齢者に適した人工歯の咬合面形態と咬合様式の探求	科学研究費・若手（B）
杉山 哲也	マルチメディアを用いた老人病院疑似体験実習	高等教育研究改革推進経費
角 大輔	二酸化チタン薄膜 TiO ₂ 薄膜の義歯コーティング材としての応用	大学院整備重点化経費
小平 順可	義歯による口蓋被覆が嚥下に及ぼす影響	大学院整備重点化経費

4. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
櫻井 薫	2002.6.8 ~ 9	第7回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市	
櫻井 薫	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市	
廣瀬 直己	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市	

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
櫻井 薫	2002.7.13	2006年歯科医師臨床研修必修化 への道歯科医師臨床研修施設の 指定基準と第三者評価	第21回日本歯科医学教育学会 総会・学術大会	鶴見市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
櫻井 薫	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	運営委員	千葉市
櫻井 薫	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	運営委員	千葉市

テレビ出演

講演者	年月日	番組名	内容等
櫻井 薫	2002.9.3	日本テレビ「ご存じですか」	腹式呼吸によるストレスの抑制について解説

論 文

- 1 . Akazawa, H., Sakurai, K. : Changes of blood flow in the mucosa underlying a mandibular denture following pressure assumed as a result of light clenching, J Oral Rehabil **29**(4), 336 ~ 340 , 2002 . 原著
- 2 . 櫻井 薫, 瀧澤雅一⁽¹⁾, 高橋潤一⁽²⁾, 山倉大紀⁽³⁾, 片倉 朗⁽⁴⁾, 久保周平⁽⁵⁾, 片田英憲⁽⁶⁾, 一戸達也⁽⁷⁾, 伊藤彰人⁽⁸⁾, 山田 了⁽²⁾, 角田正健⁽²⁾, 石井拓男⁽⁹⁾ : 臨床研修の目標と評価 平成14年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価, 歯科学報 **102**(4), 249 ~ 270 , 2002 . 総説 (1)保存 , (2)保存 , (3)補綴 , (4)口外 , (5)小児歯, (6)矯正, (7)歯麻, (8)保存 , (9)社会歯
- 3 . 山内智博⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 古谷義隆⁽¹⁾, 野村武史⁽¹⁾, 櫻井 薫, 杉山哲也, 石崎 憲, 安藤友彦, 小林健一郎, 和光 衛⁽²⁾, 見明康雄⁽³⁾ : HA 被膜コーティングインプラントの有用性に関する実験的研究, 日本顎顔面インプラント学会誌 **1**(1), 11 ~ 16 , 2002 . 原著 (1)口外 , (2)歯放, (3)超微構造
- 4 . Misawa, S., Sakurai, K., Sugiyama, T. : Evaluation of the susceptibility to staining of artificial teeth and the influence of surface texture on staining, Prosthodontic Reserch & Practice **1**(1), 59 ~ 65 2002 . 原著
- 5 . ピケロカティウスカ, 櫻井 薫 : 義歯装着者における非就眠時ブラキシズムの診断, 歯科学報 **102**(11), 905 ~ 912 , 2002 . 症例
- 6 . 安藤友彦 : 非就眠時ブラキシズムの特性について, 歯科学報 **103**(2), 156 ~ 162 , 2003 . 原著
- 7 . 赤澤勇人, 櫻井 薫 : 下顎義歯床下粘膜における血流変化 軽度のクレンチングによる圧力を想定して , 歯科学報 **103**(2), 191 ~ 196 , 2003 . 原著
- 8 . 小林健一郎, 眞木吉信⁽¹⁾, 櫻井 薫, 杉山哲也 : オーバーデンチャーの支台歯の臨床評価, 老年歯医 **17**(3), 300 ~ 306 , 2003 . 原著 (1)衛生

そ の 他

- 1 . 長谷川洋人, 杉山哲也, 櫻井 薫 : カラーアトラス無口蓋義歯の適応基準, 歯科学報 **102**(4), 271 ~ 273 , 2002 .
- 2 . 櫻井 薫 : 臨床のヒント歯科補綴 1 リラックスさせる, 日歯広報(1260), 4 , 2002 .
- 3 . 櫻井 薫 : 臨床のヒント歯科補綴 2 無歯顎で平坦な顎堤の場合の咬合採得テクニック, 日歯広報(1261), 5 , 2002 .
- 4 . 赤澤勇人, 三澤壮太郎, 杉山哲也, 櫻井 薫 : カラーアトラス当講座における義歯の汚れに対する対応 特に硬質レジン歯に対する着色について , 歯科学報 **102**(5), 329 ~ 331 , 2002 .
- 5 . 櫻井 薫 : 臨床のヒント歯科補綴 3 歯垢染め出し液の可撤性義歯への応用, 日歯広報(1262), 6 , 2002 .
- 6 . 大神浩一郎, 角 大輔, 田原靖章, 櫻井 薫 : 新たな知識, 改められる意識 増加傾向にあるシェーグレン症候群について , 日歯評論 **62**(7), 183 ~ 185 , 2002 .

7. 石井治伸, 高木一郎, 櫻井 薫: 新たな知識、改められる意識 ソフトプリントは使用すべきではないのか? , 日歯評論 62(8), 177~179, 2002.
8. 上田貴之, 小平順可, 櫻井 薫: “患者満足を測る”, 日歯評論 62(9), 175~177, 2002.
9. 杉山哲也, 櫻井 薫: 臨床理工講座新しい概念に基づいて作製された硬質レジン歯「NC ベラシア」について, 日歯評論 62(11), 97~102, 2002.
10. 櫻井 薫: シンポジウム「2006年歯科医師臨床研修必修化への道」歯科医師臨床研修施設の指定基準と第三者評価, 日歯医教会誌 18(1), 36~37, 2002.
11. 櫻井 薫, 岩久正明^①, 橋本弘一^②, 住友雅人^②, 中原 泉^③: 研究報告歯科医師臨床研修および施設の第三者評価に関する考察, 日歯医教会誌 18(1), 180~183, 2002. (1)新潟大・大学院, (2)日歯大, (3)財団法人歯科医療研修振興財団
12. 山口岳志, 櫻井 薫, 杉山哲也: 耐着色性に優れた硬質レジン歯「ソリュートPX アンテリオ」について, 日歯評論 63(1), 115~118, 2003.
13. 伏屋 昇, 上田貴之, 廣瀬直己, 杉山哲也, 櫻井 薫, 石崎 憲, 金山 昇: 調査報告 WWW(World Wide Web)を用いた教育素材の評価と改善への取り組み 東京歯科大学学生のインターネット利用動向調査, 歯科学報 103(1), 130~135, 2003.
14. 廣瀬直己, 上田貴之, 伏屋 昇, 杉山哲也, 櫻井 薫, 石崎 憲: 調査報告 WWW(World Wide Web)を用いた教育素材の評価と改善への取り組み アンケートによる歯科補綴学第一講座WWWの評価, 歯科学報 103(2), 181~189, 2003.
15. 櫻井 薫: 歯・歯周疾患・脳梗塞, 老年歯医 17(3), 273, 2003.
16. 上田貴之, 杉山哲也, 伏屋 昇, 廣瀬直己, 櫻井 薫, 石崎 憲: 調査報告 WWW(World Wide Web)を用いた教育素材の評価と改善への取り組み 東京歯科大学学生のインターネット利用動向調査, 歯科学報 103(3), 246~253, 2003.

学会抄録

1. 小林健一郎, 杉山哲也, 眞木吉信^①, 櫻井 薫: オーバーデンチャーの支台歯の臨床評価, 日補綴歯会誌 46(107回特別号), 84, 2002. (第107回日本補綴歯科学会, 東京) (1)衛生
2. 大神浩一郎, 安藤友彦, 櫻井 薫: 口唇腺唾液量測定法の確立, 日補綴歯会誌 46(107回特別号), 172, 2002. (第107回日本補綴歯科学会, 東京)
3. 鴨打雅之, 高木一郎, 杉山哲也, 櫻井 薫: 骨隆起の成因についての検討, 顎顔面バイオメカニクス学会雑誌 8(1), 70~71, 2002. (第10回顎顔面バイオメカニクス学会, 東京)
4. 櫻井 薫: シンポジウム 2006年歯科医師臨床研修必修化への道 歯科医師臨床研修施設の指定基準と第三者評価, 日歯医教会誌 18(1), 36~37, 2002. (第21回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 横浜市)

5. 小口春久⁽¹⁾, 天笠光雄⁽²⁾, 岡野友宏⁽³⁾, 櫻井 薫, 佐々竜二⁽³⁾, 須田英明⁽²⁾, 相馬邦道⁽²⁾, 森田 学⁽¹⁾, 小椋正之⁽⁴⁾: 米国歯科医師国家試験(Part 2)の出題内容の分析, 日歯医教会21回抄集, 36, 2002. (第21回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 横浜市) (1)北大・大学院, (2)東医歯大・大学院, (3)昭和大・歯, (4)厚生省
6. 小平順可, 石崎 憲, 櫻井 薫: 口蓋板の有無と嘔吐反射の発現の程度が嚥下におよぼす影響, 日補綴歯会誌 46(108回特別号), 84, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市)
7. 田原靖章, 櫻井 薫, 安藤友彦: 実験的クレンジングによる唾液中コルチゾール濃度への影響, 日補綴歯会誌 46(108回特別号), 146, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市)
8. 大神浩一郎, 櫻井 薫, 安藤友彦: 測定前の水分摂取が安静時全唾液分泌量に及ぼす影響, 日補綴歯会誌 46(108回特別号), 197, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市)
9. 早野圭吾, 高木一郎, 安藤友彦, 伏屋 昇, 杉山哲也, 櫻井 薫, 渡辺和宏: 模型実験によるペリオテストの槌打面の角度の違いと歯の動揺度との関係, 歯科学報 102(10), 813, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
10. 和光 衛⁽¹⁾, 原田卓哉⁽¹⁾, 西川慶一⁽¹⁾, 山内智博⁽²⁾, 矢島安朝⁽²⁾, 杉山哲也, 櫻井 薫: 口内法デジタルエックス線画像を用いた骨内インプラント治療経過に伴う骨構造変化の定量解析, 歯科学報 102(10), 828, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)歯放, (2)口外
11. 角 大輔, 櫻井 薫, 杉山哲也: 二酸化チタン(TiO₂)薄膜の義歯コーティング材としての有用性第1報 食物残渣に対する清掃性の比較, 老年歯医 17(2), 220~221, 2002. (第13回日本老年歯科医学会, 広島市)
12. 大神浩一郎, 櫻井 薫, 安藤友彦: 下唇腺における唾液量測定法の確立, 老年歯医 17(2), 234, 2002. (第13回日本老年歯科医学会, 広島市)
13. 小平順可, 石崎 憲, 櫻井 薫: 口蓋被覆による嚥下時間への影響, 老年歯医 17(2), 247~248, 2002. (第13回日本老年歯科医学会, 広島市)
14. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 山中すみへ⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 石川達也⁽⁶⁾, 山田 了⁽⁷⁾, 久保周平⁽⁸⁾, 関根秀志⁽⁹⁾, 茂木悦子⁽¹⁰⁾, 矢島安朝⁽¹¹⁾, 新谷益朗⁽¹²⁾, 石崎 憲: 唾液検査とオーダーメイド治療, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 54, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)臨検査, (2)病理, (3)理工, (4)衛生, (5)生理, (6)保存, (7)保存, (8)小児歯, (9)補綴, (10)矯正, (11)口外, (12)脳科学研究施設
15. 杉山哲也, ピケロカティウスカ, 櫻井 薫, 丸山剛郎⁽¹⁾, 赤澤勇人, 安藤友彦, 高橋 賢⁽²⁾: 下顎位認知および下顎随意運動における脳活動部位の解析, 東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 15, 86~87, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)脳科学研究施設, (2)保存
16. 上田貴之, 櫻井 薫, 杉山哲也: 咀嚼回数を決定する因子の探求(第3報), 日咀嚼会誌 12(2), 114~115, 2003. (第13回日本咀嚼学会, 横浜市)

17. 石井治伸, ピケロカティウスカ, 櫻井 薫: 持続的な弱いクレンチングによる咬筋筋疲労について 第3報 健常者標準曲線の有用性, 日顎関節会誌 15(1), 127, 2003. (第15回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京)
18. 田原靖章, 櫻井 薫, 安藤友彦: チューイングによる唾液中コルチゾール濃度への影響, 日顎関節会誌 15(1), 129, 2003. (第15回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京)

9. 歯科補綴学第二講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	佐藤 亨	全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究 (A00 0520 1) 口腔の状態と睡眠についての研究 (A03 0520 4)
嘱託教員 (名誉教授)	腰原 好	顎機能障害者の咬合接触点の診査・診断法と治療法に関する研究 (A92 0520 1)
助教授	齋藤 文明	咬合器の調節機構 (A96 0520 1)
講師	高橋 俊之	インプラント施術後の補綴処置 (A86 0520 3)
助手	吉村 浩一	歯科領域における情報伝達 (A96 0520 4)
	久永 竜一	歯の透明感の評価と伝達 (A97 0520 1)
	三宅菜穂子	補綴材料への口腔内細菌の吸着に関する実験的研究 (A91 0520 2) 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響 (HRC5A03)
	山田 敏勝	ブリッジの適合性 (A95 0520 2)
	三穂 乙暁	歯冠用硬質レジンと金属との接着性に関する研究 (A98 0520 1) 歯科用金属の電気的活動性に関する研究 (A02 0520 2)
	金井 由紀	歯冠色修復材料の表面処理方法と接着性に関する研究 (A99 0520 1)
	平地 正茂	8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性 (A02 0520 3)
	鈴木 雅亨	歯冠色修復材料の表面処理方法と接着性に関する研究
大学院生	菊池 建司	咬合点の違いによる下顎頭の運動変化に関する研究 (A96 0520 6)
	沼澤 成文	咀嚼運動に同期した頭部運動の三次元的様相 (A00 0520 2)
	野本俊太郎	各種象牙質接着システムの補綴領域への応用に関する研究 (A96 0520 5, A03 0520 2)
病院助手	鈴木 雄太	インプラント周囲組織の感覚機構に関する研究
	天崎 光宏	歯科用金属の電気的活動性に関する研究 (A02 0520 2)
	園田 圭介	8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性 (A02 0520 3)

2. 成果の概要

1) 全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究 (A00 0520 1)

本年度は、前年度計測した全身、顎口腔系及び平衡機能障害に自覚的異常のない青年男子43名に加え、同じく水泳を日常スポーツとしている者28名について、全身写真撮影により体の形態的状态を観察し、比較検討した。測定条件は、開眼時と閉眼時における歯牙接触位と咬頭嵌合位とし、重力線を基準に、肩（左右肩峰）、腰（左右上前腸骨棘）の高さの差と偏位量、頭蓋（ナジオン相当の鼻根部と人中下点を結んだ線）の傾斜と偏位量、頭蓋（ナジオン相当の鼻根部と人中下点を結んだ線）と下顎（人中下点と頤下点を結んだ線）の角度差の測定を行った。両者の各条件における、Q1、Q3区間（中央50%区間）では、青年男子において、肩は若干右が高く、中心は左にずれる傾向で、腰も右が高い傾向にあるが、中心は肩に比較してほぼ重力線に近いという結果であった。また、水泳スポーツ者においては、肩は右が高く、腰はほぼ水平になる傾向で、中心は、肩は重力線に近く、腰は右側偏位の傾向であった。また、顔面部では、各計測値ともに水泳スポーツ者の方が、青年男子に比較して傾きやずれが少ないという結果であった。また開眼咬頭嵌合位

の条件では、他の条件に比較して、Q1, Q3 区間は最も小さいという結果であった。

2) 口腔の状態と睡眠についての研究 (A03 0520 4)

口腔内状態と睡眠の関係、睡眠と健康の関係に関する報告は多いが、口腔内咬合状態と睡眠との関係に関する研究報告は少ない。特に高齢者の多くが使用している義歯の就寝時の取り扱いに関しては、義歯を取り外して就寝する指導と、義歯を使用して就寝する指導の相反する2つの指導がある。しかし、これらの指導は経験則にて行われており、義歯の使用あるいは咬合関係の確保が、睡眠状態、睡眠の質にどのような影響を与えているかを考慮したものではない。そこで義歯の使用の有無による咬合確保と睡眠状態および睡眠の質との関係を解明するために研究方法の確立とその検討を行った。

3) インプラント施術後の補綴処置に関する研究 (A86 0520 3)

昭和59年9月より多孔質アルミナセラミックインプラントを臨床応用し、単独あるいは天然歯と連結した形で上部補綴物を装着し、その経過を各種診査法を用いて追っている。現在最長経過例は17年以上になる。また、ハイドロキシアパタイト被覆2回法インプラントを平成元年3月より約40症例に応用した。現在最長経過例は12年以上になる。これらの研究を本学歯科保存学第一講座と共同で行っている。

また、平成11年よりウメオ大学歯学部補綴科の Johan Gunne 教授 (スウェーデン) らと、上部補綴物の適合性に関する共同研究も開始した。さらに、Branemark システムと Ankylos システムについても、同様の検討を行う予定である。

3タイプの上部構造を応用したいずれのインプラント体も、臨床的に良好な経過を示している。

インプラント連結・術者可撤式タイプの1症例において、フィクスチャーの近心側歯頸部に骨吸収がみられた症例については、処置後骨のさらなる吸収は認められず落ち着いた経過を取っている。

8年以上経過した3症例4本のアパットメントに破折を認めたが、交換修理し現在問題なく経過している。しかし、なお今後も十分な経過観察が必要と思われる。

4) 補綴材料への口腔内細菌の吸着に関する実験的研究 (A91 0520 2)

これまで補綴材料表面に対する口腔内細菌の吸着の機序を明らかにすることを目的とし、口腔内細菌と補綴材料の界面化学的性質をゼータ電位の測定によって調べ、補綴材料への吸着実験によって、界面における口腔内細菌の初期挙動を明らかにしそれぞれのゼータ電位の所見との関連を考察してきた。本年度は口腔内細菌のゼータ電位の測定を行った。本学衛生学講座保存の17種類を供試菌株とし、Brain Heart Infusion 液体培地で37℃静地培養し、それぞれの発育曲線を描き、静止期初期から菌体を集め実験に供した。菌体を pH 7.0 のリン酸緩衝生理食塩液で3回洗浄後、同液に懸濁させ菌体表面のゼータ電位を電気泳動光散乱光度計 (ELS-800 大塚電子社製) で測定した。今後は補綴材料と相互作用をもつと考えられる血清アルブミンを添加することによって、補綴材料へのタンパク質の吸着性の評価、コーティングによる吸着防止などについて検討したい。

日補綴歯会誌 46 (第107回特別号), 164, 2002。

5) 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響 (HRC5A03)

本研究はヒドロキシアパタイト表面に対する唾液タンパクと口腔内細菌の吸着、ヒドロキシアパタイト表面へのレーザー照射による唾液タンパクと口腔内細菌の吸着阻止効果を明らかにすることを目的とし、本年度はヒドロキシアパタイト表面への唾液タンパクの吸着実験と除去実験に先立ち、ヒドロキシアパタイトに対するレーザー照射の影響を界面化学的に明らかにするために照射前後のゼータ電位を測定することにした。

レーザーには GaAlAs 半導体ダイオードレーザー LD15 (波長: 810nm, Dentek Laser Systems Production 社製) を使用し、ヒドロキシアパタイトへの照射は $0.0238\text{J}/\text{m}^2$ のエネルギー密度で行ったところレーザー照射群とコントロール群のゼータ電位に差は認められなかった。

6) 8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性 (A02 0520 3)

咬合の不調和は顎口腔系にとどまらず、身体機能に広範な影響を及ぼす可能性が示唆されているが、その因果関係については未だ明らかとはいえない。そこで8分割パラサマー、ナソヘキサグラフ、オクルーザーを用いて、その分布状態と咬頭嵌合位における体重8分割バランスとの関連を検討する。

7) 咬合点の違いによる下顎頭の運動変化に関する研究 (A96 0520 6)

補綴処置を行うにあたり、現存の下顎位を変更する必要性のある患者に遭遇することは少なくない。

特に歯の移動や高度な咬耗によって咬合高径の挙上を余儀なくされ、新たに咬合を構築しなければならない場合がある。このような症例に対しては、上下顎歯列および下顎頭や関節円板を含めた解剖学的要素の他に、神経筋機構を考慮する必要があると考えられる。そこで顎機能に異常を認めない正常有歯顎者に対して、咬合高径を変化した際の下顎運動を、特にタッピング運動について検討を行った。

日補綴歯会誌 46, 426, 2002.

日補綴歯会誌 46 (108回特別号) 61, 2002.

8) 咀嚼運動に同期した頭部運動の三次元的様相 (A00 0520 2)

歯科領域で咬合採得や咬合調整等における頭位の設定はいまだ統一した見解はなく、術者によって任意に設定されているのが現状である。最近、咀嚼運動は全身のなかでバランスを保ちながら行われると考えられてきている。そこで下顎開閉口運動もしくは咀嚼運動を行わせた際の下顎頭の運動を三次元的に解析し、正常者の運動様相をとらえることにより、より詳細な下顎運動に伴う頭部運動の様相が明らかにでき、これにより頭位の設定や全身咬合という考えのなかでの咀嚼運動を解明する一助となると考えられる。

日全身咬合会12回プログラム・抄集, 2002.

3. 研究活動の特記すべき事項

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
佐藤 亨	2003.2.9	審美と機能	第11回千葉県歯科医学会	千葉市

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究 課 題	研究 費
三宅菜穂子	pH タイトレーションを用いた補綴材料への口腔内細菌の吸着性および洗浄効果	科学研究費・若手 (B)
佐藤 亨	全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究	科学研究費・基盤 (B)

5. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地	備 考
佐藤 亨	2002.10.11	臨床教育研修 補綴治療のスキルアップ	第108回日本補綴歯科学会学術大会	名古屋市	
佐藤 亨	2002.7.4	咬合を考えるためのからだのみかたとその対応法	平成14年度東京都歯科医師会卒後研修セミナー	東京	

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
山田 敏勝	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市	
相原 一之	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市	
高橋 俊之	2002.11.9 ~ 10	平成14年度第2回共用試験歯学 OSCE ワークショップ	参加者	岡山市	

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
佐藤 亨	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	運営委員	千葉市
久永 竜一	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	誘導責任者	千葉市
高橋 俊之	2003.1.18	平成14年度東京医科歯科大学 歯学部共用試験歯学 OSCE トライアル	外部評価者	東京
佐藤 亨	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	運営委員	千葉市

論 文

- 1 . Nagasaka, H.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽¹⁾, Takaesu, Y.⁽¹⁾, Kobayashi, Y.⁽¹⁾, Satou, T., Ishikawa, T.⁽²⁾: Changes and equalization in hearing level induced by dental treatment and instruction in bilaterally equalized cheing : A clinical report, Bull Tokyo Dent Coll **43**(4), 243 ~ 250, 2002 . 症例 脳科学研 (1)衛生, (2)保存
- 2 . Takahashi, T., Gunne, J.⁽¹⁾: Fit of implant frameworks : an in vitro comparison between two fabrication techniques, J Prothet Dent **89**(3) 256 ~ 260, 2003 原著 (1)Faculty of Medicine and Odontology, Umea University

単行図書

- 1 . 佐藤 亨^(a), (b): 著分担: 接着歯学 Minimal Intervention を求めて (a)臨床編 5章歯冠の崩壊(生活歯) 12 . 臼歯[1]概説 50頁, (b)臨床編 5章歯冠の崩壊(生活歯)12 . 臼歯[2]処置法 1 . 間接法 1)メタル被覆冠 51 ~ 52頁, 医歯薬出版, 東京, 2002 .
- 2 . 齋藤文明^(a): 著分担: 歯科審美学基礎編 (a)第5章 歯科審美の対象となる病態 3 . 歯科審美の対象となりうる歯列の異常 160 ~ 163頁, 永末書店, 京都市, 2002 .

そ の 他

- 1 . 佐藤 亨: レジンの研磨即時重合レジン(テンポラリーブリッジ)の研磨, 臨床でいきる研磨のすべて(歯科技工別冊), 76 ~ 79, 2002 .
- 2 . 三宅菜穂子: 補綴材料およびアパタイト表面への唾液タンパクの吸着を阻止するべきか, 平成13年度科学研究費奨励研究(A)研究実績報告書, 2002 . 科学研究費12771196, A91 0520 2
- 3 . 松久保 隆⁽¹⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 石川達也⁽²⁾, 佐藤 亨, 杉原直樹⁽¹⁾: 咬合咀嚼機能は聴力に影響を与えているか 臨床統計的解析 , 平成14年度8020公募研究事業研究報告書, 149 ~ 152, 2003 . 脳科学研 (1)衛生, (2)保存
- 4 . 石川達也⁽¹⁾, 松久保 隆⁽²⁾, 高江洲義矩⁽²⁾, 長坂 斉⁽²⁾, 中村昭二⁽²⁾, 小林義昌⁽²⁾, 吉田友明⁽³⁾, 佐藤 亨: 咬合関連性聴力低下 5 分類症例の聴力レベルの特徴 臨床統計学的解析 , 平成13年度老年歯科医学総合研究所助成報告書, 1 ~ 5, 2003 . (1)保存 , (2)衛生, (3)老年歯科医学総合研究所

学会抄録

- 1 . 長坂 斉⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨, 石川達也⁽²⁾: 咬合が関連すると思われる難聴の診断および咬合改善処置 気導および骨伝導聴力の向上症例について , 日歯保存誌 **45**(春季特別号), 163, 2002 . (第116回日本保存歯科学会学術大会, 東京) (1)衛生, (2)保存
- 2 . Abe, S.⁽¹⁾, Watanabe, Y.⁽²⁾, Tokioka, T.⁽¹⁾, Satou, T., Tazaki, M.⁽³⁾, Matsukubo, T.⁽⁴⁾, Yamane, G.⁽²⁾, Ide, Y.⁽¹⁾, Yamada, Y.⁽⁵⁾, Shimono, M.⁽⁶⁾, Ishikawa, T.⁽⁷⁾: Investigation of central control during voluntary deglutition, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 104 ~ 106, 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) 3A01 脳科学研 (1)解剖, (2)市病・オーラルメディスン, (3)生理, (4)衛生, (5)脳科学研究施設, (6)病理, (7)保存

- 3 . Yajima, Y.⁽¹⁾, Tazaki, M.⁽²⁾, Takeda, E.⁽¹⁾, Abe, S.⁽³⁾, Inoue, T.⁽⁴⁾, Katakura, A.⁽¹⁾, Ide, Y.⁽³⁾, Satou, T., Kakizawa, T.⁽⁵⁾: The primary gustatory area in the human cerebral cortex examined by magnetoencephalography (MEG): Differences caused by gustatory qualities, stimulus densities, thermal stimulus in active location and variation in reaction time, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 106 ~ 107, 2002. (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) 3A02 脳科学研 (1)口外, (2)生理, (3)解剖, (4)臨検査, (5)水病・口外科
- 4 . Ishikawa, T.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Oda, Y.⁽³⁾, Satou, T., Muramatsu, T.⁽²⁾, Matsuzaka, K.⁽⁴⁾, Miyake, N., Hattori, M.⁽³⁾, Takahashi, K.⁽¹⁾: Influences of laser on activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 138 ~ 139, 2002. (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) H R C 3A07 (1)保存, (2)病理, (3)理工, (4)臨検査
- 5 . 三宅菜穂子, 佐藤 亨, 眞木吉信⁽¹⁾: 歯冠用硬質レジンのゼータ電位の測定, 日補綴歯会誌 **46**(107回特別号), 164, 2002. (第107回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市) A 91 0520 2 (1)衛生
- 6 . Satou, T., Ishikawa, T.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽²⁾, Yumoto, M.⁽³⁾, Yoshimura, K., Kobayashi, Y.⁽²⁾, Nagasaka, H.⁽²⁾: Prompt improvement hearing ability and mandibular movement by muscle manipulation, 51. Jahrestagung der Deutschen Gesellschaft für Zahnärztliche Prothetik und Werkstoffkunde e. V., 51, 2002. (51. Jahrestagung der Deutschen Gesellschaft für Zahnärztliche Prothetik und Werkstoffkunde e. V., Dresden, Germany) A 00 0520 1 脳科学研 (1)保存, (2)衛生, (3)脳科学研究施設, 客員教授
- 7 . 菊池建司, 佐藤 亨, 齋藤文明, 高宮紳一郎⁽¹⁾, 中野正博⁽¹⁾: 体位の違いが習慣性閉口路に及ぼす影響, 日補綴歯会誌 **46**(3), 426, 2002. (平成13年度日本補綴歯科学会東関東支部総会第5回学術大会, 水戸市) 脳科学研 (1)東京都
- 8 . 鈴木雄太, 井上 孝⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 下野正基⁽³⁾, 佐藤 亨: インプラント周囲組織におけるメルケル細胞および神経組織の動態, 歯科学報 **102**(6), 518, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 実動施設 (1)臨検査, (2)生理, (3)病理
- 9 . Suzuki, Y., Inoue, T.⁽¹⁾, Tazaki, M.⁽²⁾, Shimono, M.⁽³⁾, Satou, T.: A study on sensory system of the peri - implant tissue behavior of merkel cell and nerve tissue, The Merkel Cell Structure - Development - Function - Concerogenesis, 37 ~ 40, 2002. (International Merkel Cell Symposium, Hamburg, Germany) 細形研 実動施設 (1)臨検査, (2)生理, (3)病理
- 10 . 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨, 湯本真人⁽²⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 古賀 寛⁽¹⁾, 石川達也⁽³⁾: 噛みしめによる聴覚野応答への影響, 口腔衛会誌 **52**(4), 588 ~ 589, 2002. (第51回日本口腔衛生学会・総会, 大阪市) 脳科学研 (1)衛生, (2)東大・医・検査部神経生理, (3)保存
- 11 . Kobayashi, Y.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽¹⁾, Satou, T., Nagasaka, H.⁽¹⁾, Sugihara, N.⁽¹⁾, Yumoto, M.⁽²⁾, Ishikawa, T.⁽³⁾: The effect of cotton roll biting on auditory evoked magnetic fields, 1st International Congress on Mastication and Health Program and Abstracts, 100, 2002. (1st International Congress on Mastication and Health, Yokohama) 脳科学研 (1)衛生, (2)東大・医・検査部神経生理, (3)保存

12. 富田友美子⁽¹⁾, 三宅菜穂子, 石川博美⁽²⁾: ラット唾液腺における脂質と脂肪酸組成, 第41回日本油化学会年会講演要旨集, 200, 2002. (第41回日本油化学会年会, 武蔵野市) A89 0120 1 生薬研実動施設 (1)生化学, (2)文教大・教育
13. 菊池建司, 佐藤 亨, 齋藤文明, 高橋俊之, 柴山謹一郎⁽¹⁾, 佐瀬俊之⁽²⁾: 体位の違いが習慣性閉口路に及ぼす影響, 日補綴歯会誌 **46**(108回特別号), 61, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市) (1)東京都, (2)千葉県
14. 石川達也⁽¹⁾, 佐藤 亨, 下野正基⁽²⁾, 石井拓男⁽³⁾, 吉田友明⁽⁴⁾, 飯島国好⁽⁴⁾, 巽浩一郎⁽⁵⁾, 相原一之: 咬合と睡眠との関連性について, 日補綴歯会誌 **46**(108回特別号), 201, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市) (1)保存, (2)病理, (3)社会歯, (4)東京都, (5)千葉大・院・呼吸器
15. 佐藤 亨, 野口祐輔, 平地正茂, 本間留美果, 久永竜一, 山田敏勝, 石川達也⁽¹⁾, 吉田 実⁽²⁾, 松原秀憲⁽³⁾, 近常 正⁽³⁾: 水泳を日常スポーツとしている人における体重8分割値の変動について, 日補綴歯会誌 **46**(108回特別号), 202, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市) (1)保存, (2)東京医療専門学校, (3)岡山県
16. 鈴木祥子⁽¹⁾, 茂木悦子⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 宮崎晴代⁽¹⁾, 野村真弓⁽¹⁾, 金子幸生⁽¹⁾, 清水貴子⁽¹⁾, 竹内史江⁽¹⁾, 山口尊生⁽¹⁾, 早川浩太郎⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 野口祐輔, 佐藤 亨, 関口 基⁽²⁾: 4分割バランス体重計による8020達成者の姿勢について, 日矯正歯会61回抄集, 139, 2002. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) A89 0120 1 (1)矯正, (2)千葉市
17. 鈴木祥子⁽¹⁾, 茂木悦子⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 宮崎晴代⁽²⁾, 野村真弓⁽¹⁾, 金子幸生⁽¹⁾, 清水貴子⁽¹⁾, 竹内史江⁽¹⁾, 山口尊生⁽¹⁾, 早川浩太郎⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 野口祐輔, 佐藤 亨, 平井義人⁽³⁾, 石川達也⁽³⁾, 関口 基⁽⁴⁾: 8020達成者におけるバランス体重計による重心変動について, 歯科学報 **102**(10), 833, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)矯正, (2)水病・矯正科, (3)保存, (4)千葉県
18. 鈴木雄太, 井上 孝⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 下野正基⁽³⁾, 佐藤 亨: インプラント周囲組織のメルケル細胞および神経組織の動態, 日本口腔インプラント学会第22回関東甲信越支部総会学術大会プログラム抄録集, 26, 2002. (日本口腔インプラント学会第22回関東甲信越支部総会学術大会, 東京) 細形研 実動施設 (1)臨検査, (2)生理, (3)病理
19. 沼澤成文, 佐藤 亨, 平地正茂, 野口祐輔, 相原一之, 吉田 実⁽¹⁾, 石川達也⁽²⁾: 咀嚼運動に伴う頭部運動について, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 38, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) (1)東京医療専門学校, (2)保存
20. 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨, 湯本真人⁽²⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 石川達也⁽³⁾: コットンロールの噛みしめによる聴覚野応答への影響, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 62, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) 脳科学研 (1)衛生, (2)東大・医・検査部神経生理, (3)保存
21. 野本俊太郎, 亀山敦史⁽¹⁾, 中澤妙衣子⁽¹⁾, 天谷哲也⁽¹⁾, 河田英司⁽²⁾, 小田 豊⁽²⁾, 平井義人⁽¹⁾, 佐藤 亨: 過酸化物を作用させた象牙質に対する4-META/MMA-TBBレジンの接着, 接着歯学 **20**(4), 288~289, 2002. (第21回日本接着歯学会学術大会, 新潟市) A03 0520 2 細形研 (1)保存, (2)理工

- 22 . 阿部伸一⁽¹⁾, 渡邊 裕⁽²⁾, 時岡孝寛⁽¹⁾, 佐藤 亨, 田崎雅和⁽³⁾ 松久保 隆⁽⁴⁾, 山根源之⁽²⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 山田好秋⁽⁵⁾, 下野正基⁽⁶⁾, 石川達也⁽⁷⁾: 脳磁図計による中枢性嚥下誘発部位の検索, 歯科学報 **103**(1), 20, 2003 . (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 3A01 脳科学研 (1)解剖, (2)市病・オーラルメディシン, (3)生理, (4)衛生, (5)脳科学研究施設, (6)病理, (7)保存
- 23 . 松久保 隆⁽¹⁾, 小林義昌⁽¹⁾, 佐藤 亨, 長坂 斉⁽¹⁾, 古賀 寛⁽¹⁾, 湯本真人⁽²⁾, 石川達也⁽³⁾: 咀嚼筋位, 咬合位および顎関節頭位の変化と聴覚野応答, 歯科学報 **103**(1), 33 ~ 34, 2003 . (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3A10 脳科学研 (1)衛生, (2)東大・医・検査部神経生理, (3)保存
- 24 . 佐藤 亨, 石川達也⁽¹⁾, 松久保 隆⁽²⁾, 湯本真人⁽³⁾, 吉村浩一, 小林義昌⁽²⁾, 長坂 斉⁽²⁾: 咀嚼習癖と聴力変化との関連性について, 歯科学報 **103**(1), 34 ~ 35, 2003 . (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3A11 脳科学研 (1)保存, (2)衛生, (3)東大・医・検査部神経生理
- 25 . 石川達也⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 小田 豊⁽³⁾, 佐藤 亨, 村松 敬⁽²⁾, 松坂賢一⁽⁴⁾, 三宅菜穂子, 服部雅之⁽³⁾, 高橋 賢⁽¹⁾, 太田一正⁽⁵⁾: 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響, 歯科学報 **103**(1), 50, 2003 . (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)保存, (2)病理, (3)理工, (4)臨検査, (5)生化学
- 26 . Abe, S.⁽¹⁾, Watanabe, Y.⁽²⁾, Satou, T., Tazaki, M.⁽³⁾, Matsukubo, T.⁽⁴⁾, Yamane, G.⁽²⁾, Ide, Y.⁽¹⁾, Yamada, A.⁽⁵⁾, Shimono, M.⁽⁶⁾, Ishikawa, T.⁽⁷⁾: Investigation of central control during voluntary deglutition, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 71 ~ 73, 2003 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC 3A01 脳科学研 (1)解剖, (2)市病・オーラルメディシン, (3)生理, (4)衛生, (5)脳科学研究施設, (6)病理, (7)保存
- 27 . Matsukubo, T.⁽¹⁾, Kobayashi, Y.⁽¹⁾, Satou, T., Nagasaka, H.⁽¹⁾, Koga, H.⁽¹⁾, Yumoto, M.⁽²⁾, Ishikawa, T.⁽³⁾: The effect of positioning of the chewing - muscle, occlusion and TMJ on AEFs, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 87 ~ 89, 2003 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba, Japan) HRC3A10 脳科学研 (1)衛生, (2)東大・医・検査部神経生理, (3)保存

10. 歯科補綴学第三講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	岸 正孝	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85 0530 1)
	安達 康	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
助教授	嶋村 一郎	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)
講師	堀田 宏巳	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	山倉 大紀	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)
	辻 吉純	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85 0530 1)
	関根 秀志	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85 0530 1)
助手	鈴木 浩樹	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	野村 貴生	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	森下亜矢子	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	荒瀧 友彦	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	宮下 有恒	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	赤堀 仁則	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
病院助手	田口 達夫	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	井上 敬介	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85 0530 1)
	安達 亮	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)
	山崎 宙	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85 0530 1)
	長野 泰弘	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)
大学院生	高梨 聖敏	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	武藤 功英	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)
	山田 淳	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	神庭 光司	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)
	早川 正哉	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)
	本間 慎也	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)
	井本 裕之	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83 0530 1)

2. 成果の概要

1) 骨結合インプラントの基礎的、臨床的研究 (A83 0530 1)

曲線状に配置された fixture に対する上部構造の設計に関して、総 fixture 間距離の変化と、fixture の埋入個数および位置の条件が、fixture 周囲緻密骨の応力分布に及ぼす影響について有限要素法解析を用いて検討を行った。その結果、遊離端荷重に対して、荷重側最遠心 fixture 周囲緻密骨の最大応力値は、総 fixture 間距離の減少に伴い著しく増大した。また、fixture の埋入個数が最大応力値に及ぼす影響は少なかったが、fixture の位置的条件の変化に伴う引張り応力の分布様相に差異が認められ、設計によっては荷重側最遠心 fixture に過重負担をもたらす危険性が示唆された。

歯科学報 102, 719~731, 2002.

東京歯科大学千葉病院において Branemark implant を適用された患者367例について、それらの症例に埋入された fixture 1, 487本を調査対象とし、上部構造装着後1年未満, 1~3年, 3~5年, 5~7年, 7~10年および10年以上のそれぞれの期間に行われた fixture の機能残存率および除去率を算出した。その結

果，1．上部構造装着後の fixture の除去率は，上顎では約13%，下顎では約2％であることが認められた．2．症例あたりの除去 fixture は，上顎では約23%，下顎では約6％であることが認められた．3．除去症例の平均除去本数は，上顎では1.8本，下顎では1.2本であることが認められた．4．上顎における fixture の除去は，その約80％が装着後1年未満に集中するが，下顎における fixture の除去には，経過期間の特徴が現れなかった．

歯科学報 102，779～786，2002．

2) 可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85 0530 1)

歯列における咬合状態の評価には，咬合力の分布状態を把握することのできるデンタルプレスケールが利用されているが，プレスケールの介在条件が咬合力の分布状態にどのような影響を及ぼすかについては不明な点が多い．そこで，プレスケールの前後的介在条件が咬合力計測値に及ぼす影響について検討した．その結果，プレスケールを用いて歯列内の咬合力の分布状態を把握しようとする場合には，プレスケールの咬合力検出特性を理解し，複数の介在条件による咬合力計測値の比較検討が必要となる可能性が高いことが示唆された．

日全身咬合会12回プログラム抄集 65，2002．

3) 可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85 0530 2)

下顎を殴打された場合に歯列を介して上顎，頭蓋に伝達される衝撃は，様々なシート状材料を介在させることによりどのような影響を受けるのか，衝撃加速度を計測することにより検討を試みた．その結果，上顎や頭蓋に対する衝撃の伝達が遅延するのは，衝撃発生時に試料の圧縮変形が生じるためと考えられ，伝達の遅延は衝撃値を小さくするので，下顎に与えられた衝撃が上顎や頭蓋に伝達するのを緩和するためには，シリコーンゴムやθ-6 GEL の咬合面介在が好ましいと判断された．

顎顔面バイオメカニクス学会誌 8，61～62，2002．

3．研究活動の特記すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
鈴木 浩樹	2003.5.11	技工技術セッション インプラント補綴における オーラルデザイン 技工 サイドと臨床サイドのチーム コミュニケーション “インプラントの基本技術と 情報の共有”	第107回日本補綴歯科学会 学術大会	東京

4．教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
安達 康	2003.5.10	臨床教育研修補綴治療のスキル アップ 床基底面の表現	第107回日本補綴歯科学会 学術大会	東京

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
嶋村 一郎	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
鈴木 浩樹	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
嶋村 一郎	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	ST3 責任者	千葉市

論 文

1. Sumida, S., Ishihara, K.⁽¹⁾, Kishi, M., Okuda, K.⁽¹⁾: Transmission of periodontal disease - associated bacteria from teeth to osseointegrated implant regions, *Int J Oral Maxillofac Implants* **17**(5), 696 ~ 702, 2002 .
臨床 A 83 0530 1, 学位論文 (1)微生物
2. 宮下有恒, 荒瀧友彦, 野村貴生⁽¹⁾, 鈴木浩樹, 熱田俊一, 堀田宏巳⁽¹⁾, 嶋村一郎, 安達 康⁽¹⁾, 岸 正孝:
東京歯科大学病院におけるOsseointegrated Implant の臨床評価(第3報) インプラント症例の長期観察
に基づく fixture の機能残存率 , 歯科学報 **102**(10), 779 ~ 786, 2002 . 原著 A 83 0530 1 (1)水病・補綴科
3. 荒瀧友彦, 熱田俊一, 宮下有恒, 森下亜矢子, 野村貴生⁽¹⁾, 関根秀志, 山倉大紀, 嶋村一郎, 岸 正孝:
インプラント義歯における fixture の埋入条件が周囲骨組織の応力分布に及ぼす影響 遊離端ブリッジ
に関する二次元有限要素法解析 , 歯科学報 **102**(9), 719 ~ 731, 2002 . 原著 A 83 0530 1 (1)水病・補綴科

そ の 他

1. 小宮山彌太郎: インプラントを成功させるためのベーシックスメーカーのマニュアルにはないテクニカル
ポイント 第28回質問にお答えして その4 , *Quintessence Dent Imp* **9**(3), 404 ~ 407, 2002 .
2. 小宮山彌太郎: インプラントを成功させるためのベーシックスメーカーのマニュアルにはないテクニカル
ポイント 第29回質問にお答えして その5 , *Quintessence Dent Imp* **9**(4), 544 ~ 547, 2002 .
3. 小宮山彌太郎: インプラントを成功させるためのベーシックスメーカーのマニュアルにはないテクニカル
ポイント 第30回質問にお答えして その6 , *Quintessence Dent Imp* **9**(5), 680 ~ 683, 2002 .
4. 小宮山彌太郎: インプラントを成功させるためのベーシックスメーカーのマニュアルにはないテクニカル
ポイント 第31回おわりに , *Quintessence Dent Imp* **9**(6), 824 ~ 825, 2002 .

学会抄録

1. 安達 康⁽¹⁾: 補綴診療のスキルアップ 床基底面の表現 , 日補綴歯会誌 **46**(107回特別号), 41, 2002 .
(第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京) (1)水病・補綴科
2. 鈴木浩樹, 斉木好太郎⁽¹⁾: 技工技術セッションインプラント補綴におけるオーラルデザイン 技工サイドと
臨床サイドのチームコミュニケーション “インプラントの基本技術と情報の共有”, 日補綴歯会誌 **46**
(107回特別号), 46, 2002 . (第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京) (1)ラボラトリーオブプリンシピア
3. 安達 康⁽¹⁾: 診療録(カルテ)のあり方と取り巻く問題点, 歯科学報 **102**(6), 501, 2002 . (第273回東京歯科大学
学会例会, 千葉市) (1)水病・補綴科
4. 早川正哉, 赤堀仁則, 森下亜矢子, 荒瀧友彦, 山倉大紀, 嶋村一郎, 岸正 孝: 咬合面を介して伝達される
衝撃とその緩和 種々のシート材料の特性について , 顎顔面バイオメカニクス学会雑誌 **8**(1), 61 ~
62, 2002 . (第10回顎顔面バイオメカニクス学会, 東京) A85 0530 2
5. Sekine, H., Shibukawa, Y.⁽¹⁾, Suzuki, T.⁽¹⁾, Kishi, M., Ishikawa, T.⁽²⁾: The active of area 3a following priodontal
mechanical stimulation, *Proceedings of 13th International Conference of Biomagnetism*, 433, 2002 .
(13th International Conference of Biomagnetism, Jena, Germany) HRC3B08 脳科学研 (1)生理, (2)保存

6. 関根秀志, 荒瀧友彦, 嶋村一郎, 岸 正孝, 鈴木 隆⁽¹⁾, 澁川義幸⁽¹⁾, 石川達也⁽²⁾: 歯牙への被圧状態の認識に関わる中枢の活動, 日補綴歯会誌 **46**(108回特別号), 144, 2002. (第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋市) HRC3B08 脳科学研 (1)生理, (2)保存
7. 赤堀仁則, 吉田浩一, 森下亜矢子, 宮下有恒, 鈴木浩樹, 辻吉 純, 嶋村一郎, 安達 康⁽¹⁾, 岸 正孝: 新考案のインプラント印象法における作業用模型の寸法精度に関する研究(第一報), 歯科学報 **102**(10), 799, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 83 0530 1 (1)水病・補綴科
8. 古屋元之, 鈴木伸宏, 岸 正孝: 通常は保存不可能と思われる歯に外科的挺出あるいは意図的再植を応用した症例, 歯科学報 **102**(10), 821, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
9. 本間慎也, 荒瀧友彦, 辻吉 純, 山倉大紀, 堀田宏巳⁽¹⁾, 嶋村一郎, 岸 正孝, 佐々木眞澄: 歯根破折に対するポストの設計に関する力学的考察その1 二次元有限要素解析, 歯科学報 **102**(10), 842, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 85 0530 2 (1)水病・補綴科
10. 安達 亮, 井上敬介, 辻吉 純, 山倉大紀, 嶋村一郎, 岸 正孝, 坂本道世⁽¹⁾: デンタルプレスケールの介在条件が咬合力計測値に及ぼす影響, 歯科学報 **102**(10), 843, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 85 0530 2 (1)東京都
11. 早川正哉, 荒瀧友彦, 岸 正孝: 咬合面を介して伝達される衝撃についての検討, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 64, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) A 85 0530 2
12. 井上敬介, 安達 亮, 嶋村一郎, 岸 正孝: デンタルプレスケールの介在条件が咬合力計測値に及ぼす影響 第2報 前後的介在条件について, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 65, 2002. (第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪市) A 85 0530 2
13. Miyashita, Y., Suzuki, H., Kishi, M. : Clinical evaluation on removal of fixture of osseointegrated implants in Tokyo Dental College Hospital, Program and Proceedings, 164, 2002. (2002 Korean Academy of Prosthodontics, Busan, Korea) A 83 0530 1
14. 武田栄三⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 澁川義幸⁽²⁾, 関根秀志, 阿部伸一⁽³⁾, 井上 孝⁽⁴⁾, 片倉 朗⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽⁵⁾, 柿澤 卓⁽⁶⁾, 井出吉信⁽³⁾: MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 口蓋部触刺激による味覚野の応答, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 3, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3A02 脳科学研 (1)口外, (2)生理, (3)解剖, (4)病理, (5)補綴, (6)水病・口外科
15. 望月清志⁽¹⁾, 久保周平⁽²⁾, 黒須美佳⁽²⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 田崎雅和⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 山倉大紀, 末石研二⁽⁵⁾, 坂本輝雄⁽⁶⁾, 中野洋子⁽⁷⁾: 成長発育期における口腔内圧受容と大脳皮質感覚野の関連について, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 26, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3B01 脳科学研 (1)水病・小児歯科, (2)小児歯, (3)生理, (4)解剖, (5)水病・矯正科, (6)矯正, (7)口外
16. 関根秀志, 荒瀧友彦, 嶋村一郎, 岸 正孝, 澁川義幸⁽¹⁾, 鈴木 隆⁽¹⁾: 歯牙への被圧状態の認識に関わる中枢の活動, 平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 37, 2003. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3B08 脳科学研 (1)生理

11. 歯科矯正学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	山口 秀晴	顎顔面歯列に加わる外力の測定と咬合異常との関連について (A99 0590 2)
	谷田部賢一	矯正術後の長期安定性について
助教授	原崎 守弘	レーザー照射による歯科審美治療の導入 (A99 0590 4)
講師	古賀 正忠	PPAS における bracket position の検討
	茂木 悦子	下顎頭変形と骨密度, ホルモンとの関連に関する研究
	末石 研二	不正咬合の各種治療法における手順と期間ならびに効果に関する研究 (A91 0590 1)
助手	宮崎 晴代	8020達成に向けて咬合状態が残存歯数におよぼす影響について 矯正治療後の歯列の安定性について (A90 0590 1)
	野嶋 邦彦	嚥下, 発語時における舌および軟口蓋の運動解析
	坂本 輝雄	矯正歯科への骨延長法の応用 (A94 0590 2)
	片田 英憲	矯正力荷重時の顎顔面頭蓋の変形様相に関する研究 (A79 0590 1)
	野村 真弓	TMJ Scale を用いた顎関節症を伴う不正咬合者の心理的要因について
	西井 康	3D コンピュータシミュレーションによる歯牙排列と前歯被蓋関係に関する研究 (A96 0590 1)
	長谷部利一	変形性顎関節症と顎顔面形態及び不正咬合の関連について
	根岸 史郎	コンピューター・シミュレーションによる第1大臼歯の咬合接触に関する研究
大学院生	小林 誠	X線 CT 可視化法の相違による距離計測値安定度について
	福井 健之	歯科用レーザーの矯正歯科臨床における応用について
	吉井賢一郎	X線 VTR による低位舌を有する成人不正咬合者の嚥下時の舌運動に関する研究
	早川浩太郎	Nd : YAG レーザーによる初期カリエスに対する齲蝕進行抑制効果について
	西村 文邦	
	鶴木 太郎	
	和泉 正丈	
	小坂 竜也	
	市村賢太郎	
	石井 武展	

2. 成果の概要

1) Three - dimensional evaluation of the distal jet appliance

Aims : To develop a method of measuring tooth movement three - dimensionally and to investigate the effects of the distal jet treatment for moving molars distally on the teeth and basal bones. Methods : A method of superimposing three - dimensional dental images was developed to measure tooth movement. Cephalometric analysis was also made to measure skeletal and dental changes. The distal jet group consisted of 15 Japanese patients, 9 females and 6 males, with a mean age of 14.6 ± 2.3 years. Results : The mean maxillary first molar distal movement was 2.4 ± 1.8 mm with distal tipping of $1.9 \pm 1.6^\circ$ and lateral movement of 1.2 ± 0.9 mm. The second premolar moved mesially an average of 1.4 ± 1.2 mm. The mean maxillary incisor mesial movement was 1.5 ± 1.5 mm with mesial tipping of $2.6 \pm 1.5^\circ$. There were no statistically significant skeletal changes. Conclusion : This method allowed precise measurement of tooth move-

ment by superimposing three - dimensional dental images on computer. The results of this study demonstrated the effectiveness of the distal jet in distalizing the molars bodily. However, mesial movement of the premolar and anterior teeth were observed in reaction to distal molar movement.

Wld J Orthod 3, 321 ~ 333, 2002 .

2) 顔面非対称を伴う交叉咬合症例における治療変化の検討

外科的矯正治療例と矯正治療単独例との比較

顔面の非対称を伴う交叉咬合症例に対し、下顎枝矢状分割術を施行した外科的矯正治療例と手術拒否を主な理由とする矯正治療単独例について治療変化を明らかにするために本研究を行った。

資料は、外科的矯正治療を行った女性10例、初診時平均年齢23歳2ヵ月（以下 Ope 群）および矯正治療を行った女性10例、初診時平均年齢20歳8ヵ月（以下矯正群）の治療前後の正面顔面規格写真、正面および側面頭部 X 線規格写真を用いた。正面頭部 X 線規格写真分析は不島ら、Grummons らの方法に従って行った。

Ope 群および矯正群ともに治療前後では軟組織オトガイの改善が認められたが、Ope 群の方がより改善されていた。しかしながら十分な左右の対称性は得られず、より顔面の非対称を得るためにはオトガイ部の改善はもとより顎角部の改善を考慮する必要があると考えられた。

東京矯正歯科学会雑誌 12, 30 ~ 35, 2002 .

3) 千葉県館山市における生涯大学校生の口腔内診査と骨密度検診結果について

いわゆる“8020”の達成のためには研究対象をより若い年齢層に設定する必要性があるといわれている。この度温暖な気候と豊かな自然で知られる千葉県館山市の60歳代生涯大学生を対象として、咬合、骨密度等について8020達成者と比較したところ、平均現在歯数26.1本、超音波骨密度計測値 BUA73 32 ± 11.8 dB / MHz で良好な結果が示された。これら対象者は十分に8020達成を予測しうるものであった。今後館山市在住者を8020達成モデル群として要因を探ることを検討している。

日全身咬合会誌 8, 27 ~ 30, 2002 .

4) Evaluation Of Psychological Factors in Orthodontic Patients with TMD as applied to the " TMJ Scale " .

本論文は米国 Pain Resours Center 発行の TMJ Scale という心理アンケートのコンピュータ分析を用いた、日本人データの最初の報告である。96の問の答えを身体的要因と心理的要因とに大別し、心理的要因の関わりの度合いを解析するもので、今回、症状群と非症状の成人男女計80名を対象として検討した。結果として、女性において症状群に心理的要因が多い有意の差が認められた。よって男性に比較し女性においてはストレスなど心理的要因に関してよりいっそう留意する必要性が考えられた。

Bull Tokyo Dent Coll 43, 83 ~ 87, 2002 .

5) Lip Seal Study of Japanese Adults with Malocclusion

日常口唇を閉じること（リップシール）は、正常な鼻呼吸の遂行、口腔軟組織の保護、審美性の向上などに貢献する重要な要素を含んでいる。前報で小児における正常咬合者と不正咬合者のリップシールの状況を調査し、リップシールされない要因に咬合の正常、不正は関係がなかったことを報告した。今回成人85名に対し同様の方法で調査した結果、成人の場合は小児と異なり、不正咬合がリップシール不全の因子であることが明らかとなった。よって成人不正咬合の治療の必要性が示唆された。

Bull Tokyo Dent Coll 43, 89 ~ 93, 2002 .

3. 研究活動の特筆すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
片田 英憲	2002.7.1	顎骨・歯列のコントロール， 治験例	第8回顎顔面バイオメカニクス 学会総会	東京

4. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地	備 考
野村 真弓	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市	

共用試験等

氏 名	年月日	種 別	役 割	開催地
山口 秀晴	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	運営委員	千葉市
末石 研二	2002.5.11	平成14年度第5学年 OSCE	器材責任者	千葉市

論 文

1. 金子 剛⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 曾根清昭⁽²⁾, 一色泰成, 坂本輝雄, 中野洋子⁽³⁾, 後藤慶子⁽⁴⁾, 浅野和海⁽⁴⁾: 慶應義塾大学病院における口唇裂, 口蓋裂のチーム医療の現況と問題点, 形成外科 **45**(2), 131~140, 2002. 臨床
(1)慶大・医・形外, (2)済生会宇都宮病院形成外科, (3)口外, (4)慶大・医・耳鼻科
2. 早川浩太郎, 原崎守弘, 西村 亮, 海老原 環, 山口秀晴, 高橋 賢⁽¹⁾, 平井義人⁽¹⁾, 石川達也⁽¹⁾: 体重4分割バランスーによる重心変動値と咬合状態との関連 骨格性下顎前突症患者を対象として, 日全身咬合会誌 **8**(1), 37~48, 2002. 原著 (1)保存
3. 茂木悦子: 動的矯正治療終了の目標について 8020達成者と治療後長期経過例からのフィードバック, 日本一般臨床医矯正研究会誌 **13**, 27~36, 2002. 臨床
4. 望月清志⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 土屋喜子⁽³⁾, 末石研二, 山口秀晴: 線状骨症 頭蓋骨硬化症 大脳症の歯科学的所見, 小児歯誌 **40**(3), 571~574, 2002. 症例 (1)水病・小児歯科, (2)小児歯, (3)水病・矯正科
5. 坂本輝雄, 一色泰成, 鈴木 基: Hemifacial microsomia の顎運動機能検査結果と再建外科治療への提言, 慶応医学 **79**(4), 121~122, 2002. 原著
6. Nakakawaji, K.⁽¹⁾, Kodachi, K.⁽¹⁾, Sakamoto, T., Harazaki, M., Isshiki, Y. : Correlation between facial patterns and function of masticatory muscles in girls and women, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 51~59, 2002. 原著 学位論文 (1)東京都
7. Suzaki, M.⁽¹⁾, Naruse, M.⁽²⁾, Watanabe, N.⁽¹⁾, Yamaguchi, H. : Measurement of lateral loads exerted on the maxillofacial region by habitual postures, Bull Tokyo Dental Collge **43**(2), 69~74, 2002. 原著 (1)千葉県, (2)東京都
8. Yamaguchi, D., Motegi, E., Nomura, M., Narimiya, Y., Katsumura, S., Miyazaki, H., Kaji, H.⁽¹⁾, Watanabe, K.⁽¹⁾, Yamaguchi, H. : Evaluation of psychological factors in orthodontic patients with TMD as applied to the TMJ scale, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 83~87, 2002. 原著 (1)東京都
9. Ueda, K., Motegi, E., Yata, R., Torikai, T., Harazaki, M., Yamaguchi, H. : Lip seal study of Japanese adults with malocclusion, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 89~93, 2002. 原著
10. 野村真弓, 茂木悦子, 原崎守弘, 山口秀晴, 斎藤 力⁽¹⁾: 顔面非対称を伴う交叉咬合患者の外科的矯正治療と矯正治療単独例の評価, 東京矯正歯科学会雑誌 **12**(1), 30~35, 2002. 原著 (1)新潟大・大学院・顎顔面再建学
11. 北総博之, 荒川知久⁽¹⁾, 大塚和華, 西井 康, 片田英憲, 山口秀晴: インプラントアンカーによる大白歯遠心移動時の力学的検討, 顎顔面バイオメカニクス学会誌 **8**(1), 72~76, 2002. 原著 (1)千葉県
12. 鈴木祥子, 荒川知久⁽¹⁾, 西井 康, 山口秀晴: インプラントアンカーによる前歯圧下の三次元有限要素解析, 顎顔面バイオメカニクス学会誌 **8**(1), 77~81, 2002. 原著 (1)千葉県

13. 坂本輝雄, 西井 康, 西村文邦, 原崎守弘, 山口秀晴: 上下顎骨延長の3D-CT画像によるシミュレーション, 顎顔面バイオメカニクス学会誌 **8**(1), 82~86, 2002. 原著
14. Nojima, K., Nagai, H.⁽¹⁾, Nishii, Y., Sakamoto, T., Yamaguchi, H.: Morphological evaluations in skeletal class malocclusion requiring maxillofacial surgery using orthognathic surgical analysis, Bull Tokyo Dent Coll **43**(3), 163~171, 2002. 原著 (1)神奈川県
15. 福井健之, 原崎守弘, 村木一規⁽¹⁾, 坂本輝雄, 一色泰成, 山口秀晴: 低出力レーザー照射疼痛緩和法の咬合力を指標とした評価について, 日矯歯会誌 **61**(4), 199~206, 2002. 原著 (1)神奈川県
16. Sakamoto, T., Sakamoto, S.⁽¹⁾, Harazaki, M., Isshiki, Y., Yamaguchi, H.: Orthodontic treatment for jaw deformities in cleft lip and palate patients with the combined use of an external - expansion arch and a facial mask, Bull Tokyo Dent Coll **43**(4), 223~229, 2002. 原著 (1)東京都
17. Nishii, Y., Katada, H., Yamaguchi, H.: Three - dimensional evaluation of the distal jet appliance, Wld J Orthod **3**(4), 321~327, 2002. 原著
18. 山口尊生, 茂木悦子, 野村真弓, 宮崎晴代, 成宮幸枝, 竹内史江, 金子幸生, 清水貴子, 副島詩子, 佐々木美央: 千葉県館山市における生涯大学校生の口腔内診査と骨密度検診結果について, 日全身咬合会誌 **8**(2), 27~30, 2002. 原著
19. 吉井賢一郎 野嶋邦彦: X線VTRによる反対咬合を伴う片側性唇顎口蓋裂者の嚙下時舌運動解析, 歯科学報 **102**(12), 943~958, 2002. 原著
20. 山口秀晴, 西井 康: 非抜歯矯正治療へのアプローチ, 日歯医師会誌 **55**(10), 937~946, 2003. 臨床
21. 茂木悦子: 顎関節症と矯正治療主に下顎位概念をふりかえって, Quintessence **22**(2), 170~176, 2003. 臨床
22. 田中千元⁽¹⁾, 荒川知久⁽²⁾, 篠原壽和⁽³⁾, 片田英憲, 山口秀晴: 下顎側方偏位の三次元有限要素法による解析, 歯科学報 **103**(2), 169~180, 2003. 原著 (1)水病・矯正科, (2)千葉県, (3)東京都
23. 茂木悦子: 読者サロン口もとの記載が多く見られた江戸時代の歌舞伎評判記, デンタルダイヤモンド **28**(3), 177, 2003. 臨床
24. 茂木悦子, 山口秀晴: 顎関節症を見直す 8. 若年期における顎機能異常, 歯科学報 **103**(3), 211~222, 2003. 臨床

解 説

1. 片田英憲, 山口秀晴: グローバル化する歯科矯正治療 4. ブラケットの進化 エッジワイズ法の進化, 歯科学報 **102**(5), 321~328, 2002.
2. 西井 康, 高木多加志⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 花井淳一郎⁽²⁾, 山口秀晴: グローバル化する歯科矯正治療 5. インプラントアンカレッジシステム, 歯科学報 **102**(6), 453~457, 2002. (1)口外, (2)口外
3. 茂木悦子, 山口秀晴: グローバル化する歯科矯正治療 6. 矯正治療後の長期安定, 歯科学報 **102**(7), 563~

568, 2002 .

- 4 . 末石研二, 山口秀晴: 歯科矯正治療で目標としている咬合について, 東京歯医師会誌 **50**(9), 623 ~ 633, 2002 .

単行図書

- 1 . 山口秀晴^(a), 菅原準二, 浅野央男編: 著分担: 反対咬合治療のコンセンサスを求めて (a)第2期治療前の矯正診断 - 1 矯正治療適応症と外科的矯正適応症の鑑別診断 251 ~ 256頁, 東京臨床出版, 東京, 2002 .

その他

- 1 . 茂木悦子: 美しくフレンドリーな町サンアントニオの90日, 歯科学報 **102**(12), 933 ~ 939, 2002 .

学会抄録

- 1 . 添島絵美, 原崎守弘, 早川浩太郎, 西村 亮, 坂本輝雄, 山口秀晴: 骨格性上顎前突における4分割バランスによる重心の変動値について, 日矯正歯会61回抄集, 244, 2002 . (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市)
- 2 . 望月清志⁽¹⁾, 久保周平⁽²⁾, 黒須美佳⁽²⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 田崎雅和⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 山倉大紀⁽⁵⁾, 末石研二, 坂本輝雄, 中野洋子⁽⁶⁾: 成長発達期における口腔内圧受容と大脳皮質感覚野の関連について, 歯科学報 **103** (1) 36 2002 . (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)水病・小児歯科 (2)小児歯, (3)生理, (4)解剖, (5)補綴, (6)口外
- 3 . 市村賢太郎, 荒川知久⁽¹⁾, 田中千元⁽²⁾, 片田英憲, 坂本輝雄, 山口秀晴: 仮骨延長術による下顎骨への影響に関する力学的検討, 第8回日本コンピューター歯科医学会プログラム・抄録集, 14 ~ 15, 2002 . (第8回日本コンピューター歯科医学会, 東京) (1)千葉県, (2)水病・矯正科
- 4 . Kobayashi, M., Yoshii, K., Narimiya, Y., Ueda, K., Onuki, A., Ono, K., Katsumura, S., Kawamura, M., Kiyomoto, K., Nezu, M., Yata, R., Nishii, Y., Yamaguchi, H. : Case report of angle class malocclusion from the post - graduate course, 102nd Annual Session of American Association Orthodontists Program, 49, 2002 . (102nd Annual Session of American Association Orthodontists, Philadelphia, USA)
- 5 . Yamaguchi, T., Motegi, E., Nomura, M., Miyazaki, H., Takeuchi, H., Simizu, T., Yamaguchi, H., Hirai, M.⁽¹⁾: Bone mineral density of elderly with more than 20 teeth, 80th General Session of the IADR プログラム・抄録集, 265, 2002 . (80th General Session of the IADR, SanDiego, USA) (1)東京都
- 6 . 野間弘康⁽¹⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 内山健志⁽²⁾, 野嶋邦彦, 西井 康, 石川達也⁽³⁾, 平井義人⁽³⁾, 高瀬保晶⁽³⁾, 腰原 好⁽⁴⁾, 佐藤 亨⁽⁴⁾, 岸 正孝⁽⁵⁾, 黒柳錦也⁽⁶⁾, 西川慶一⁽⁶⁾, 青柳 裕⁽⁷⁾, 外木守雄⁽⁸⁾, 井出吉信⁽⁹⁾: 口腔・顎顔面の形態, 機能異常の3次元的评价ならびに回復, 治療予測, 歯科学報 **102**(3), 185 ~ 187, 2002 . (平成13年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 平成13年度分 (1)口外, (2)口外, (3)保存, (4)補綴, (5)補綴, (6)歯放, (7)市病・放科, (8)市病・オーラルメディシン, (9)解剖
- 7 . 緒方寿夫⁽¹⁾, 佐藤博子⁽¹⁾, 金子 剛⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 矢澤真樹⁽¹⁾, 坂本輝雄, 一色泰成: 上気道拡大を目的とした下顎骨延長治療, 日頭顎顔会誌 **18**(1), 87, 2002 . (第19回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 横浜市) (1)慶大・医・形外

8. 大塚和華, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴, 西堀陽平⁽¹⁾, 内山健志⁽¹⁾: 成人まで口蓋裂未治療で経過した唇顎口蓋裂患者の1例, 日口蓋裂会誌 **27**(2), 245, 2002. (第26回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 岡山市) (1)口外
9. 末石研二, 谷田部賢一⁽¹⁾, 山口秀晴: Antley - Bixler Syndrome の1症例, 小児歯誌 **40**(2), 415, 2002. (第40回日本小児歯科学会大会および総会, 千葉市) (1)水病・矯正科
10. Kobayashi, M., Yoshii, K., Narimiya, Y., Ueda, K., Onuki, A., Ono, K., Katsumura, S., Kawamura, M., Kiyomoto, K., Nezu, M., Yata, R., Yamaguchi, H.: Case reports of retention from the post - graduate course, American Association Orthodontists Program and Abstracts, 49, 2002. (American Association Orthodontists, Philadelphia, USA)
11. 小坂竜也, 荒川幸雄⁽¹⁾, 山口秀晴: 舌突出癖を有する著しい開咬症例の下顎運動計測 臼歯部開咬と前歯部開咬症例について, 第15回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 136, 2002. (第15回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京都) (1)千葉県
12. 大内 豪, 西井 康, 野嶋邦彦, 末石研二, 山口秀晴, 内山健志⁽¹⁾: 顎矯正手術における3Dシミュレーションシステムの实用精度について(第1報), 歯科学報 **102**(6), 512, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外
13. 黒柳和佳子, 増淵牧子, 小貫暁美, 西井 康, 野嶋邦彦, 末石研二, 山口秀晴: 顎外科手術による顔面軟組織の三次元的変化, 歯科学報 **102**(6), 513, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
14. 石井武展, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴, 宇佐美晶信⁽¹⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 高木多加志⁽²⁾, 野間弘康⁽²⁾: 上顎大臼歯の固定源としてのチタンスクリー埋入位置の検討, 歯科学報 **102**(6), 546, 2002. (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)解剖, (2)口外
15. 片田英憲: 顎骨・歯列のコントロール, 治験例, 顎顔面バイオメカニクス学会誌 **8**(1), 34, 2002. (第10回顎顔面バイオメカニクス学会, 東京)
16. 高根ユミ, 野嶋邦彦, 西井 康, 山口秀晴: 若年者の骨格性反対咬合に可撤式床を併用した上顎前方牽引装置の効果, 東京矯正歯科学会雑誌 **12**(2), 213, 2002. (第61回東京矯正歯科学会大会, 東京)
17. 茂木悦子, 木村澄子⁽¹⁾, 山口秀晴, 内山健志⁽²⁾: 歌舞伎評判記にみる口もとの評価, 日本顔学会誌 **2**(1), 185, 2002. (第7回日本顔学会, 新潟市) (1)都立九段高校, (2)口外
18. 市村賢太郎, 西井 康, 小坂竜也, 北総博之, 山口秀晴: 骨格性下顎前突症患者の術前・術後における笑顔の比較検討, 日本顔学会誌 **2**(1), 200, 2002. (第7回日本顔学会大会, 新潟市)
19. 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 末石研二, 山口秀晴, 田中葉子⁽³⁾: 広範な歯牙のエナメル形成不全を伴う歯科的所見より見出された Oculodentodigital syndrome の1例, 障害者歯 **23**(3), 417, 2002. (第19回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌市) (1)水病・小児歯科, (2)小児歯科, (3)市病・小児科

- 20 . Ogata, H.⁽¹⁾, Sata, H.⁽¹⁾, Kaneko, T.⁽¹⁾, Nakajima, T.⁽¹⁾, Sakamoto, T., Isshiki, Y. : 3D - CT evaluation of pharyngeal volume change brought by mandibular distraction, The 4th Asian Pacific Craniofacial Association Conference Program and Abstracts, 54 , 2002 .(The 4th Asian Pacific Craniofacial Association Conference, Tokyo) (1)慶大・医・整形
- 21 . 西村 亮, 原崎守弘, 茂木悦子, 末石研二, 坂本輝雄, 添島絵美, 増淵牧子, 山口秀晴 : 最近の東京歯科大学学生における咬合審査と頭部X線規格写真の分析について, 日矯正歯会61回抄集, 113, 2002 .(第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市)
- 22 . 小林 誠, 山口秀晴 : MPR 画像とコンピュータサーフェスモデル上に設定した計測点の信頼性, 日矯正歯会61回抄集, 193, 2002 .(第61回日本矯正歯科学会, 名古屋市) 保情研
- 23 . 末石研二, 田中千元⁽¹⁾, 長谷部利一, 坂本輝雄, 宮崎晴代, 谷田部賢一⁽¹⁾, 山口秀晴 : 鎖骨頭蓋異形成症は理解されているか, 日矯正歯会61回抄集, 244, 2002 .(第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) (1)水病・矯正科
- 24 . 西村 亮, 原崎守弘, 茂木悦子, 末石研二, 坂本輝雄, 添島絵美, 山口秀晴 : 歯科大学学生における咬合診査と頭部X線規格写真の分析による形態学的調査, 歯科学報 102(10), 830, 2002 .(第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
- 25 . 芳野亜希子, 茂木悦子, 野村真弓, 宮崎晴代, 副島詩子, 佐々木美央, 金子幸生, 清水貴子, 竹内史江, 山口尊生, 原崎守弘, 平井基之⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾ : “ 8025達成者 ” における咬合型と顔面型の関連性について, 歯科学報 102(10), 832, 2002 .(第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)東京都, (2)千葉県
- 26 . 岡本隆行⁽¹⁾, 吉村陽子⁽¹⁾, 今村基尊⁽¹⁾, 坂本輝雄, 一色泰成 : Hemifacial microsomia の集学的治療 顎変形の程度に応じた治療方法の選択と咬合管理の重要性 , 日頭顎顔会誌 19(1), 4 ~ 5 , 2002 .(第20回日本頭蓋顎顔面外科学会総会・学術集会, 東京) (1)藤田保衛大・医・形成外科
- 27 . 鈴木啓之⁽¹⁾, 大橋正和⁽¹⁾, 坂本輝雄, 西村文邦, 松本文昭⁽²⁾, 宇田川晃一⁽²⁾, 吉本信也⁽²⁾, 一瀬正治⁽²⁾ : Interarch elastic traction を併用した片側下顎骨延長の経験, 日頭顎顔会誌 19(1), 36, 2002 .(第20回日本頭蓋顎顔面外科学会総会・学術集会, 東京) (1)千葉こども病院形成外科, (2)千葉大・医・形成外科
- 28 . Nojima, K., Yoon, K. A.⁽¹⁾, Kuroyanagi, W., Yamaguchi, H. : A comparative study of Japanese and Korean mandibular clinical arch form, 4th Asian - Pacific Orthodontic Conference Program and Abstracts, 41 , 2002 .(4th Asian - Pacific Orthodontic Conference, Singapore, Singapore) (1)Los Angeles, USA
- 29 . Negishi, F., Kim, I.⁽¹⁾, Yamaguchi, H. : Computer aided positioning of maxillary first molar in class relationship, 4th Asian - Pacific Orthodontic Conference Program and Abstracts, 41 , 2002 (4th Asian - Pacific Orthodontic Conference, Singapore, Singapore) (1)Korea
- 30 . 北総博之, 茂木悦子, 野村真弓, 宮崎晴代, 山口尊生, 鈴木祥子, 芳野亜希子, 竹内史江, 高根ユミ, 佐々木美央, 原崎守弘, 山口秀晴, 平井基之⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾, 高根 宏⁽²⁾ : 超音波骨密度測定による8020達成者と養護施設高齢者の比較, 日全身咬合会12回プログラム・抄集, 53, 2002 .(第12回全身咬合学会学術大会, 大阪市) 保情研 (1)東京都, (2)千葉県

31. 添島絵美, 原崎守弘, 早川浩太郎, 西村 亮, 坂本輝雄, 山口秀晴, 高橋 賢⁽¹⁾, 平井義人⁽¹⁾, 石川達也⁽¹⁾:
4分割バランスによる骨格性上顎前突における重心の変動値について, 日全身咬合会12回プログラム・
抄集, 54, 2002.(第12回全身咬合学会学術大会, 大阪市)(1)保存
32. 西村 亮, 原崎守弘, 早川浩太郎, 坂本輝雄, 山口秀晴, 高橋 賢⁽¹⁾, 平井義人⁽¹⁾, 石川達也⁽¹⁾: 骨格性反対
咬合者における術後の4分割バランス体重計による重心の変動値について, 日全身咬合会12回プログラム・
抄集, 55, 2002.(第12回全身咬合学会学術大会, 大阪市)(1)保存
33. 鈴木祥子, 茂木悦子, 原崎守弘, 宮崎晴代, 野村真弓, 金子幸生, 清水貴子, 竹内史江, 山口尊生, 早川浩太郎,
山口秀晴, 野口祐輔⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽¹⁾, 平井義人⁽²⁾, 石川達也⁽²⁾: 8020達成者におけるバランス体重計による
重心変動について, 歯科学報 102(10), 833, 2002.(第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)保情研 (1)補綴,
(2)保存
34. 西井 康, 山口秀晴, 花井淳一郎⁽¹⁾: 術前矯正治療にミニプレートを固定源とした一例, 日顎変形会誌 12
(3), 155, 2002.(第12回日本顎変形症学会総会, 大阪市)(1)口外
35. 野村真弓, 茂木悦子, 宮崎晴代, 副島詩子, 佐々木美央, 清水貴子, 金子幸生, 竹内史江, 山口尊生,
山口大輔, 原崎守弘, 山口秀晴, 谷田部賢一⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾, 平井基之⁽³⁾: 8020達成者の顔貌のバランスに
ついて, 第11回千葉県歯科医学大会プログラム・抄録集, 85, 2003.(第11回千葉県歯科医学大会, 千葉市)
(1)水病・矯正科, (2)千葉県, (3)東京都
36. 茂木悦子, 宮崎晴代, 野村真弓, 高根ユミ, 片山裕美, 北総博之, 鈴木祥子, 芳野亜希子, 原崎守弘,
谷田部賢一⁽¹⁾, 山口秀晴, 関口 基⁽²⁾, 尾崎至郎⁽²⁾, 平井基之⁽³⁾, 石井 武⁽⁴⁾, 井上 孝⁽⁵⁾, 石原和幸⁽⁶⁾,
奥田克爾⁽⁶⁾, 眞木吉信⁽⁷⁾, 山中すみへ⁽⁷⁾, 佐藤 亨⁽⁸⁾, 和光 衛⁽⁹⁾, 高根 宏⁽²⁾: 8020研究の概要と今後の展望,
第11回千葉県歯科医学大会プログラム・抄録集, 86, 2003.(第11回千葉県歯科医学大会, 千葉市)保情研
(1)水病・矯正科, (2)千葉県, (3)東京都, (4)沖縄県, (5)臨検査, (6)微生物, (7)衛生, (8)補綴, (9)歯放
37. 佐藤博子⁽¹⁾, 緒方寿夫⁽¹⁾, 金子 剛⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 矢澤真樹⁽¹⁾, 坂本輝雄, 一色泰成: 小顎症に対する下顎骨
延長治療 延長計画と結果について, 日頭顎顔会誌 18(1), 85, 2003.(第19回日本頭蓋顎顔面外科学会
学術集会, 横浜市)(1)慶大・医・形外
38. 三代真義, 安部輝美, 三宅晶子, 清水貴子, 末石研二, 山口秀晴, 薬師寺 仁⁽¹⁾: 小児の口蓋前方部に加わる
舌圧の測定, 小児歯誌 40(2), 272, 2003.(第40回日本小児歯科学会大会および総会, 千葉市)(1)小児歯
39. 中嶋英雄⁽¹⁾, 陳 建鄭⁽¹⁾, 矢澤真樹⁽¹⁾, 竹下文子⁽¹⁾, 大原博敏⁽¹⁾, 木村章子⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 坂本輝雄, 一色泰成:
Controlled Le Fort 3 Distraction Osteogenesis の試み, プログラム・抄録集, 99, 2003.(第45回日本形成
外科学会総会・学術集会, 長崎市)(1)慶大・医・形外
40. 緒方寿夫⁽¹⁾, 佐藤博子⁽¹⁾, 金子 剛⁽¹⁾, 小林正弘⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 一色泰成, 坂本輝雄, 後藤慶子⁽²⁾: 小顎症下顎
延長に伴う構音変化について, 第45回日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 99, 2003.
(第45回日本形成外科学会総会・学術集会, 長崎市)(1)慶大・医・形外, (2)慶大・医・耳鼻・言語
41. 山崎康博, 野嶋邦彦, 松村栄治, 吉井賢一郎, 西井 康, 坂本輝雄, 山口秀晴, 内山健志⁽¹⁾: 唇顎口蓋裂患者
におけるX線VTRを用いた嚥下時軟口蓋裂運動解析, 日口蓋裂会誌 27(2), 184, 2003.(第26回日本
口蓋裂学会総会・学術集会, 岡山市)(1)口外

42. 市村賢太郎, 福井健之, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴: 矯正治療における経日的低出力レーザーの痛み緩和効果について, 日本レーザー治療学会誌 1(1) 54, 2003. (第14回日本レーザー治療学会学術集会, つくば市)
43. 坂本輝雄, 一色泰成, 緒方寿夫⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 金子 剛⁽²⁾, 佐藤博子⁽³⁾, 矢澤真樹⁽⁴⁾: 大きな前方口蓋瘻孔を伴った顎裂に対し歯槽骨延長を行った一例, 慶応医学 80(2) 41, 2003. (第7回慶應義塾大学形成外科同門会学術集会, 東京) (1) 慶大・医・形外, (2) 国立成育医療センター・形外, (3) 平塚市民病院形成外科, (4) 栃木県立がんセンター
44. 野村真弓, 茂木悦子, 原崎守弘, 芳野亜希子, 宮崎晴代, 山口秀晴: 歯が数多く残っている高齢者の顔について, 日本顔学会誌 2(1), 203, 2003. (第7回日本顔学会, 新潟市)
45. Nomura, M., Motegi, E., Yamaguchi, H.: Psychological factors of young orthodontic patients with TMD, Eur J Orthod 24(5), 578, 2003. (78th Congress of The European Orthodontic Society, Sorrento, Italy)
46. 茂木悦子, 野村真弓, 佐々木美央, 副島詩子, 金子幸生, 清水貴子, 竹内史江, 山口尊生, 北総博之, 鈴木祥子, 芳野亜希子, 山口大輔, 原崎守弘, 山口秀晴: 超音波骨密度をもちいた骨格性反対咬合者と叢生群の骨密度について, 日矯正歯会61回抄集, 126, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市)
47. 鈴木祥子, 茂木悦子, 原崎守弘, 宮崎晴代, 野村真弓, 金子幸生, 清水貴子, 竹内史江, 山口尊生, 早川浩太郎, 山口秀晴, 野口祐輔⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾: 4分割バランス体重計による8020達成者の姿勢について, 日矯正歯会61回抄集, 139, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) (1) 補綴, (2) 千葉市
48. 根岸史郎, 高根ユミ, 山口秀晴: CT から合成されたセファロ画像の有効性, 日矯正歯会61回抄集, 166, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市)
49. 早川浩太郎, 原崎守弘, 山口秀晴: セラミックブラケットのディボンディング時における高出力 Nd ; Yag レーザーの応用, 日矯正歯会61回抄集, 183, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市)
50. 吉岡奈保美, 新妻史子, 西井 康, 野嶋邦彦, 古賀正忠⁽¹⁾, 山口秀晴: 上下顎アーチフォームのコーディネーションの検討, 日矯正歯会61回抄集, 202, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) (1) 水病・矯正科
51. 西井 康, 竹内史江, 吉岡奈保美, 片田英憲, 山口秀晴: ディスタルジェットによる歯牙移動の3次元的評価, 日矯正歯会61回抄集, 211, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市)
52. 坂本輝雄, 西村文邦, 鈴木 基, 末石研二, 原崎守弘, 山口秀晴, 鈴木啓之⁽¹⁾, 宮崎晴代, 西村二郎⁽²⁾: Hemifacial microsomia に対する仮骨延長後の咬合の変化, 日矯正歯会61回抄集 228~288, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋) (1) 千葉こども病院, (2) 埼玉こども病院
53. 末石研二, 荒川忠博⁽¹⁾, 平岡 修⁽²⁾, 土屋喜子⁽¹⁾, 扇内秀樹⁽²⁾: Duchenne 型筋ジストロフィー症の1矯正治療, 日矯正歯会61回抄集, 269, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) (1) 水病・矯正科, (2) 東女子医・口外
54. 岡田 徹⁽¹⁾, 西村 亮, 西井 康, 末石研二, 渡辺和也⁽²⁾, 山口秀晴: 混合歯列期に交叉咬合を有し, 長期経過後に顔面左右非対称を呈した一治療例, 日矯正歯会61回抄集 273, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) (1) 愛知県, (2) 東京都

55. 野村真弓, 原崎守弘, 茂木悦子, 清水貴子, 宮崎晴代, 芳野亜希子, 副島詩子, 佐々木美央, 金子幸生, 竹内史江, 山口尊生, 山口大輔, 山口秀晴, 関口 基⁽¹⁾, 平井基之⁽²⁾: 8020達成者の顔貌のバランスと調和, 日矯正歯会61回抄集, 274, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) (1)千葉県, (2)東京都
56. 片山裕美, 茂木悦子, 野村真弓, 根岸史郎, 原崎守弘, 山口秀晴: 手根骨を用いた成長予測に関連する骨年齢についての検討, 歯科学報 102(10), 817, 2003. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
57. 野村真弓, 茂木悦子, 佐々木美央, 竹内史江, 高根ユミ, 原崎守弘, 山口秀晴, 山本一普⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾: 埋伏歯を伴う歯列不正におけるX線 CT 三次元画像の有用性, 歯科学報 102(10), 818, 2003. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)歯放
58. 末石研二, 大内 豪, 山口大輔, 田中千元⁽¹⁾, 長谷部利一, 山口秀晴: 鎖骨頭蓋異形成症患者の矯正歯科受診時口腔内状況に関する調査, 歯科学報 102(10), 831, 2003. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)水病・矯正科
59. 高根ユミ, 野村真弓, 茂木悦子, 佐々木美央, 竹内史江, 原崎守弘, 山口秀晴, 山本一普⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾: X線 CT三次元画像における埋伏歯を伴う歯列不正への有用性, 第8回日本コンピュータ歯科医学会プログラム・抄録集, 12~13, 2003. (第8回日本コンピュータ歯科医学会, 東京) (1)歯放
60. 芳野亜希子, 茂木悦子, 野村真弓, 宮崎晴代, 副島詩子, 佐々木美央, 金子幸生, 清水貴子, 竹内史江, 山口尊生, 原崎守弘, 山口秀晴, 平井基之⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾: 8020達成者の歯列と顔面型の関連性について, 日矯正歯会61回抄集, 108, 2003. (第61回日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) (1)東京都, (2)千葉県

12. 歯科放射線学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

- 助 教 授 和光 衛 マイクロ CT を用いた病巣周囲骨梁構造の 3 次元的解析 (A99 0610 1)
薄膜性骨内インプラントと骨との親和性に関する 3 次元構造解析
(A00 0610 1)
- 講 師 早川 吉彦 ステレオグラフィによる歯・顎骨 3 次元再構成像の評価 (A02 0610 1)
山本 一普 Tuned - Aperture Computed Tomography (TACT[®]) の歯科応用に関する研究
(A99 0610 2)
- 助 手 西川 慶一 超音波血流信号の定量解析による頭頸部悪性腫瘍リンパ節転移の高精度検出
(A02 0610 2)
- 澁谷 仁志 口内法デジタル X 線画像診断システムに対する K 殻吸収端フィルターの有効性の検討 (A99 0610 3)
- 原田 卓哉 上顎に発生し隔壁様構造を伴った不透過性病変の画像診断学的検討
(A01 0610 01)
- 山田 正幸 歯周疾患の診査における臨床所見と口内法 X 線写真所見との相関性について
(A97 0610 9)

2. 成果の概要

Tuned - Aperture Computed Tomography (TACT[®]) の歯科応用に関する研究 (A99 0610 2)

TACT は、低被曝線量で実施できる三次元画像診断の手法である。小型 FPD を口腔内に保持した状態で異なる方向から撮影する。4 ~ 6 枚の画像 (component projection または TACT base images) を得て、三次元データを構築し一連の任意断面像や擬似ホログラムを作成する。原理的には断面再構成法 (tomo - synthesis) とアパーチャー原理 (aperture theory) に基づく。参照点となるマーカーを被写体に貼付して撮影し、再構成アルゴリズムにその画像上の座標を入力する。逐次近似法 (iterative restoration) によるボケの除去処理も行った。

上顎前歯部における埋伏歯の扱いは、咬合と審美的観点から重視されている。画像診断による埋伏歯とその周囲組織の形態学的関係の把握が処置法の選択に影響を与える。上顎前歯部埋伏歯の 20 症例について、単純投写 (口内法、パノラマ法、側方向撮影) のみで診断した場合と TACT 像を加えた場合の臨床判断を比較した。16 名の歯科医師で評価を行ったところ、「埋伏歯と周囲組織の関係」と「唇 - 口蓋側方向」の把握において TACT は有意に優れていた。また口腔外科的あるいは歯科矯正的処置の判断における信頼性および予後の予測可能性についても、TACT 像を用いたときが有意に優れていた。

Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 95, 109 ~ 118, 2003.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学 外 研 究 施 設		
		研究施設	所在地	責任者
山本 一普 早川 吉彦 和光 衛	Diagnostic information yield from tuned-aperture computed tomography for assessing impacted teeth	The Univ. of Louisville	Louisville, Kentucky, USA	Farman, Allan G.
早川 吉彦	TACTとステレオグラフィーによる歯・顎骨3次元再構成像の評価	国立台湾大学	Taipei, Taiwan	Chen, Ssu-Kuang

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
和光 衛	薄膜ハイドロオキシapatiteと顎骨骨梁との親和性に関する三次元画像解析	科学研究費・基盤(C)
早川 吉彦	バーチャルカーソルを活用したステレオグラフィーによる歯・顎骨3次元再構成像の評価	科学研究費・基盤(C)

5. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地	備考
早川 吉彦	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市	
西川 慶一	2002.11.2 ~ 3	第8回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市	

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
和光 衛	2003.1.24	平成14年度第4学年 OSCE	ST 2 責任者	千葉市

教育ソフトの開発等

代表者	年月日	ソフト名	制作者	所在地	備考
早川 吉彦	2002.4.1	高等学校「情報」教員養成教材「情報B演習素材モデル化とシミュレーション」	文部科学省大学共同利用機関メディア教育開発センター	東京	CD-ROM教材への資料提供

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
和光 衛	2002 . 6 . 5	デジタル画像とインプラント	千葉市歯科医師会学術講演会	千葉市
小林 紀雄	2003 . 1 .18	マルチスライスCTの現状と最新技術 口腔外科領域から siemens 4 DAS 使用施設	第42回撮影技術研究会	千葉市

論 文

- 1 . Nishikawa, K., Ooguro, T.⁽¹⁾, Kuroyanagi, K. : Comparisons of physical imaging properties among three kinds of imaging plates used in photostimulable phosphor systems for dental radiography, Bull Tokyo Dent Coll **43**(1), 23 ~ 30, 2002 . 原著 平成13年度分 (1)神歯大・歯放
- 2 . 山本一普, 早川吉彦, 小林紀雄, 菅菅裕治, 和光 衛, 関口 浩⁽¹⁾, 薬師寺 仁⁽¹⁾, A. G. Farman⁽²⁾ : Tuned - Aperture Computed Tomography(TACT[®])による歯および周囲組織の三次元画像診断の有用性, 映像情報 MEDICAL **34**(10), 1026 ~ 1031, 2002 . 原著 (1)小児歯, (2)School of Dent., University of Louisville
- 3 . 山内智博⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 古谷義隆⁽¹⁾, 野村武史⁽¹⁾, 櫻井 薫⁽²⁾, 杉山哲也⁽²⁾, 安藤友彦⁽²⁾, 小林健一郎⁽²⁾, 和光 衛, 見明康雄⁽³⁾ : HA 薄膜コーティングインプラントの有用性に関する実験的研究, 日本顎顔面インプラント学会誌 **1**(1), 11 ~ 16, 2002 . 原著 (1)口外 , (2)補綴 , (3)超微構造
- 4 . 和光 衛 : インプラント治療術前画像検査におけるエックス線 CT の有用性, 国際歯科学士会日本部会雑誌 **33**, 67 ~ 71, 2002 . 総説
- 5 . 原田卓哉, 和光 衛, 松木美和子⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 薬師寺 孝⁽²⁾, 高木 亮⁽²⁾, 柴原孝彦⁽²⁾, 野間弘康⁽²⁾ : 線維骨病変と孤立性嚢胞との併発を疑わせたエナメル上皮腫の画像診断, 歯科学報 **102**(9), 735 ~ 742, 2002 . 症例二次出版 (1)病理, (2)口外
- 6 . 和光 衛, 原田卓哉, 西川慶一, 菅菅裕治, 小林紀雄 : 顎関節症を見直す 5 . 画像検査法と診断 , 歯科学報 **102**(11), 853 ~ 868, 2002 . 総説
- 7 . Wakoh, M., Harada, T., Inoue, T.⁽¹⁾ : Follicular/desmoplastic hybrid ameloblastoma with radiographic features of concomitant fibro - osseous and solitary cystic lesions, Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod **94**(6), 774 ~ 780, 2002 . 症例 (1)臨検査
- 8 . Wakoh, M., Harada, T., Yamamoto, K., Hashimoto, S.⁽¹⁾, Noma, H.⁽²⁾, Kaneko, Y.⁽³⁾ : Three - dimensional volumetric visualization of arteriovenous malformation on the maxilla with life - threatening complications during tooth extraction, Dentomaxillofac Radiol **32**(1), 63 ~ 66, 2003 . 症例 (1)病理, (2)口外 , (3)歯麻
- 9 . Yamamoto, K., Hayakawa, Y., Kousuge, Y., Wakoh, M., Sekiguchi, H.⁽¹⁾, Yakushiji, M.⁽¹⁾, Farman, A. G.⁽²⁾ : Diagnostic value of tuned - aperture computed tomography versus conventional dento - alveolar imaging in assessment of impacted teeth, Oral Surg Oral Med Oral Patol Oral Radiol Endod **95**(1), 109 ~ 118, 2003 . 原著 (1)小児歯, (2)School of Dent., University of Louisville

解 説

- 1 . 西川慶一 : 歯科用デジタルX線画像診断システムって本当にいいの? 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会会誌 **12**(2), 13 ~ 23, 2002 .
- 2 . 和光 衛, 黒柳錦也 : 診療録記録記載のための要点 エックス線所見の記載要点 , 日歯医師会誌 **55**(11), 1060 ~ 1061, 2003 .

- 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 和光 衛: インプラント治療と検査の考え方 第1回 臨床検査の概念と全身的な病態の理解, Quintessence Dent Imp **10**(3), 41~49, 2003. (1)臨検査

プロシーディングス

- 早川吉彦, 菅裕治, 山本一普, 和光 衛: 口腔内挿入用メガピクセルセンサーの特性と断面像合成・表示法への応用, 医学物理 **22**(Suppl.2), 195~196, 2002. (第83回日本医学物理学会大会, 神戸市)
- Yamamoto, K., Hayakawa, Y., Kobayashi, N., Kousuge, Y., Wakoh, M., Sekiguchi, H.⁽¹⁾, Yakushiji, M.⁽¹⁾, Farman, A. G.⁽²⁾: Tuned - Aperture Computed Tomography(TACT[®]) to assess impacted teeth using 2D slices and 3D pseudo - holograms, The Proceeding of 16th International Congress of Computer Assisted Radiology and Surgery CARS2002, 1117, 2002. (16th International Congress of Computer Assisted Radiology and Surgery CARS2002, Paris, France) Lemke, H. U., Vannier, M. W., Inamura, K., Farman, A. G., Doi, K., eds. (1)小児歯, (2)School of Dent., University of Louisville

その他

- 早川吉彦, 山本一普: Combi - X コンピューテッド・ラジオグラフィ・システム, Dental World **4**, 3~9, 2002.
- 小林 顕⁽¹⁾, 早川吉彦, 田中 清⁽²⁾: 座談会「デジタルX線撮影の現状と展望」, Dental World **4**, 19~22, 2002. (1)東京都, (2)クロスフィールド(株)
- 和光 衛, 杉山哲也⁽¹⁾, 山内智博⁽²⁾, 野村武史⁽²⁾: 薄膜ハイドロオキシアパタイトと顎骨骨梁との親和性に関する三次元画像解析, 平成14年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 2002. 研究課題番号13671890 (1)補綴, (2)口外
- 神田重信⁽¹⁾, 古跡養之真⁽²⁾, 佐々木武仁⁽³⁾, 岡野友宏⁽⁴⁾, 和光 衛, 大喜雅文⁽⁵⁾, 吉浦一紀⁽¹⁾, 徳森謙二⁽¹⁾, 小林 馨⁽⁶⁾: 歯科用デジタルX線画像診断システムの性能評価と至適運用に関する調査研究, 平成14年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(1))研究成果報告書, 2002. 研究課題番号13897015 (1)九大・院・画像情報, (2)大歯大・歯放, (3)東医歯大・院・口腔放射線医学, (4)昭和大・歯・歯放, (5)九大・医短・数学・情報科学, (6)鶴見大・歯・歯放
- 和光 衛: デジタル画像とインプラント, 千葉市歯科医師会学術委員会 新々学術かわら版, 2002. 千葉市歯科医師会平成14年度第1回学術講演会
- 山本一普, 宮地利明⁽¹⁾: 国際学会見聞記 CARS2002に参加して, 映像情報 MEDICAL **34**(12), 1166~1169, 2002. (1)金沢大・医・保健
- 早川吉彦, 澁谷仁志, 山本一普: パーチャルカーソルを活用したステレオグラフィーによる歯・顎骨3次元再構成像の評価, 平成14年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究実績報告書 2003. 研究課題番号14571801

学会抄録

- 村上賢一郎⁽¹⁾, 谷本啓二⁽²⁾, 瀬上夏樹⁽³⁾, 和光 衛: 顎関節外傷における画像診断の役割, 歯放線 **42**(2), 153, 2002. (日本歯科放射線学会第7回画像診断臨床大会, 横浜市) シンポジウム (1)京大・医・口外, (2)広大・歯・顎口腔医療, (3)金沢医大・口腔科

- 2 . 四井資隆⁽¹⁾, 林 孝文⁽²⁾, 和光 衛, 谷本啓二⁽³⁾, 中山英二⁽⁴⁾, 米津康一⁽⁵⁾: 顎関節画像診断における CT の役割, 歯放線 42(2), 156, 2002 . (日本歯科放射線学会第7回画像診断臨床大会, 横浜市) シンポジウム (1)大歯大・歯放, (2)新大・院・顎顔面放射線, (3)広大・歯・顎口腔医療, (4)九大・院・画像情報, (5)長崎大・歯・歯放
- 3 . 原田卓哉, 和光 衛, 武田栄三⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾: 両側性に発生した多発性顎下リンパ節炎の画像所見, 歯放線 42(2), 166 ~ 167, 2002 . (日本歯科放射線学会第7回画像診断臨床大会, 横浜市) (1)口外
- 4 . Wakoh, M., Yamamoto, K., Harada, T., Yakushiji, T.⁽¹⁾, Shibahara, T.⁽¹⁾, Noma, H.⁽¹⁾: Diagnostic imaging for a case of arteriovenous malformation on maxillary alveolar region, 4th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology(ACOMFR) Program and Abstracts, 35 ,2002 .(4th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology(ACOMFR) Kaohsiung, Taiwan) (1)口外
- 5 . Hayakawa, Y., Yamamoto, K., Kousuge, Y., Wakoh, M. : Characteristics of a mega - pixel intraoral sensor and the application for tomo - synthesis, 4th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology (ACOMFR) Program and Abstracts, 39 ~ 40 , 2002 . (4th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology (ACOMFR) Kaohsiung, Taiwan)
- 6 . 原田卓哉, 和光 衛, 武田栄三⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾: 多発性顎下リンパ節炎についての超音波検査の有用性, 歯科学報 102(6), 525, 2002 . (第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外
- 7 . 山内智博⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 古谷義隆⁽¹⁾, 野村武史⁽¹⁾, 櫻井 薫⁽²⁾, 杉山哲也⁽²⁾, 安藤友彦⁽²⁾, 小林健一郎⁽²⁾, 和光 衛, 見明康雄⁽³⁾: HA 薄膜コーティングインプラントの有用性に関する実験的研究, 日本顎顔面インプラント学会誌 1(1), 55, 2002 . (第5回日本顎顔面インプラント学会総会, 京都市) 実動施設 (1)口外 , (2)補綴 , (3)超微構造
- 8 . 野村真弓⁽¹⁾, 茂木悦子⁽¹⁾, 佐々木美央⁽¹⁾, 竹内史江⁽¹⁾, 高根ユミ⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 山本一普, 和光 衛: 埋伏歯を伴う歯列不正における X線 CT 三次元画像の有用性, 歯科学報 102(10), 818, 2002 . (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)矯正
- 9 . 原田卓哉, 和光 衛, 片倉 朗⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾: 頸部リンパ節疾患を対象とした超音波検査における画像所見の検討(第1報) 正常, 炎症性ならびに転移リンパ節超音波画像上のエコーレベルおよびドップラー所見の比較 , 歯科学報 102(10), 828, 2002 . (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)口外
- 10 . 和光 衛, 原田卓哉, 西川慶一, 山内智博⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 杉山哲也⁽²⁾, 櫻井 薫⁽²⁾: 口内法デジタルエックス線画像を用いた骨内インプラント治療経過に伴う骨構造変化の定量解析, 歯科学報 102(10), 829, 2002 . (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)口外 , (2)補綴
- 11 . Hayakawa, Y., Yamamoto, K., Kobayashi, N., Kousuge, Y., Wakoh, M., Farman, A. G.⁽¹⁾: Characteristics of mega - pixel intra - oral detector and the application for three - dimensional dento - alveolar imaging by tomo - synthesis, Radiol 225(Suppl), 713 , 2002 . (88th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America RSNA 2002, Chicago, Illinois, USA) (1)School of Dent., University of Louisville

12. 茂木悦子⁽¹⁾, 宮崎晴代⁽²⁾, 野村真弓⁽¹⁾, 高根ユミ⁽¹⁾, 片山裕美⁽¹⁾, 北総博之⁽¹⁾, 鈴木祥子⁽¹⁾, 芳野亜希子⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 谷田部賢一⁽²⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 関口 基⁽³⁾, 尾崎至郎⁽³⁾, 平井基之⁽⁴⁾, 石井 武⁽⁵⁾, 井上 孝⁽⁶⁾, 石原和幸⁽⁷⁾, 奥田克爾⁽⁷⁾, 眞木吉信⁽⁸⁾, 山中すみへ⁽⁸⁾, 佐藤 亨⁽⁹⁾, 和光 衛, 高根 宏⁽¹⁰⁾: 8020研究の概要と今後の展望, 第11回千葉県歯科医学大会プログラム・抄録集, 86, 2003. (第11回千葉県歯科医学大会, 千葉市)
(1)矯正, (2)東歯大・矯正, (3)千葉県歯科医師会, (4)東京都, (5)沖縄県, (6)臨検査, (7)微生物, (8)衛生, (9)補綴, (10)千葉県
13. 西川慶一, 和光 衛, 原田卓哉, 菅菅裕治: 歯科インプラント治療における経過観察支援のための Digital Subtraction 法による骨形態変化の定量解析 第1報 変化検出用しきい値の最適化, 歯放線 43(1), 23, 2003. (日本歯科放射線学会第192回関東地方会, 東京)
14. 浅田洗一⁽¹⁾, 和光 衛, 瀬上夏樹⁽²⁾, 谷本啓二⁽³⁾: 顎関節の炎症性疾患における画像診断の役割, 歯放線 42(2), 151, 2003. (日本歯科放射線学会第7回画像診断臨床大会, 横浜市) シンポジウム (1)鶴見大・歯・口外2, (2)金沢医大・口腔科, (3)広大・歯・顎口腔医療
15. 高根ユミ⁽¹⁾, 野村真弓⁽¹⁾, 茂木悦子⁽¹⁾, 佐々木美央⁽¹⁾, 竹内史江⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 山本一善, 和光 衛: X線 CT 三次元画像における埋伏歯を伴う歯列不正への有用性, プログラム・抄録集, 12~13, 2003. (第8回日本コンピュータ歯科医学会, 東京) (1)矯正

13. スポーツ歯学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	石上 恵一	咬合と重心動揺 (A98 0508 1)
講師	武田 友孝	マウスガードの衝撃吸収能について (A00 0790 2)
助手	中島 一憲	咬合と運動パフォーマンス (A98 0508 2)
病院助手	小川 透	スポーツと咬合の関連について (A00 0790 8)
	川村慎太郎	スポーツにおける身体運動時の口腔内状態 (A00 0790 12)
	半田 潤	頭部に生ずる加速度に対する噛みしめ、マウスガードの影響 (A00 0790 11)
	渋谷 真美	マウスガードのデザインが頭頸部の安全性に及ぼす影響 (A00 0790 14)
大学院生	保科 早苗	マウスガードの厚径変化に関する研究 (A00 0790 5)

2. 成果の概要

1) 咬合と全身状態、スポーツパフォーマンスについて

スポーツにおいて生ずる頭部への加速度は、頭位・姿勢の変化を惹起しスポーツパフォーマンスに影響し、またその値がある閾値を超えた場合には脳震盪などの脳傷害、頸椎への損傷の原因となる。この加速度の発生に影響する因子としては、頸部の長さ、太さ、アライメントなどの解剖学的個体差、頸部の筋力、外来刺激に対する反応時間などの運動能力などが挙げられる。したがって、頭部への加速度の軽減のための顎口腔系の条件として、咬合の確立、正しい咬合を有するマウスガード、スプリントの装着、すなわち、顎口腔系の状態の改善、適切なマウスガードの装着によるかみ締め力の増大および早期の筋活動が、頭頸部の固定の増強に寄与し、スポーツパフォーマンスの向上、頭頸部の損傷予防に有効と考えられる。

2) マウスガードの安全性について

種々のスポーツ、特にコンタクトスポーツにおける顎顔面領域への障害防止対策として、マウスガードの使用が注目され、実際様々なタイプものが使用されつつある。しかしカスタムメイドタイプと現在多くの選手に使用されている市販のタイプとでは、装着感のもとよりその安全性においても大きな隔りがある。すなわち、不適切なタイプでは異物感が強く、会話等を阻害し使用が不可能であったり、また外傷の予防に十分な衝撃吸収能を得るだけの厚みを確保するのは難しい。さらに、適切な咬合関係の付与がなされていないマウスガードでは、顎関節症を誘発してしまうケースが多く認められるばかりか、外力が加わった際に早期接触部位が支点となりかえって骨折の可能性を増大してしまう事になる。そこで、適切なマウスガードの啓発、普及が必要と考えられる。

3) マウスガードの物性に関して

適切なマウスガードは、十分な衝撃吸収能を有しかつ製作過程および使用により変形、損傷等起こしてはならない。衝撃吸収能は、その能力が高いほど歯牙および粘膜の保護、また下顎へ加わった衝撃の上顎歯列および頭蓋への緩衝に有効と考えられる。そこで、衝撃吸収能測定およびより高い安全な材料の開発を進め、さらに製作過程および加圧などの条件下における厚みの減少および変形量についても検討を行っている。また、若年者においてはマウスガードの装着が成長発育を阻害してはならないことより、この時期に適したマウスガード材の開発も行っている。さらにラミネートタイプのマウスガードの耐久性は、材料そのものの機械的強度もさる事ながら十分な接着強度が必要でありその定量および接着性の向上に及ぼす溶剤の使用、接着面の削合、加熱条件などについても多方面より検討している。

Dental Materials 18, 211 ~ 215, 2002.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学 外 研 究 施 設		
		研究施設	所在地	責任者
石上 恵一	スポーツ選手の外傷認識度	日本大学歯学部	東京	月村 直樹
石上 恵一 武田 友孝	スポーツ選手の外傷認識度	慶熙大学	韓国	崔大 均
石上 恵一	マウスガード材の開発とその 衝撃吸収能について	自衛隊仙台病院	仙台市	片山幸太郎
石上 恵一	ラミネートマウスガードの 接着強さについて	モルテンメディカル	東京	播戸日出男
石上 恵一	聴性脳幹反応(ABR)と 顎関節の形態について	日本大学歯学部	東京	篠田 宏司
石上 恵一 武田 友孝	A study on the shock ab- sorption ability of the mouthguard materials	シドニー大学歯学部 バイオマテリアル研究室	オーストラリア	Michael Swain
		香港大学保存学教室	中国	Danny Low

4. 研究活動の特記すべて事項

学会招待講演

講演者	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2002.11.2	スポーツ歯学	日本臨床スポーツ医学会 学術大会	名古屋市
石上 恵一	2002.11.24	スポーツ歯学	第611回日本鍼灸師会学術 講演会	東京

5. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2002.5.25	マウスガード実習セミナー	広島県歯科医師会	広島市
石上 恵一	2002.6.29	マウスガード実習セミナー	沖縄県SHP協議会設立 学術講演会	沖縄市
石上 恵一	2002.7.14	臨床家のためのスポーツ歯学	兵庫県歯科医師会生涯研修 セミナー	神戸市
石上 恵一	2002.7.28	マウスガード実習セミナー	東京歯科大学同窓会渋谷支部	東京
石上 恵一 深町 元秀	2002.10.5	スポーツ歯学	新潟県三条市歯科医師会 学術講演会	三条市
石上 恵一	2002.10.18	スポーツ歯学	千葉県市川市歯科医師会 学術講演会	市川市
石上 恵一	2002.10.20	スポーツ歯学	中国五県歯科医学会学術大会	中国

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2002.10.27	スポーツ歯学	栃木県歯科医学会学術大会	宇都宮市
石上 恵一	2002.12.7	スポーツ歯学	熊本県東京歯科大学同窓会 蘇山会学術講演会	熊本市
石上 恵一	2003.1.19	スポーツ歯学	島根県歯科医師会学術講演会	松江市
石上 恵一 武田 友孝	2003.2.2	スポーツ歯学	佐賀県歯科医師会学術講演会	佐賀市
石上 恵一	2003.2.20	スポーツ歯学	千葉県佐原市香取郡歯科 医師会学術講演会	佐原市
石上 恵一	2003.3.1	スポーツ歯学	群馬県桐生市体育協会 スポーツ講演会	桐生市
石上 恵一	2003.3.8	スポーツ歯学	東京都世田谷区玉川歯科 医師会学術講演会	東京
石上 恵一	2003.3.19	スポーツ歯学	神奈川県横浜市都筑区歯科 医師会学術講演会	横浜市

単行図書

1. 石上恵一：単著：カスタムメイドタイプマウスガードのつくり方，医歯薬出版，東京，2002．A98 0508 1

学会抄録

1. 川村慎太郎，小川 透，中島一憲，小島一郎⁽¹⁾，半田 潤，高田英記⁽²⁾，塩野英昭⁽¹⁾，島田 淳⁽¹⁾，武田友孝，石上恵一：スポーツ外傷の発生要因第一報：パックなどの相違が加衝力に与える影響，日補綴歯会誌 46（特別号），150，2001．（第107回日本補綴歯科学会学術大会，東京）A00 0790 12 (1)水病・スポーツ歯科，(2)解剖
2. 小川 透，深町元秀⁽¹⁾，中島一憲，清川由紀⁽¹⁾，川村慎太郎，澁澤真美，保科早苗，島田 淳⁽¹⁾，武田友孝，石上恵一：顎顔面のスポーツ外傷について社会人と高校生の比較，日補綴歯会誌 46（特別号），174，2002．（第107回日本補綴歯科学会学術大会，東京）A00 0790 8 (1)水病・スポーツ歯科
3. Takeda, T., Ishigami, K., Ogawa, T., Nakajima, K., Kawamura, S., Shimada, A.⁽¹⁾：Impact power of the oro-facial sports trauma factors and the Mouthguard effect, 2nd International Symposium on Sport Dentistry and Dental Trauma Program, 2002．（2nd International Symposium on Sport Dentistry and Dental Trauma, Berne, Switzerland）A00 0790 2 (1)水病・スポーツ歯科
4. 澁澤真美，半田 潤，小川 透，清川由紀⁽¹⁾，小島一郎⁽¹⁾，川村慎太郎，深町元秀⁽¹⁾，保科早苗，中島一憲，島田 淳⁽¹⁾，武田友孝，石上恵一：マウスガードの厚みに関する研究，日補綴歯会誌 46（特別号），207，2002．（第108回日本補綴歯科学会学術大会，名古屋市）A00 0790 14 (1)水病・スポーツ歯科
5. 川村慎太郎，小川 透，半田 潤，澁澤真美，保科早苗，中島一憲，島田 淳⁽¹⁾，武田友孝，石上恵一：スポーツ外傷の発生要因加衝物およびマウスガードの相違の影響，日臨スポーツ医会誌 10(4)，86，2002．（第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会，名古屋市）A00 0790 12 (1)水病・スポーツ歯科
6. 中島一憲，小川 透，保科早苗，島田 淳⁽¹⁾，武田友孝，石上恵一：咬合挙上が身体運動反応時間に及ぼす影響 その2，日臨スポーツ医会誌 10(4)，108，2002．（第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会，名古屋市）A98 0508 2 (1)水病・スポーツ歯科
7. 川村慎太郎，小川 透，中島一憲，小島一郎⁽¹⁾，半田 潤，高田英記⁽²⁾，島田 淳⁽¹⁾，武田友孝，石上恵一：スポーツ外傷の発生要因 パール，パックなどの相違が衝撃力に与える影響(その2)，スポーツ歯 6(1)，66，2003．（第13回日本スポーツ歯科医学会，大分市）A00 0790 12 (1)水病・スポーツ歯科，(2)解剖
8. 大野 繁⁽¹⁾，月村直樹⁽¹⁾，土手秀美⁽¹⁾，富田貴志⁽²⁾，松尾 円⁽²⁾，福田 稔⁽²⁾，本田和也⁽³⁾，紙本 篤⁽³⁾，高橋康男⁽³⁾，小島一郎⁽⁴⁾，深町元秀⁽⁴⁾，武田友孝，石上恵一：下顎骨骨折後に調整したラミネートマウスガードのデザイン，スポーツ歯 6(1)，77，2003．（第13回日本スポーツ歯科医学会学術大会，大分市）(1)日大・歯・スポーツ歯科，日大・歯・補綴，(2)日大・歯・補綴，(3)日大・歯・スポーツ歯科，(4)水病・スポーツ歯科
9. 土手秀美⁽¹⁾，月村直樹⁽¹⁾，大野 繁⁽¹⁾，富田貴志⁽²⁾，松尾 円⁽²⁾，本田和也⁽³⁾，紙本 篤⁽³⁾，高橋康男⁽³⁾，小島一郎⁽⁴⁾，深町元秀⁽⁴⁾，武田友孝，石上恵一：下顎歯槽骨骨折後に調整したラミネートマウスガードのデザイン，スポーツ歯 6(1)，78，2003．（第13回日本スポーツ歯科医学会学術大会，大分市）(1)日大・歯・スポーツ歯科，日大・歯・補綴，(2)日大・歯・補綴，(3)日大・歯・スポーツ歯科，(4)水病・スポーツ歯科

14. 臨床検査学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	井上 孝	歯髄・歯根膜組織および Dental implant 周囲組織細胞の分化の解析
講師	松坂 賢一	Dental implant の基礎的研究
病院助手	村上 聡	レーザーの生体組織への影響に関する基礎的研究
大学院生	小池 吉彦	エナメル基質タンパクの硬組織形成能に関する研究
専攻生	小出 直弘	レーザーの基礎的研究

2. 成果の概要

1) 歯根膜組織および Dental implant 周囲組織細胞の分化の解析

本研究の目的は、歯根膜組織および歯槽骨の持つ特性やその動態を検索し、歯根膜細胞のセメント芽細胞への分化を引き起こす因子の解析や、歯槽骨新生のための要因を検討するとともに、歯科インプラント等の生体材料に対する生体の組織反応を検討し、歯根膜誘導の可能性を探ることである。歯根膜組織および歯槽骨の動態を検討するため、in vivo の実験系では移植や創傷治癒過程を検討するとともに、in vitro では、培養細胞を用いて、歯根膜組織および歯槽骨細胞の特性を検討して、骨芽細胞への分化増殖因子を検索している。さらに、インプラント材料や移植材料に対する反応を同様の実験系によって検討している。インプラント材料表面の微細構造が細胞動態に与える影響を検索したところ、骨芽細胞では、深さと幅が数 μm の微細溝を有する材料上で、溝に沿って増殖、配列するとともに、石灰化能が上昇する。微細な溝をインプラント表面に応用することで、インプラント周囲の細胞動態を制御することが可能となった。

Clin Oral Impl Res 13, 243 ~ 251, 2002 .

Biomaterials 23, 2879 ~ 2885, 2002 .

Materials Trans 43, 2494 ~ 2501, 2002 .

J Biomed Mater Res 65A, 359 ~ 368, 2003 .

2) 歯髄組織の動態解析

歯髄組織の発生、加齢変化、象牙芽細胞への分化、種々の薬剤に対する組織反応を検討することにより、歯髄組織の動態、象牙質形成能や歯髄組織保存の可能性を in vivo ならびに in vitro の系で検討する。これらの研究を遂行するためには、組織学的ならびに電子顕微鏡の検索を基本とした形態計測に加え、生化学的検索や RNA の発現、局在を検索するための in situ hybridization や RT - PCR 法、タンパク質の変化を western blot、免疫組織化学的検索、免疫電顕などの手法を用いる。平成14年度にはビーグル犬の歯牙に対して 4-META-TBB レジンを応用することによって歯髄細胞の動態を検索した。

日歯保存誌 45, 434 ~ 440, 723 ~ 728, 2002 .

3) 口腔内病変に関する臨床研究

本研究は、東京歯科大学千葉病院および水道橋病院口腔外科において細胞診、組織診、手術材料として得られた口腔病変の検体を用いて、病理組織学的に検討すると共に、免疫組織化学的、超微構造的に検索し、腫瘍細胞の特性や腫瘍発生を明らかにしていく。平成14年度には歯原性腫瘍のアメロジェニンの発現について明らかになった。

Bull Tokyo Dent Coll 43, 181 ~ 185, 2002 .

日口腔腫瘍会誌 14, 63 ~ 69, 2002 .

Bull Tokyo Dent Coll 43, 173 ~ 180, 2002 .

医学検査 51, 1410 ~ 1413, 2002 .

Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 94, 774 ~ 780, 2002 .

Oral Oncol 39, 199 ~ 203, 2003 .

3 . 学外共同研究

担当者	研究課題	学 外 研 究 施 設		
		研究施設	所在地	責任者
井上 孝	象牙質・歯髄複合体の病態生理	アラバマ大学バーミングハム校・歯学部	アメリカ合衆国	S. Suzuki
井上 孝	ポーラスタイプインプラントの組織親和性	トロント大学・歯学部	カナダ	D. A. Deporter
井上 孝 松坂 賢一	歯根膜細胞の再生とその機能	プリティッシュコロンビア大学・歯学部	カナダ	D. M. Brunette
松坂 賢一	インプラントと組織界面	ナイメーヘン大学・歯学部	オランダ	J. A. Jansen
井上 孝 松坂 賢一	インプラントと組織界面	日本大学・歯学部	東京	小木曾文内

4 . 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
井上 孝	唾液検査とオーダーメイド治療	口腔科学研究センター
岩久 正明	新たな歯科治療技法等による治療技術開発に関する総合研究	厚生省科学研究費
井上 孝	Tissue engineering により作られたハニカム構造を持つ人工歯根膜	科学研究費・基盤 (A)

5 . 研究活動の特記すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
井上 孝	2002 . 8 23	歯髄・歯根膜の再生とインプラント	第13回日本口腔病理学会	東京
井上 孝	2002 .11 22	接着性レジンを用いた再生工学的アプローチ	第117回日本歯科保存学会 秋季大会	徳島市
井上 孝	2003 . 1 26	象牙質・歯髄複合体と接着性レジンおよびレーザー	第21回日本接着歯学会	新潟市

学会招待講演

講演者	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2002 . 4 . 13	過去・現在・未来のなるほど 歯科学	第20回日本顎咬合学会	東京
井上 孝	2002 . 8 . 5	Pitfalls on salivary gland neo- plasm	International association of oral pathologists (IAOP)	Singapore
井上 孝	2002 . 10 . 21	インプラント研究の最先端	北京大学教学医学院全軍口腔 医学会	北京

6 . 教育講演等教育に関する業績 , 活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2002 . 4 . 6	エビデンス・レスの歯科医療	東京歯科大学同窓会広島支部 総会	広島市
井上 孝	2002 . 4 . 17	Self - learning の重要性	平成14年度東京歯科大学新入生 学外セミナー	千葉市
井上 孝	2002 . 4 . 21	口腔粘膜の治癒と骨の治癒および 骨代謝	九州インプラント研究会	熊本市
井上 孝	2002 . 4 . 28	インプラントに対する生体反応	新潟再生医療研究会	新潟市
井上 孝	2002 . 5 . 18	インプラントの病態学	日本歯科先端技術研究所	東京
井上 孝	2002 . 9 . 14	インプラントの病理学	北海道形成歯科研究会	札幌市
井上 孝	2002 . 6 . 23	インプラントにおける病理学的 な基礎知識	日本インプラント臨床研究会	東京
井上 孝	2002 . 5 . 19	インプラント周囲組織の病理学	大阪インプラント研究会	大阪市
井上 孝	2002 . 6 . 22	最新歯科治療の舞台裏	東京歯科大学同窓会東北地域 支部連合会	青森市
井上 孝	2002 . 7 . 2	先端歯科医療とインプラント	渋谷区歯科医師会	東京
井上 孝	2002 . 7 . 13	院内感染・医療事故	東京歯科大学同窓会・山梨 支部総会	甲府市
井上 孝	2002 . 7 . 19	インプラントと再生医療の最先端	一関歯科医師会	一関市
井上 孝	2002 . 9 . 28	病理学から歯科臨床を考える	二木会	山形市
井上 孝	2002 . 10 . 13	信頼の歯科医療	実りの会	岡崎市
井上 孝	2002 . 10 . 26	臨床における病理学	北見市歯科医師会	北見市
井上 孝	2002 . 11 . 13	口腔ケアと病気の予防について	青森県保健委員会	青森市
井上 孝	2002 . 11 . 30	インプラントと再生医療	和歌山県インプラント研究会	白浜市
井上 孝	2002 . 12 . 8	疑ってみよう臨床の常識、覗いて みよう病理の世界	千葉県デンタルスタッフセミナー	千葉市
井上 孝	2002 . 12 . 15	Microcosmos of tissue engi- neering	長崎大学歯周病フォーラム	長崎市
井上 孝	2002 . 12 . 22	Evidenceless 歯科医療	千葉スタディグループ	千葉市

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
井上 孝 松坂 賢一	2003 . 1 .19	金属アレルギー おいしく食べよう	コバック	東京
井上 孝	2003 . 3 .22	Evidence based dentistry	歯遊会	福岡市

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地	備 考
井上 孝	2002 . 6 . 4	第7回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市	
井上 孝	2002 . 7 .26	平成14年度教育ワークショップ ・発生学	作業グループ 委員長	千葉市	
井上 孝	2002 . 7 .31 ~ 8 . 2	私立大学教育ワークショップ	参加者	浜松市	

論 文

- 1 . Ikeda, H.⁽¹⁾, Shiraiwa, M.⁽¹⁾, Yamaza, T.⁽²⁾, Yoshinari, M.⁽³⁾, Kido, M. A.⁽⁴⁾, Ayukawa, Y.⁽⁵⁾, Inoue, T., Koyano, K.⁽¹⁾, Tanaka, T.⁽⁴⁾ : Difference in penetration of horseradish peroxidase tracer as a foreign substance into the peri - implant or junctional epithelium of rat gingivae, Clin Oral Impl Res **13**, 243 ~ 251 , 2002 . 原著 A 0611 3 (1)九大・大学院・補綴, (2)九大院歯・保存, (3)理工, (4)九大・大学院・口腔常態制御学, (5)九大・大学院・口腔機能修復学
- 2 . Yoshinari, M.⁽¹⁾, Inoue, T., Matsuzaka, K., Abe, S.⁽²⁾, Miake, Y.⁽³⁾, Shibahara, T.⁽⁴⁾, Kato, T.⁽⁵⁾, Hirayama, A.⁽⁶⁾ : Development of smart biomaterials modified with salivary proteins, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2), 148 ~ 151 , 2002 . 総説 (1)理工, (2)解剖, (3)超微構造, (4)口外 , (5)微生物, (6)RI 研
- 3 . 野村幸恵⁽¹⁾, 野間弘康⁽²⁾, 横尾恵子⁽²⁾, 野村武史⁽²⁾, 矢島安朝⁽²⁾, 山 満⁽¹⁾, 高野正行⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 井上 孝 : 明確な腫瘍塊を形成しなかった顎骨腺様嚢胞癌の1例, 日口腔腫瘍会誌 **14**(2), 63 ~ 69 , 2002 . 症例 A 0611 2 (1)水病・口外科, (2)口外
- 4 . 井上 孝, 松坂賢一, 村上 聡, 小池吉彦, 宮越照一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾ : BMP 含有4 - META/MMA - TBB 接着性レジンの骨形成に関する実験的研究, 日歯保存誌 **45**(3) 434 ~ 440 , 2002 . 原著 A 0611 1 , HRC982A01 細形研 実動施設 (1)サンメディカル(株), (2)病理
- 5 . Matsuzaka, K., Shimono, M.⁽¹⁾, Uchiyama, T.⁽²⁾, Noma, H.⁽³⁾, Inoue, T. : Lesions related to the formation of bone, cartilage or cementum arising in the oral area : a statistical study and review of the literature, Bull Tokyo Dent Coll **43**(3), 173 ~ 180 , 2002 . 原著 A 0611 2 (1)病理, (2)口外 , (3)口外
- 6 . Matsuzaka, K., Hayashi, S.⁽¹⁾, Sasaguri, K.⁽²⁾, Sato, S.⁽²⁾, Takemoto, K.⁽³⁾, Shimono, M.⁽³⁾, Inoue, T. : Cell proliferation and expression of Cbfa - 1 in a peripheral osteo - chondroma arising from the mandibular oral mucosa of an edentulous alveolar ridge, Bull Tokyo Dent Coll **43**(3), 181 ~ 185 , 2002 . 原著 A 0611 2 細形研 (1)神奈川県, (2)神奈川県大・矯正, (3)病理
- 7 . 小池吉彦, 村上 聡, 松坂賢一, 下野正基⁽¹⁾, 井上 孝 : 歯根嚢胞の裏装上皮における human β -defensin - 2 の発現, 日歯保存誌 **45**(4), 723 ~ 728 , 2002 . 原著 A 0611 5 細形研 (1)病理
- 8 . 仙波利寿⁽¹⁾, 城代みゆき⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : 下顎骨 転移性腫瘍の一例, 医学検査 **51**(10), 1410 ~ 1413 , 2002 . 症例 A 0611 2 (1)千病・臨検
- 9 . Wakoh, M.⁽¹⁾, Harada, T.⁽¹⁾, Inoue, T. : Follicular/desmoplastic hybrid ameloblastoma with radiographic features of concomitant fibro - osseous and solitary cystic lesions, Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod **94**, 774 ~ 780 , 2002 . 原著 A 0611 2 (1)歯放
- 10 . Suzuki, M.⁽¹⁾, Inoue, T., Shimono, M.⁽²⁾, Yamada, S.⁽¹⁾ : Behavior of epithelial root sheath during tooth root formation in porcine molars : TUNEL, TEM, and immunohistochemical studies, Anat Embryol **206**(1 - 2), 13 ~ 20 , 2002 . 原著 A 0611 4 , HRC982A01 細形研 実動施設 (1)保存 , (2)病理

- 11 . Yoshinari, M.⁽¹⁾, Oda, Y.⁽¹⁾, Inoue, T., Matsuzaka, K., Shimono, M.⁽²⁾ : Bone response to calcium phosphate - coated and bisphosphonate - immobilize titanium implants, *Biomaterials* **23** , 2879 ~ 2885 , 2002 . 原著 A 0611 3 , HRC992C01 (1)理工 , (2)病理
- 12 . 下野正基⁽¹⁾ , 井上 孝 : 歯周組織の再生 国際歯科学士会日本部会雑誌 **33**(1) , 49 ~ 52 , 2002 . 総説 A 0611 4 (1)病理
- 13 . Yoshinari, M.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Inoue, T., Oda, Y.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾ : Bio - functionalization of titanium surfaces for dental implants, *Materials Trans* **43**(10) , 2494 ~ 2501 , 2002 . 総説 A 0611 3 , HRC992C01 (1)理工 , (2)病理
- 14 . Haraguchi, T.⁽¹⁾, Yamane, G.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Inoue, T. : The effect of aging on the differentiation of rat osteoblast - like cell in vitro, *Biomed Res* **24**(1) , 1 ~ 8 , 2003 . 原著 A 0611 1 , HRC982A01 学位論文 細形研 実動施設 (1)市病・オーラルメディシン , (2)病理
- 15 . 秦 暢宏⁽¹⁾ , 仙波利寿⁽¹⁾ , 川原由里香⁽¹⁾ , 萩田恵子⁽¹⁾ , 才藤純一⁽¹⁾ , 田崎雅和⁽²⁾ , 小池吉彦 村上 聡 松坂賢一 , 井上 孝 : 東京歯科大学千葉病院臨床検査部における味覚検査依頼患者の臨床統計, *歯科学報* **103**(3) , 254 ~ 259 , 2003 . 臨床 (1)千病・臨検 , (2)生理
- 16 . Muramatsu, T.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽¹⁾, Lee, M. W.⁽¹⁾, Chung, C. K.⁽¹⁾, Matsuzaki, H.⁽¹⁾, Inoue, T., Noma, H.⁽²⁾, Shimono, M.⁽¹⁾ : Oncocytic carcinoma arising in submandibular gland with immunohistochemical observations and review of the literature, *Oral Oncol* **39** , 199 ~ 203 , 2003 . 症例 A 0611 2 (1)病理 , (2)口外

単行図書

- 1 . 井上 孝 , 松坂賢一 : 共著 : チェアサイドのまず臨床検査からガイドブック , デンタルダイヤモンド社 , 東京 , 2002 .
- 2 . 井上 孝 , 小池吉彦 , 村上 聡 , 松坂賢一 , 安彦善裕⁽¹⁾ : 共著 : Dental Tissue Engineering の幕開け生体はどこまで再生が可能か , クインテッセンス出版 , 東京 , 2003 . (1)北医療大・歯・口病
- 3 . 井上 孝 : 著分担 : 医学書院医学大辞典(初版)(a)遺伝性象牙質形成不全症 130頁 , (b)円錐歯 272頁 , (c)カラベリ結節 415頁 , (d)硬性歯牙腫 805頁 , (e)フルニエ歯 2180頁 , 医学書院 , 東京 , 2003 .

プロシーディングス

- 1 . Ishizaki, K.⁽¹⁾, Tazaki, M.⁽²⁾, Inoue, T., Shimono, M.⁽³⁾, Sakurai, K.⁽¹⁾ : Morphological changes occurred on merkel cells of denture underlying mucosa, *The Merkel Cell*, 33 ~ 36 , 2002 . (International Merkel Cell Symposium, Humburg, Germany) K. I. Baumann · Z. Hzlztz · I. Mol(Eds .), A 0611 6 , HRC982A01 (1)補綴 , (2)生理 , (3)病理
- 2 . Suzuki, Y.⁽¹⁾, Inoue, T., Tazaki, M.⁽²⁾, Shimono, M.⁽³⁾, Satou, T.⁽¹⁾ : A study on sensory system of the peri - implant tissue - behavior of merkel cell and nerve fibers, *The Merkel Cell*, 37 ~ 40 , 2002 . (International Merkel Cell Symposium, Humburg, Germany) K. I. Baumann · Z. Hzlztz · I. Mol(Eds .), A 0611 3 , 6 , HRC982A01 細形研 (1)補綴 , (2)生理 , (3)病理

- 3 . Tazaki, M.⁽¹⁾, Tazaki, Y.⁽¹⁾, Inoue, T., Shimono, M.⁽²⁾: Voltage - dependent calcium channels in merkel cells of hamster oral mucosa, The Merkel Cell, 143~146, 2002 . (International Merkel Cell Symposium, Humburg, Germany) K. I. Baumann・Z. Hlzlitz・I. Mol(Eds .), A 0611 6, HRC982A01 (1)生理, (2)病理
- 4 . 井上 孝: インプラントの組織反応, 国際歯科学士会日本部会雑誌 33(1), 62~66, 2002 . (国際歯科学士会日本部会第32回冬季学会, 東京) A 0611 3

そ の 他

- 1 . 雨宮 啓⁽¹⁾, 井上 孝: 即時負荷をかけたインプラント周囲骨の組織学的・組織形態学的評価: カニクイザルを用いた実験, Quintessence Dent Imp 9(4), 111~119, 2002 . (1)歯麻
- 2 . 井上 孝, 松坂賢一, 村上 聡, 小池吉彦, 下野正基⁽¹⁾: 根尖病巣の組織像からわかること, Quintessence 21(4), 47~49, 2002 . (1)病理
- 3 . 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室での簡易検査法 もしも...の患者が来院したら 院内感染, デンタルダイヤモンド 27(6), 130~131, 2002 . (1)千病・臨検
- 4 . 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室での簡易検査法 もしも...の患者が来院したら 全身状態の異常を疑う患者, デンタルダイヤモンド 27(7), 130~131, 2002 . (1)千病・臨検
- 5 . 勢島 尚⁽¹⁾, 井上 孝: インプラント治療における骨造成のための人工代替材料の培養破骨細胞による吸収について, Quintessence Dent Imp 9(6), 788~798, 2002 . (1)理工
- 6 . 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室内での簡易検査法 もしも...の患者さんが来院したら 口腔内糜爛・潰瘍, デンタルダイヤモンド 27(8), 144~145, 2002 . (1)千病・臨検
- 7 . 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室内での簡易検査法 もしも...の患者さんが来院したら 喫煙の疑い, デンタルダイヤモンド 27(9), 136~137, 2002 . (1)千病・臨検
- 8 . 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: なぜ創傷の治癒なのか? 歯科医療は創傷の中にある , 歯界展望 100(1), 79~86, 2002 . (1)東京都
- 9 . 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室内での簡易検査法 もしも...の患者さんが来院したら インフルエンザと歯科, デンタルダイヤモンド 27(10), 128~129, 2002 . (1)千病・臨検
- 10 . 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: なぜ治りが悪い? 創傷の治癒とパトン , 歯界展望 100(2), 311~316, 2002 . (1)東京都
- 11 . 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室内での簡易検査法 もしも...の患者さんが来院したら アデノウィルスと院内感染, デンタルダイヤモンド 27(12), 134~135, 2002 . (1)千病・臨検
- 12 . 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: なぜ治りが悪い? 2 感染と糖尿病 , 歯界展望 100(3), 577~582, 2002 . (1)東京都
- 13 . 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室内での簡易検査法 もしも...の患者さんが来院したら 味が変?, デンタルダイヤモンド 27(13), 138~139, 2002 . (1)千病・臨検

14. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: 口腔内の特殊性 なぜ傷が早く治るのか , 歯界展望 100(4), 811~816, 2002 .
(1)東京都
15. 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室での簡易検査法 もしも...の患者が来院したら 口が臭い? ,
デンタルダイヤモンド 27(15), 136~137, 2002 . (1)千病・臨検
16. 井上 孝, 小山隆夫⁽¹⁾, 紅林尚樹⁽²⁾, 福島久典⁽³⁾, 前田伸子⁽⁴⁾, 宮下裕志⁽¹⁾, 吉田匡宏⁽³⁾: 特集科学に裏付けられ
た根管治療への第一歩, 歯界展望 100(5), 961~972, 2002 . (1)東京都 (2)神奈川県 (3)大歯大・細菌 (4)鶴見大・
歯・口腔細菌
17. 井上 孝, 松坂賢一, 村上 聡, 小池吉彦: 特集科学に裏付けられた根管治療への第一歩 根尖歯周組織
の病態とその治療の基礎を考える, 歯界展望 100(5), 973~977, 2002 .
18. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: 歯根膜の創傷の治療 歯牙移植と歯根膜 , 歯界展望 100(5), 1041~1046,
2002 . (1)東京都
19. 井上 孝, 松坂賢一, 才藤純一⁽¹⁾: 診療室での簡易検査法 もしも...の患者が来院したら 口腔乾燥が
ひどい?, デンタルダイヤモンド 27(16), 36~37, 2002 . (1)千病・臨検
20. 井上 孝, 上野秀夫⁽¹⁾, 吉田秀人⁽²⁾: 咬み合わせの科学特別座談会, 自家歯牙移植の臨床, 日顎咬合会誌 22
(4), 406~421, 2002 . (1)東京都, (2)神奈川県
21. 井上 孝, 松坂賢一: TAKASHI の R. M リスクマネジメントしてますか? 黙ってりゃわからない...は
通用しない時代です, デンタルダイヤモンド 28(1), 136~137, 2003 .
22. 岩田祥一郎⁽¹⁾, 井上 孝: マイクロウェーブプラズマ化学的蒸着装置でコーティングしたチタンインプラント
の骨 金属界面の検索, Quintessence Dent Imp 10(2), 91~93, 2003 . (1)補綴
23. 井上 孝, 松坂賢一: TAKASHI の R. M リスクマネジメントしてますか? 黙ってりゃわからない...は
通用しない時代です 2, デンタルダイヤモンド 28(2), 110~111, 2003 .
24. 井上 孝, 松坂賢一, 和光 衛⁽¹⁾: インプラント治療と臨床検査の考え方 第1回 臨床検査の概念と全身的
な病態の理解, Quintessence Dent Imp 10(3), 41~49, 2003 . (1)歯放
25. 井上 孝, 松坂賢一: TAKASHI の R. M リスクマネジメントしてますか? 黙ってりゃわからない...は
通用しない時代です 3, デンタルダイヤモンド 28(3), 132~133, 2003 .

学会抄録

1. 井上 孝: クロウン技術とインプラント治療, 日本口腔インプラント学会関東甲信越支部25周年記念講演会・
抄録集, 2001 . (日本口腔インプラント学会関東甲信越支部25周年記念講演会, 東京)平成13年度分, A 0611 3,
特別講演

- 2 . Inoue, T., Murakami, S., Matsuzaka, K., Miyakoshi, S.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾ : Influences of combination both Ca (OH)₂ and 4 - META/MMA - TBB adhesive resin on osteo - dentinogenesis of dental pulp tissues, Adv Dent **19**(4) , 355 , 2002 . (1st International Congress on Adhesive Dentistry, Tokyo) A 0611 5 ,HRC982A01
細形研 (1)Sun Medical Co., (2)病理
- 3 . 井上 孝 : 過去・現在・未来のなるほど歯科学 ,第20回日本顎咬合学会学術大会抄録集 , 61 , 2002 . (第20回日本顎咬合学会学術大会・総会 , 東京) 特別講演
- 4 . Yajima, Y.⁽¹⁾, Tazaki, M.⁽²⁾, Takeda, E.⁽¹⁾, Abe, S.⁽³⁾, Inoue, T., Katakura, A.⁽¹⁾, Satou, T.⁽⁴⁾, Kakizawa, T.⁽⁵⁾, Ide, Y.⁽³⁾ : The primary gustatory area in the human cerebral cortex examined by magnetoencephalography (MEG): differences caused by gustatory qualities, stimulus densities, thermal stimulus in active location and variation in reaction time, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2) , 106 ~ 107 , 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC3A02 脳科学研 (1)口外 , (2)生理, (3)解剖, (4)補綴 , (5)水病・口外科
- 5 . Takahashi, J.⁽¹⁾, Ishihara, K.⁽²⁾, Sugito, H.⁽¹⁾, Ota, M.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Nakagawa, T.⁽¹⁾, Yamada, S.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽³⁾ : Pain recognition system in dental hypersensitivity using magnetoencephalography, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2) , 131 ~ 132 , 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC3B07 脳科学研 (1)保存 , (2)微生物, (3)病理
- 6 . Ishikawa, T.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Oda, Y.⁽³⁾, Satou, T.⁽⁴⁾, Muramatsu, T.⁽²⁾, Matsuzaka, K., Miyake, N.⁽⁴⁾, Hattori, M.⁽³⁾, Takahashi, K.⁽¹⁾ : Influences of laser on activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2) , 138 ~ 139 , 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC3A07 (1)保存 , (2)病理, (3)理工, (4)補綴
- 7 . Inoue, T., Matsuzaka, K., Shimono, M.⁽¹⁾, Yoshinari, M.⁽²⁾, Yamanaka, S.⁽³⁾, Tazaki, M.⁽⁴⁾, Ishikawa, T.⁽⁵⁾, Yamada, S.⁽⁶⁾, Kubo, S.⁽⁷⁾, Sekine, H.⁽⁸⁾, Motegi, E.⁽⁹⁾, Yajima, Y.⁽¹⁰⁾, Shintani, M.⁽¹¹⁾, Ishizaki, K.⁽¹²⁾ : Saliva examination and order made therapy, Bull Tokyo Dent Coll **43**(2) , 145 ~ 146 , 2002 . (Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A08 (1)病理, (2)理工, (3)衛生, (4)生理, (5)保存 , (6)保存 , (7)小児歯, (8)補綴 , (9)矯正, (10)口外 , (11)脳科学研究施設, (12)補綴
- 8 . 中山 敦⁽¹⁾, 有本奈津子⁽¹⁾, 弦間豊樹⁽¹⁾, 武 一収⁽¹⁾, 小木曾文内⁽¹⁾, 明石俊和⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : MTAの硬組織形成能に関する基礎的研究 1 . ラット実験モデルを応用した病理組織学的検討, 日歯保存誌 **45** , 118 , 2002 . (第116回日本歯科保存学会 , 東京) A 0611 3 (1)日大歯・保存 2
- 9 . 沼澤秀之⁽¹⁾, 薬師寺 孝⁽¹⁾, 高木 亮⁽¹⁾, 野村武史⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 井上 孝 : 下顎骨に発生した desmoplastic ameloblastoma の 1 例, 日口腔科会誌 **51**(3) , 217 , 2002 . (第35回日本口腔科学会関東地方部会 , つくば市) A 0611 2 (1)口外
- 10 . 白鳥清人⁽¹⁾, 小池吉彦, 下野正基⁽¹⁾, 雨宮 啓⁽²⁾, 鈴木雄太⁽³⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : インプラント治療における喫煙のリスク 臨床成績および in vitro での実験的考察 , 日口腔インプラント会誌 **15**(2) , 252 , 2002 . (第21回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会 , 東京) (1)病理, (2)歯麻, (3)補綴

11. 松坂賢一, 吉成正雄⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 井上 孝: multi - groove の骨芽細胞様細胞に対する影響, 日口腔インプラント会誌 **15**(2), 261, 2002 .(第21回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会, 東京) A 0611 3, HRC982A01 細形研 実動施設 (1)理工, (2)病理
12. 小池吉彦, 下野正基⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝: ラット歯牙を用いた硬組織誘導におけるエムドゲイン[®](EMD)の作用, 日口腔インプラント会誌 **15**(2), 261, 2002 .(第21回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会, 東京) A 0611 1, 4, HRC982A01 細形研 実動施設 (1)病理
13. 雨宮 啓⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 井上 孝: 凍結保存が歯根膜細胞に及ぼす影響, 日口腔インプラント会誌 **15**(2), 262, 2002 .(第21回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会, 東京) (1)歯麻, (2)病理
14. 橋本一浩⁽¹⁾, 星野淳一郎⁽¹⁾, 加藤岳詩⁽¹⁾, 小森規雄⁽¹⁾, 小木曾文内⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝: 表面多孔質インプラントの骨伝導能に関する研究, 日口腔インプラント会誌 **15**(2), 274, 2002 .(第21回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会, 東京) A 0611 3 (1)日大歯・保存 2
15. 井上 孝: インプラントと先端医療の病理学, 日口腔インプラント会誌 **15**(2), 278, 2002 .(第22回日本口腔インプラント学会中部支部総会, 岐阜市) A 0611 3, 特別講演
16. 石崎 憲⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 井上 孝, 下野正基⁽³⁾, 櫻井 薫⁽¹⁾: 義歯床下粘膜におけるメルケル細胞の形態学的変化(第二報), 日補綴歯会誌 **46**(3), 427, 2002 .(平成13年度日本補綴歯科学会東関東支部学術大会, 水戸市) A 0611 6, HRC982A01 (1)補綴, (2)生理, (3)病理
17. 崎山浩司⁽¹⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 阿部伸一⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 松坂賢一, 井上 孝, 下野正基⁽⁴⁾: 骨格筋細胞に対する機械的伸展刺激の影響, 歯科学報 **102**(6), 506, 2002 .(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) HRC992C01和保 (1)解剖, (2)生理, (3)理工, (4)病理
18. 鈴木雄太⁽¹⁾, 井上 孝, 田崎雅和⁽²⁾, 下野正基⁽³⁾, 佐藤 亨⁽¹⁾: インプラント周囲組織におけるメルケル細胞および神経組織の動態, 歯科学報 **102**(6), 518, 2002 .(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A 0611 3, 6, HRC982A01 細形研 (1)補綴, (2)生理, (3)病理
19. 村上 聡, 小池吉彦, 松坂賢一, 井上 孝, 川原由里香⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 仙波利寿⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 内山健志⁽²⁾: 石灰化歯原性嚢胞における歯原性上皮の石灰化に関する免疫組織化学的検討, 歯科学報 **102**(6), 526, 2002 .(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A 0611 2 細形研 (1)千病・臨検, (2)口外
20. 小池吉彦, 村上 聡, 松坂賢一, 井上 孝: エムドゲイン[®]は硬組織誘導能を持たない, 歯科学報 **102**(6), 532, 2002 .(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A 0611 1 細形研 実動施設
21. 才藤純一⁽¹⁾, 仙波利寿⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 小池吉彦, 村上 聡, 松坂賢一, 井上 孝, 橋本貞充⁽²⁾, 下野正基⁽²⁾, 内山健志⁽³⁾, 野間弘康⁽⁴⁾: 口腔における細胞診の統計学的検討と細胞診断上の問題点, 歯科学報 **102**(6), 542, 2002 .(第273回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A 0611 2 (1)千病・臨検, (2)病理, (3)口外, (4)口外
22. Inoue, T. : Pitfalls on salivary gland neoplasm, 11th Biennial Meeting of The International Association of Oral Pathologists, Programme and Abstract, **29**, 2002 (11th Biennial Meeting of The International Association of Oral Pathologists, Singapore) A 0611 2

- 23 . Hosoya, Y.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Inoue, T. : Influence of tooth - polishing pastes and sealants to DIAG-NOdent™ values, The 8th International Congress on Lasers in Dentistry in conjunction with The 14th Annual Meeting of the Japanese Society for Laser Dentistry, abstract, 2002 .(The 8th International Congress on Lasers in Dentistry in conjunction with The 14th Annual Meeting of the Japanese Society for Laser Dentistry, Yokohama, Japan) (1)長崎大・小児歯
- 24 . Shimono, M.⁽¹⁾, Enokiya, Y.⁽¹⁾, Kichi, E.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽¹⁾, Inoue, T. : Immunohistochemical study of cytokeratins, BCL - 2 and PCNA in epithelia constituting odontogenic keratocyst and dentigerous cyst, Biennial meeting of the international association of oral pathologists, Programme and Abstract, 121 , 2002 . (11th Biennial meeting of the international association of oral pathologists, Singapore) A 0611 2, シンポジウム (1)病理
- 25 . 吉成正雄⁽¹⁾, 小田 豊⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝, 久門哲也⁽²⁾, 竹内芳美⁽²⁾, 沢田 潔⁽³⁾, 河合知彦⁽³⁾ : Multi - groove による細胞外基質(ECM)の配列制御, バイオマテリアル **20**(5), 12, 2002 .(第24回日本バイオマテリアル学会, 東京) A 0611 3, HRC992C01 (1)理工, (2)電通大・, (3)ファナック(株)
- 26 . 雨宮 啓⁽¹⁾, 井上 孝, 金子 譲⁽¹⁾ : 低酸素, 再酸素化環境における歯髄の細胞応答, 日歯麻会誌 **30**(4), 451, 2002 .(第30回日本歯科麻酔学会総会, 東京) A 0611 5 (1)歯麻
- 27 . 高久勇一朗⁽¹⁾, 池田博康⁽¹⁾, 横山葉子⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 松坂賢一, 小池吉彦 : 小児に発生した中心性巨細胞肉芽腫の1例, 日口腔外会誌 **48**(9), 480, 2002 .(第172回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) A 0611 2 (1)水病・口外科
- 28 . 井上 孝 : 歯牙インプラントの基礎的研究, 中華口腔医学会, abstract, 2002 .(中華口腔医学会 北京, 中国) A 0611 3
- 29 . Yoshinari, M.⁽¹⁾, Seshima, H.⁽¹⁾, Kawada, E.⁽¹⁾, Oda, Y.⁽¹⁾, Inoue, T., Matsuzaka, K., Shimono, M.⁽²⁾ : Characterization and bone response of bisphosphonate - immobilized titanium surfaces, Fouth International Congress on Dental Materials abstract **16**, 257, 2002 .(Fouth International Congress on Dental Materials, Honoulu, USA) A 0611 1, 3, HRC992C01 (1)理工, (2)病理
- 30 . 幾本英之⁽¹⁾, 渡邊 章⁽¹⁾, 成田真人⁽¹⁾, 大島 仁⁽¹⁾, 内山健志⁽¹⁾, 松坂賢一 : 骨芽細胞様細胞の石灰化におよぼす PRP(多血小板血漿)の影響, 日口腔外会誌 **48**(3), 917 ~ 918, 2002 .(第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) A 0611 1 (1)口外
- 31 . 吉成正雄⁽¹⁾, 勢島 尚⁽¹⁾, 服部雅之⁽¹⁾, 長谷川晃嗣⁽¹⁾, 河田英司⁽¹⁾, 小田 豊⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : 線維芽細胞の動態に及ぼす Multi - groove の影響, 歯科学報 **102**(0), 800, 2002 .(第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 0611 3, HRC992C01 細形研 (1)理工
- 32 . 松坂賢一, 小池吉彦, 村上 聡, 元吉康乃, 勢島 尚⁽¹⁾, 吉成正雄⁽¹⁾, 小田 豊⁽¹⁾, 井上 孝 : インプラントの表面改質による生体内 tissue engineering scaffold としての応用時の細胞動態と遺伝子発現制御, 歯科学報 **102**(0), 801, 2002 .(第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 0611 3, HRC982A01 細形研 実動施設 (1)理工

33. 白鳥清人⁽¹⁾, 重原 聡⁽¹⁾, 梨本正憲⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 小池吉彦, 村上 聡, 小出直弘, 元吉康乃, 松坂賢一, 井上 孝: β -TCP は初期の骨創傷治癒を遅らせる 骨髄細胞の遺伝子発現の観点から, 歯科学報 **102**(10), 802, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 0611 1 3 細形研 実動施設 (1)病理
34. 保科早苗⁽¹⁾, 石上恵一⁽¹⁾, 小池吉彦, 村上 聡, 元吉康乃, 松坂賢一, 井上 孝: 力学的負荷に対するラット培養骨芽細胞様細胞の形態的变化ならびに骨関連タンパクの m-RNA 発現に関する研究, 歯科学報 **102**(10), 803, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 0611 1 細形研 実動施設 (1)スポーツ歯
35. 小出直弘, 村上 聡, 小池吉彦, 元吉康乃, 松坂賢一, 井上 孝: 炭酸ガスレーザーは粘膜固有層を傷つけずに使える 第一報, 歯科学報 **102**(10), 811, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A 0611 7 細形研 実動施設
36. 秦 暢宏⁽¹⁾, 仙波利寿⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝, 田崎雅和⁽²⁾: 味覚検査に関する検討 自発性異常味覚と解離性異常味覚について, 歯科学報 **102**(10), 812, 2002. (第274回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)千病・臨検, (2)生理
37. 井上 孝: 接着性レジンを用いた再生工学的アプローチ, 日歯保存誌 **45**, 7, 2002. (第117回日本歯科保存学会秋季学会, 徳島市)
38. 原口孝之⁽¹⁾, 外木守雄⁽¹⁾, 山根源之⁽¹⁾, 井上 孝, 下野正基⁽²⁾: 加齢変化に伴う骨芽細胞様細胞の分化に関する研究, 日口腔科会誌 **51**(6), 494~495, 2002. (第56回日本口腔科学会総会・学術大会 大阪市) 細形研 実動施設 (1)市病・オーラルメディシン, (2)病理
39. Matsuzaka, K., Koike, Y., Murakami, S., Yoshinari, M.⁽¹⁾, Inoue, T.: The behavior of osteoblasts on micro-textured surface Analysis on mRNA expression of bone protein, China - Japan Medical Conference, Program and Abstracts, 38~39, 2002 (China - Japan Medical Conference 2002, Beijing, China) A 0611 1, 3 細形研 実動施設 (1)理工
40. 吉成正雄⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝, 小田 豊⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾: 基調講演 歯科インプラント用チタンの生体機能化, 第131回日本金属学会2002年秋季大会抄録集, 106, 2002. (第131回日本金属学会2002年秋季大会, 吹田市) A 0611 3, HRC992C01 (1)理工, (2)病理
41. Shima, K.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽¹⁾, Enokiya, Y.⁽¹⁾, Muramatsu, T.⁽¹⁾, Takasaki, Y.⁽²⁾, Matsuzaka, K., Inoue, T., Shimono, M.⁽¹⁾: Immunohistochemical study of benign cementoblastoma of the mandible, Oral Med & Pathol **7**(2), 92, 2002. (13th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Tokyo) A 0611 2 (1)病理, (2)水病・口外科
42. Saitou, J.⁽¹⁾, Senba, T.⁽¹⁾, Koike, Y., Murakami, S., Matsuzaka, K., Inoue, T., Hashimoto, S.⁽²⁾, Shimono, M.⁽²⁾: A static observation of fine needle aspiration oral cytology and the point of oral cytology, Oral Med & Pathol **7**(2), 94, 2002. (13th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Tokyo) A 0611 2 (1)千病・臨検, (2)病理

- 43 . Murakami, S., Koike, Y., Matsuzaka, K., Saitou, J.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽²⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Yajima, Y.⁽³⁾, Noma, H.⁽³⁾, Inoue, T. : A case of rapidly growing tumor of parotid region, *Oral Med & Pathol* **7**(2), 96 ~ 97, 2002 . (13th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Tokyo) A 0611 2 細形研 (1)千病・臨検, (2)病理, (3)口外
- 44 . Inoue, T. : Regeneration of pulp and periodontal ligament and the implant - tissue interface, *Oral Med & Pathol* **7**(2) 99 ~ 100 2002 (13th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Tokyo) A 0611 3 4 , シンポジウム
- 45 . 横尾恵子⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 井上 孝, 下野正基⁽²⁾ : 上皮異形成とヨード不染に関する研究, *日口腔腫瘍会誌* **14**(4), 130, 2002 . (第20回日本口腔腫瘍学会総会, 岡山市) A 0611 2 (1)口外 , (2)病理
- 46 . 横山葉子⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 高野正行⁽¹⁾, 松田玉枝⁽¹⁾, 井上 孝, 松坂賢一 : 上顎に発生した外向性発育を認めたエナメル上皮腫の一例, *日口腔腫瘍会誌* **14**(4), 181, 2002 . (第20回日本口腔腫瘍学会総会, 岡山市) A 0611 2 (1)水病・口外科
- 47 . 岡村大器⁽¹⁾, 秋元善次⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 山 満⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 松坂賢一 : 口蓋に生じた筋上皮腫の2例, *日口腔外会誌* **48**(12), 642, 2002 . (第173回日本口腔外科学会関東地方会, 前橋市) A 0611 2 (1)水病・口外科
- 48 . 小枝弘実⁽¹⁾, 花井淳一郎⁽²⁾, 渡辺 一⁽²⁾, 大畠 仁⁽²⁾, 内山健志⁽²⁾, 井上 孝, 松坂賢一 : 舌体部に発生した管腔形成が著明な真性血管腫と思われた1例, *日口腔外会誌* **48**(12), 645 ~ 646, 2002 . (第173回日本口腔外科学会関東地方会, 前橋市) A 0611 2 (1)総進会みつわ台総合病院・口外, (2)口外
- 49 . 高野正行⁽¹⁾, 小泉陽子⁽¹⁾, 北浦宏明⁽¹⁾, 桑山真寧⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 矢島安朝⁽²⁾, 野間弘康⁽²⁾, 松坂賢一, 井上 孝, 村松 敬⁽³⁾ : 口腔前癌変病の癌化に伴う臨床症状の変化についての検討 特に口腔粘膜染色テストの有用性について , *日口腔外会誌* **48**(13), 701, 2002 . (第47回日本口腔外科学会総会, 札幌市) A 0611 2 (1)水病・口外科, (2)口外 , (3)病理
- 50 . 久保雅章⁽¹⁾, 下尾嘉昭⁽¹⁾, 風間大介⁽¹⁾, 金原由布子⁽¹⁾, 関口裕子⁽¹⁾, 市ノ川義美⁽¹⁾, 兒野喜穂⁽¹⁾, 松坂賢一 : 口腔インプラントが原因と思われるヒトアジュバント病の一例, *日口腔外会誌* **48**(13), 730 ~ 731, 2002 . (第47回社会法人日本口腔外科学会総会, 札幌市) A 0611 2 (1)帝京大医・歯口外
- 51 . 桑山真寧⁽¹⁾, 北浦宏明⁽¹⁾, 小泉陽子⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 高野正行⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : 当科における口腔白板症の臨床病理学的検討, *日口腔外会誌* **48**(13), 885, 2002 . (第47回社会法人日本口腔外科学会総会, 札幌市) A 0611 2 (1)水病・口外科
- 52 . Miyakoshi, S.⁽¹⁾, Inoue, T., Matsuzaka, K., Murakami, S., Shimono, M.⁽²⁾ : 4 - META/MMA - TBB adhesive resin inhibits the proliferation of oral bacteria, *Adhesive Dentistry* **19**(4), 353, 2002 (1st International Congress on Adhesive Dentistry, Tokyo) A 0611 5, HRC982A01 脳科学研 細形研 (1)Sun Medical Co., (2)病理
- 53 . Matsuzaka, K., Inoue, T., Murakami, S., Miyakoshi, S.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾ : 4 - META/MMA - TBB adhesive resin on the periodontal tissue, *Adhesive Dentistry* **19**(4), 354, 2002 . (1st International Congress on Adhesive Dentistry, Tokyo) A 0611 4, HRC982A01 脳科学研 細形研 実動施設 (1)Sun Medical Co., (2)病理

- 54 . 井上 孝：象牙質・歯髄複合体と接着性レジンおよびレーザー，接着歯学 **20**(4)，240～241，2002。(第21回日本接着歯学会，新潟市) A 0611 5,7
- 55 . 木村智恵⁽¹⁾，下尾嘉昭⁽¹⁾，久保雅章⁽¹⁾，兒野喜穂⁽¹⁾，松坂賢一：イヌ下顎骨欠損における骨増生に PRP がおよぼす影響に関する実験的研究，日口腔インプラント会誌 **16**(1)，104，2003。(第32回日本口腔インプラント学会総会，広島市) A 0611 1 (1)帝京大・医・歯口外
- 56 . Nishimura, M.⁽¹⁾, Abiko, Y.⁽¹⁾, Yamazaki, M.⁽¹⁾, Kusano, K.⁽¹⁾, Inoue, T., Kaku, T.⁽¹⁾: Effect of defensins on oral squamous cell carcinoma cell lines, AADR Registration Brochure, abstract, 2003。(32nd Annual Meeting & Exhibition of the AADR, San Anonio, USA) (1)北医大・口腔病理

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

助 教 授 大原 正志 胃粘膜傷害機序の炎症免疫学的解析
Helicobacter pylori 感染と胃癌発生についての遺伝子学的解析
 透析患者における胃底腺粘膜の再生に関わる検討

2 . 成果の概要

H15年1月から内科学を開設した。まだ開設直後であり、現在までの主な成果の報告と今後の研究の展開について述べる。

1) 胃粘膜傷害機序の炎症免疫学的解析

現在、胃疾患と *Helicobacter pylori* (*H. pylori*) の関係が注目され、特に消化性潰瘍や MALT (low grade malig.) の原因因子として *H. pylori* 除菌治療が盛んに行われている。しかし、*H. pylori* をめぐる矛盾点は数多く指摘されている。我々は、胃粘膜傷害発生機序を炎症免疫学的に検討し、消化性潰瘍発生のトリガーが *H. pylori* 感染に関わらず CTL (cytotoxic T lymphocyte) である可能性を報告した。また、除菌治療が単に排菌のみでなく、炎症免疫細胞にも影響することも報告している。胃粘膜傷害は *H. pylori* のみで説明できものではなく複雑な機序に制御されている。今後、各種胃粘膜傷害と IL1 / Toll like receptor との関係解析して、さらに胃粘膜傷害の機序を分子生物学的に検討して行く予定である。

2) *Helicobacter pylori* 感染と胃癌発生についての遺伝子学的解析

胃癌と *H. pylori* の関係についても、その因果関係が注目され、胃癌の発生予防に *H. pylori* 除菌治療が行われてきたが、除菌後の胃癌発生例が報告され、その因果関係は不明のままである。*H. pylori* が epigenetic factor として、胃癌発生プロモーターとなっているとすれば、*H. pylori* 陽性、陰性の胃癌患者で癌遺伝子の変異や癌抑制遺伝子の不活化に違いが生じるはずである。そこで、*H. pylori* 陽性、陰性の胃癌を各組織型別に分け、現在この解析を行っている。

3) 透析患者における胃底腺粘膜の再生に関わる検討

ヒトの胃粘膜は加齢とともに胃底腺領域が退行して粘膜萎縮がおこることが知られ、この変化は不可逆的と考えられてきた。我々は、慢性腎不全透析患者を経過観察し、透析患者では、透析期間に比例して胃底腺が再生してくることを報告した。将来的に再生医学の臨床応用への展開を視野に入れ、現在粘膜再生の機序を分子生物学的に解析しているところである。

3 . 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
大原 正志	透析患者の胃底腺粘膜再生の機序	慶応義塾大学医学部生理学教室	東京	岡野 栄之